

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-197）」

2. 日時：令和4年11月30日（水） 13時30分～18時50分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他50名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他1名

四国電力株式会社 原子力部 サイクル技術グループ 副リーダー

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

三菱重工業株式会社 安全高度化対策推進部 主幹 他2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他

提出資料

「本文、添付書類、補足説明項目への展開（外竜巻）（再処理施設）」

「本文、添付書類、補足説明項目への展開（外火山）（再処理施設）」

「材料及び構造に係る設計上の考慮事項の抽出について」

「材料及び構造に係る既設工認強度評価書引用の妥当性確認について」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

・ 令和４年１１月２９日

「日本原燃（株）再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	を開始しました。
0:00:03	成長シミズです。それではただいまから日本原燃とのヒアリングをしますと本日のヒアリングは令和2年12月24日に申請があった設工認申請について、資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:18	山崎清町は出席者を紹介いたしますと本庁会議室からタジリオオハシタカナシフジワラセトガワシミズ。
0:00:28	その後帰るから、
0:00:30	コサクハバサキカミデキシノをか。
0:00:35	はい、以上になります。それでは日本原燃の方から出席者の紹介をし議題の構成の説明をした上で資料の説明を開始してください。
0:00:46	はい、どうも前ナカハマでございます。
0:00:49	日本原燃側の出席者を紹介いたします。
0:00:54	浦山シライサトウ。
0:00:57	講師、石原助川。
0:01:01	瀬川。
0:01:03	仲シミズ
0:01:05	ウワー、窪田齋藤小河原。

0:01:11	石田久世。
0:01:13	仲村。
0:01:14	窪。
0:01:16	こっち。
0:01:17	マワタリ。
0:01:18	ノザワ損、違う。
0:01:21	あと、夏目、鼓膜。
0:01:24	そ同最上。
0:01:27	クドウスギモト。
0:01:30	規模単に、
0:01:32	オガセ、
0:01:33	ヤマモト、
0:01:35	ホシノ、菊池福川、ヨシダ、
0:01:40	西山。
0:01:42	河村。
0:01:43	柘植。
0:01:45	木戸ナカムラ。
0:01:48	ぐらいの突起そろった。
0:01:51	何か、

0:01:52	イシハラ、
0:01:54	オカザキ、
0:01:55	これだけ。
0:01:57	イシバシ。
0:01:58	電話、
0:01:59	サカモリ、
0:02:01	ナカハマ、
0:02:02	関西電力佐野より、沼田様。
0:02:06	三菱重工業笠間から、佐藤様、高木様。
0:02:12	ウェブ化への参加で、三菱重工業様より、
0:02:15	上野三明様。
0:02:17	以上となります。
0:02:19	本日も確認いただきます資料でございます。協議させていただいてござ います。供給 0508、IU011。
0:02:32	材料構造全国 0001 及び補足個別補足説明資料。
0:02:38	耐震関係で地震 0001、耐震起動。
0:02:43	107、新建物、鶴市、
0:02:48	新規分、
0:02:50	27、

0:02:51	最後に磯竜巻の 00-01 及び、竜巻が 16。
0:02:59	甲斐火山 00001 となっております。
0:03:04	それでは、共通 0508 よりご説明を差し上げます。
0:03:11	はい。日本原燃清水です。
0:03:14	それではですね共通 0508、関連しますので、ちょっと仕入れご説明の方 させていただきますと思います。
0:03:22	資料ですが共通 05、R13 令和 4 年 11 月 28 日に提出した資料になります。
0:03:30	まずは通しページの方、12 ページの方をご覧ください。
0:03:37	こちらは別購入の設工認の出し方の方をちょっと記載しているところで ございまして、前回いただいたご指摘内容を踏まえまして、
0:03:47	基本設計後者の出し方の方をちょっと記載の方、改めてございます。
0:03:52	建設、戸部雪子につきましては建設工認等、設工認申請書としては別な んですけれども、建設工認と同時期に変更申請するということ等を踏まえ ましてですね、
0:04:04	基本設計方針については建設購入の方に御変更で記載するんですけれど も、

0:04:09	この申請書の中でですねしっかりですね、なぜ戸部節行為内容も含めて記載するかという理由をですね、しっかり書き込んで申請の方をさせていただきたいというふうに考えております。
0:04:23	はい。
0:04:26	続きまして、
0:04:28	共通 05 につきましては、28 ページ以降通しページ 28 ページ以降のすみません、並列間違えました。
0:04:36	26 ページ以降の条文の丸付けの考え方の方、直しております。こちらにつきましては、共通 0 価値と同じ考え方で直しておりますので、
0:04:47	共通 08 のほうでご説明させていただきます。
0:04:51	それでは共通 08 の資料の方ご説明させていただきます。
0:04:56	共通 08、R21、令和 4 年 11 月 29 日に提出させていただいた資料になります。
0:05:05	こちらの主な変更点としましては、まずは丸付けの考え方として通しページ、
0:05:14	教育お待ちください。
0:05:17	32 ページのほうをご覧ください。
0:05:22	はい。こちら、第 10 余閉じ込めの丸付けの考え方。
0:05:27	こちらのところですね、

0:05:30	閉じ込めがしっかり
0:05:33	ですね、負圧がしっかり維持できてるということで、その対象にですね 今回ちょっと前回口頭でもちょっとご説明させていただきましたけども、対象として建屋と道道を追加したというのと、
0:05:43	閉じ込め性が本当にできてるっていうのを見るための放射線管理施設の ほう追加させていただいております。
0:05:51	続きまして通しページ 33 ページのほうをご覧ください。
0:05:56	それは真ん中下ほどにあります、12 条 13 条の記載ですけども、
0:06:03	椅子役員につきましては、現在の設計内容を確認しまして、設計として とる、今考えている。
0:06:13	水防対策設備、
0:06:15	の内容をしっかりと最新化したということで、対象の考え方の方修正をし ております。
0:06:22	続きまして通しページ 41 ページの方をご覧ください。
0:06:30	はい。こちら、
0:06:33	36 条のところですね、
0:06:36	1.2 S s を応援する施設の記載をですね、前回代田コメントを踏まえまし て一番適正化するとともに、一部、アクセスルート、

0:06:46	になる建屋につきましても 1.2 の評価するということがありますので、 こちらの方をしっかりと記載の方、
0:06:52	追記させていただきました。
0:06:55	はい。この都丸付の考え方に従いまして、
0:06:59	数字
0:07:03	40、
0:07:05	7 ページ、すいません、40、
0:07:09	1 ページ以降のですね設備リストの放映等、
0:07:12	整合するように直しているんですけども、すみません一部ですね。
0:07:17	資料を確認する中で、情報の記載等、行かれてないところがあったので ちょっと
0:07:24	紹介、次回の方には訂正させていただこうと思っておりますけども、当該ペ ージですけども、通しページ 229 ページの方をご覧ください。
0:07:37	こちらですね、
0:07:41	少々お待ちください。
0:07:44	下の方、7 ページの
0:07:49	列番号でいきますと 3646。
0:07:53	A のところからですね、溢水防護設備の記載が、年申請対象設備リスト として記載しております。

0:08:03	これの下の方お願いします。
0:08:06	はい。
0:08:07	こちらですね、3640億で、
0:08:12	S u i c a構築物石と書いてございますけども、
0:08:15	基本設計方針の記載。
0:08:17	を踏まえると、ここの記載ですね。
0:08:20	1 水防溢水を各構築物と書くのがちょっと記載としては適切だろうとい うことでちょっと、
0:08:28	溢水関係の記載はちょっと、皆をさしていただきたいというのが1点あ るのと、
0:08:34	通しページ 232 ページの方ご覧ください。
0:08:45	通し番号ですけども、3690。
0:08:51	のところですね、薬品防護版を書いております。
0:08:56	こちら横尾の方いきますと月目の後にですね、
0:09:00	以降ということで、今、上野一穂の設備ですと、備考のところ、建屋 の記号を書いております。
0:09:10	ここの薬品防護番のところが、すみません。建屋規模の入力が漏れてま したので、こちらの方は追記させていただきたいと思います。
0:09:22	はい。続きまして、

0:09:27	257 ページの方をご覧ください。
0:09:34	こちらは、各施設の者添付図面と条文の関係を整理したマトリックス表になっております。
0:09:42	こちらにつきましては、前回ご指摘いただいた点としまして、
0:09:48	各説明書等添付図面の黒丸につきましては、
0:09:52	既認可を一部呼び込むものだったりすべて呼び込むものっていうものがあるんですけどその識別ができてなかったということで、全般的にです、見直しまして、左下の、
0:10:03	明日谷アスターさんでしっかりその識別ができるように、記載の方を全般的に見直しております。
0:10:13	あと、前回のご指摘の中で、構内、
0:10:18	配置図ですね、こちらのところで、
0:10:21	S A のですね、取り付け箇所情報だったりっていうのを構内配置図、
0:10:26	左で示すべきだろうというご指摘をいただいておりますので、
0:10:31	右側の構内配置図、是正関係の、との条文との関係の丸付けの方、
0:10:36	を見直すとともにですね、ハピア平面図断面図につきましても、
0:10:41	貯水情報関係のところにつきましても、
0:10:45	エアラインの平面図関連するということで、
0:10:49	44 条 45 条の記載の方見直しております。

0:10:53	ちょっとここでもうすいません、十分チェックできてないところがございまして、
0:10:58	こちらの資料名、節各説明書の名称のところですね、
0:11:03	この後出てきます目次と一部整合してないところがちょっとございましたので、
0:11:09	例えば言いますと、加算及び爆発の防止に関する説明書等と整合したいところがございましたので、ここはしっかり最新の情報に訂正させていただきたいというふうに考えております。
0:11:26	はい。続きますのでですね。
0:11:30	大瀬理事の方ですけども、
0:11:33	370 ページの方ご覧ください。
0:11:38	こちら、添付書類の構成ということで添付書類の目次の方をお示ししております。
0:11:43	この中で真ん中ほど、6-1-1-4
0:11:50	安全機能を有する施設及び重大事故等対処設備が使用される条件下における健全性に関する説明書、
0:11:56	こちらの方ですね、ああいう 0001 のヒアリングのご説明の中で、
0:12:02	説明書のたてつけが他の説明書とちょっと、そこが取れてないというところで、構成の方見直しております。

0:12:11	お手元 6-1-1-4 ということで、こちらの中で、具体の説明内容をちよっと、
0:12:17	適合
0:12:18	に必要な内容を書いていたんですけども、あくまでも 6-1-1-4 は、タイトルを行だという整理しまして、その下にですね、6-1-1-4-1 ということで、
0:12:29	安全、ゆうのに関する件、説明書の章を一つ起こしてここにレビューの内容を記載すると、その下にですね、さらにその方針に従って、安全上重要な施設を整理した結果、
0:12:44	対象設備と範囲を整理した説明書というので、6-1-1-4-1-1 というのを起こして、説明書の
0:12:53	セミナーをしております。
0:12:55	ペーパーの見直しを踏まえまして重大事故の方も、それに合うように、構成の方見直しております。
0:13:02	すみません。ちょっとここです、この後ご説明させていただく案い う 0001。
0:13:09	の方の内容にもちょっと関連するんですけども、
0:13:12	この 6-1-1-4-1-1、この説明書の中でですね。
0:13:17	この説明書の位置付け、

0:13:19	先ほどちょっとご説明させていただいたんですけどもその内容がですね、しっかり別紙の4-2の中でですね、下入れてないということがありますので、
0:13:28	他の説明書の記載等を踏まえまして、1ポツ概要ということで、この説明書は、
0:13:37	安全上重要な施設に分類した。
0:13:40	設備等、その範囲はどこなんだっていうのをしっかりご説明する書類になったっていうその位置付けをしっかりと資料として書き込みたいというふうに考えております。
0:13:50	詳細はまた鮎001でご説明させていただきたいと思います。
0:13:54	はい。
0:13:57	続きますしてぽつページですけども、
0:14:02	401ページの方をご覧ください。
0:14:11	こちら、飛来物防護ネットの仕様表の5段表になっております。
0:14:17	こちらは前回
0:14:19	曾田椿34のヒアリングにおきまして、
0:14:22	ご指摘いただいた点を踏まえまして、見直しという点がございます。
0:14:28	左側に2列目の仕様表案のところ、
0:14:33	使用材料C学校というところに、

0:14:37	前回のご指摘を踏まえまして、座屈拘束ブレース、
0:14:42	こちらの中心材料の方まで記載しているというのと、注記6番で、
0:14:48	下の方いきまして、
0:14:51	この材料の補足ということで、知事学校の一部である、座屈拘束ブレースというものが、日本建築センターの認定を受けているものなんだというところがわかるように、
0:15:02	仕様表の方、見直しております。
0:15:05	これを踏まえて、
0:15:07	それでちょっとページ飛びますけども、
0:15:14	1018ページの方101089ページの方をちょっとご覧ください。18ページからですね。はい。
0:15:23	はい。こちらが構造ですね飛来物防護ネットの構造図になっておりまして、
0:15:28	指標項目を出したということを追記したということ踏まえまして、
0:15:34	100、1018ページの右上ですねまず凡例として、
0:15:39	座屈拘束ブレースを太字で示すということで追記したのと、
0:15:43	1019ページの次のページになります。
0:15:48	セッティングとかぶってるところありますけども、

0:15:52	座屈拘束ブレースが設置されているところにつきまして、今の凡例の太字のところでどこについてるんだっていうのを、
0:16:01	お示ししております。
0:16:05	はい。いえ、すみませんここもちょっと1点ちょっと後で確認してて、記載が足りてないところがありまして、1018ページの方ちょっと1ページ戻っていただきまして、
0:16:16	右下の部品表を記載してございます。
0:16:20	この4番のところで、地学の部材示してるんですけども、ここが追加したざくスプレポンプブレースの部分が、すみません追記漏れてたのでここはちょっと追加させていただきたいと思います。
0:16:37	というのと、
0:16:38	すみません、全くちょっとすみません戻って、
0:16:41	いただきまして、
0:16:45	この座屈拘束ブレースの扱いの考え方を、本来であれば、本文の、
0:16:55	24ページになります。
0:17:02	ここの記載項目の扱い、どういう考えで使用項目に整理したんだという考え方を整理してるページなんですけども、
0:17:10	すみません、同日に出したらですね外竜巻34の方にはですね、考え方をちょっと追加したんですが、

0:17:18	共通 08 の方にですね、ちょっと考え方を書ききれてないということ で、ちょっとここは後程すみません次回追加させていただきたいと思う んですが、
0:17:27	ちょっと竜巻 34 のちょっと日治療、
0:17:31	お願いします。
0:17:35	こちらのですね、
0:17:37	この執筆が土、
0:17:41	5 ページですか。
0:17:44	5 ページ、6 ページの方お願いしますすみません。
0:17:52	上から二つ目のプロパティで黒丸になりますけども、
0:17:57	等の他のすみません、耐火被覆と同様にこちらの座屈拘束ブレースの採 用っていうのは、最初にちょっと特殊な設計だということも踏まえまし てですね。
0:18:10	で、さらに、このブレスの中心部材の座屈拘束材で、塑性変形させてエ ネルギー吸収させるという、構造だというものを踏まえまして、
0:18:22	仕様表項目としては使用材料として、
0:18:25	記載するということと、
0:18:28	中期ですね。

0:18:31	伴財団法人の日本建築センターさんの評定を受けたものを使うということ をしっかりと記載するということでちょっと考え方、
0:18:38	34 に書いておったんですけども、こちらについては共通 08 の方にもす みません、反映させていただきたいと思っております。
0:18:45	はい。すいません共通 08 のほうに戻っていただきまして、
0:18:54	あ、はい、すいません、共通 08。
0:18:58	はい。行った変更点については以上になります。
0:19:04	長シミズです。それは共通 0508 についてただいまの説明について規制 庁側から確認等ありましたらお願いします。
0:19:16	規制庁の橋村です。
0:19:18	衛藤。
0:19:19	08 のほうの資料の、今回説明が少しあったかと思うんですけど、257 ペ ージの、
0:19:27	各条文と関連書類との整理のところ、
0:19:32	資料編がちょっと綺麗じゃなかったですよっていう説明があったかと思 っていて、実際
0:19:38	後に続く 300 団体のページもちょっと後ろなんですけど、目次なんかで 見ていると確かに整合していないというか、綺麗になってないなという ところがあってこのところの整理、

0:19:50	から追従できてなかったのかなとは思いつつも、もう少しだけ、どうい うふうに修正されるのかとかも含めて説明をいただいていいですか。
0:20:00	全部、
0:20:02	確認されているところは全部、全部っていうところまではいかないです けど、例えば、今日ご説明があった火災及び爆発でしたっけ、そこだっ たらどういうふうに、衛藤整理しますっていう修正。
0:20:14	案というか、その辺り説明をもう少しお願いします。
0:20:19	はいシミズです。はい、説明書いておりませんでした。
0:20:22	それではですね、通しページの方でいきますと、
0:20:35	367 ページの方をご覧ください。
0:20:41	こちらのですね、添付書類の目次のところで、
0:20:46	添付書類 3 真ん中ほどにですね、3、再処理施設の火災及び爆発の防止 に関する説明書、もう少しですね。
0:20:54	はい。こちら、
0:20:56	笠井委員の説明書につきましては、この3のタイトルですね、の方を、 先ほどの 200、
0:21:06	67、フィック
0:21:08	T
0:21:10	257 ですね。

0:21:12	もっと 56 ページの方にまず、こちらのタイトルの方をしっかりと整合するように反映するという修正が 1 点あるのと、
0:21:20	その下、イオン、耐震性に関する説明書、
0:21:24	こちらについてもすいませんここも整合してなかったのでこちらの方も、2567 ページに反映したいと思っております。
0:21:31	プラスですねもう一つもう 1 点ございまして、
0:21:38	少々お待ちください。どうぞ。
0:21:44	370 ページの方。
0:21:47	ご確認ください。ご覧ください。
0:21:51	真ん中上ほどに、6-1-1-2。
0:21:56	第処理施設の閉じ込めの機能に関する説明書ここにつきましても、
0:22:01	目次と、先ほどのリストの方、合っていない点があったのでこの 3 点、しっかりと整合するように修正させていただきたいというふうに考えております。
0:22:13	規制庁の藤原です。256 ページとか 7 ページとかの修正については理解しました
0:22:20	今だと、D の方の名称、説明書を引っ張ってきてたりとかで、S A の部分、
0:22:29	丸をつけているところとも整合がつかないにと。

0:22:32	つかないってということで、整理されるんだなと思いつつ、もともと全般的なところを示す意味での説明書の名称とかもつけて、
0:22:43	以下のではないのかなあと思っ
0:22:46	ですが、そういう意味で言うと、D、例えば、
0:22:51	最初に、
0:22:57	使う。
0:22:59	234 というふうにあって、
0:23:01	農家サイドで、
0:23:06	これで全般を示そうかなと、生まれたのかなとは思いつつも、
0:23:12	この辺りって特に修正する必要はなくて、
0:23:17	156 名に反映すべきところはそこだけかもしれないんですけど、この目次としては、このままでいくっていう感じなんではないでしょうか。
0:23:27	その辺りの整理も聞かせてください。
0:23:31	日本原燃志水です。結論から言いますと、目次としてはこのさ、衛藤さんの、
0:23:39	火災及び爆発の防止に関する説明書 367 ページのところにつきまして は、今の記載でいこうと考えております。なぜ、整合が起きてたのかと いいますとちょっと、
0:23:52	すいません。共通 08 の目次の検討する中で、

0:23:56	当初はですね、今書いております 3-1 の部分が、
0:24:02	3 の目次のタイトルで記載しとって、3-2、
0:24:06	3-3 以降の S A の説明書っていうのも、もちろん、
0:24:10	考えておりませんでした。
0:24:15	ここ、S A の添付書類の整理の展開の議論の中で、
0:24:21	S A としての説明書が必要だろうということで、途中で追加したんですが、それを踏まえまして全体のタイトルの方、3 の目次の方をちょっと見直したんですけどもそれをしっかり、260、2567 ページの
0:24:35	リストの方にちょっとしっかり反映できてなかったというのは今回のすみません、確認漏れのところでした。
0:24:43	サトウのフジワラです。
0:24:45	系統は何となくそうかなとは思っていました。
0:24:56	すいません小コサクですけど、経緯はわかるんですけど、
0:25:01	なんでこの 3 については、
0:25:04	全体を示すところは再処理施設のとか聞い
0:25:08	D B 施設に、3-1 は、D B 施設には限定してんでしたかね。
0:25:14	よくわかんないんですけど、何も書かずに書いてるのかと、いうことを、
0:25:20	の、その考えはどうなってるんでしょうかっていうことで、

0:25:24	一番わかりやすいのはその下の4番は、
0:25:27	全体を示すものは何も言わずに耐震性に関する説明書とって、その上で内数になるんですかね4-1は再処理施設のと、
0:25:37	いうふうに言っていたりと。
0:25:39	ということで他にもう、
0:25:45	4、4、5、56とかでもですね。
0:25:49	同じように、
0:25:50	5もう強度耐震耐食とって5-1で最初に施設のと、
0:25:58	なあって、
0:26:01	一方で6-1-1-1、6-1-1-1は、再処理施設のと、
0:26:08	いっていると。
0:26:17	6-1-1-2になると、これも最初に施設のとは言っているものの、
0:26:22	枝番の1になると、機能というのが抜けて書いてると。
0:26:28	ということで全体として
0:26:30	構成をどうするのかそれぞれどういう名称のつけ方をするのかと。
0:26:35	いうところの考えが統一されているように見えないんですけど、そこは、
0:26:39	考えてこうなっているんだとしたら考えを説明してもらえますか。
0:26:47	日本原燃清水です。

0:26:49	まず、1、1点目ありました。3-1について、設計基準だけなのかという話につきましてはこちらについては、
0:26:59	11条30。
0:27:02	5条ですかね。火災の条文の
0:27:06	D B S A野瀬2の適合性を説明する説明書になりまして、
0:27:12	になる。
0:27:13	こういう今考えております。そう。もう1、1. 全体的に説明書の構成の立て付けですね、再処理施設のが一番、
0:27:24	親の買い取りできたり、火災の方はなっているんですけども、
0:27:29	耐震なり、道路の方に行きますと、
0:27:33	その人は違う整理になっていると、すいませんここにつきましては、
0:27:38	ちょっとしっかり予報を踏まえた整理ができていなかったっていうのが現状でございます。
0:27:48	修正としましてはですねまずは、
0:27:51	まず大きいタイトルとしては再処理全体のことを、D B S Aひっくるめてご説明するというので、
0:27:58	基本的には再処理施設の団地、耐震検査耐震性にファツリー説明書というのをしっかり書いて横が合うようにちょっと、
0:28:09	目次の方をちょっと再度検討したいと思います。

0:28:18	規制庁コサクです。
0:28:21	それはまだ検討されてないんですか。
0:28:29	すいません。
0:28:32	検討しないといたしますか。はい。すいません。
0:28:38	今この場でちょっと整理しなきゃいけないんですけども、
0:28:43	日本原燃の瀬川ですすいません衛藤間違い仲野コサクさんの指摘の通り ですねちょっと緻密さに欠けていたのは事実でして、
0:28:51	今、清水の方から申し上げた通りですね、一番上の大タイトルですね。
0:28:58	枝番がないやつ、こちらの方に再処理施設のというのを統一的につけ る、江田側に入ってくる方には、この再処理施設のというのを外す。
0:29:09	という対応で、伊井式冷化できるんじゃないかと。しっかり確認はさせ ていただきますけれども、できるんじゃないかと思っております。
0:29:22	ただ、そう言いながら、まだ検討できてないんですかという答えになっ てないんですけれども。
0:29:28	一方で、368 ページの一番上の、
0:29:32	4-1-2 とかなんかは再処理施設の耐震計算に関するというような、再 処理施設のというのが入っていて、
0:29:39	こういったところにもちょっと影響を受けるので、ちょっと安易には決 められないですね。

0:29:45	早急に早急に、
0:29:48	不整合を生じないように精査させていただきたいと思います。以上です。
0:29:54	コサクです。
0:30:00	こういった話は申請前から話をしていたはずで、
0:30:05	ヒアリングの過程において説明の構成が悪いというようなことが、話が上がリ、いろいろと改善してきたというところの中で、
0:30:18	なんでまだ、
0:30:19	全体見直して整理ができてないんだらうというところですよ。
0:30:24	ちょっと全体像を見るの2、今のページだと、非何ページも渡ってわかりにくいので、一旦 257 ページ。
0:30:33	の方を開き直してみるとですね。
0:30:37	あんまり、逆に言うと再処理施設のって書いてるので、そんなに多くなくて、
0:30:45	このページだと、耐震性は間違っ書いてしまいましたということなので、
0:30:51	見ると、ない方がどちらかというと統一感があるような気がするんです。自然現象も書いてはいますけど、
0:30:59	特に書く必要も感じませんし、

0:31:04	閉じ込めが若干、
0:31:07	あった方が読みやすいのかもしれませんが、これも閉じ込めの機能と いうことで書き直しルール、
0:31:14	だったと思うので、ちょっと後ろの資料見ながらじゃないってあるんで すけど、
0:31:19	そんなに違和感なく、
0:31:22	見れるかなと。
0:31:25	思うと、溢水、化学薬品は、
0:31:28	外部外部溢水とかとの関係で書きたいっていうことで特殊性があって書 くかもしれませんが、
0:31:38	一色かけますとかっていうと全くその後段の方も変えていくのだと。
0:31:43	過剰な気がしますし、
0:31:46	ていう気がした上で
0:31:55	以上、
0:31:56	あれ。
0:31:57	先ほど何ページでしたっけ、670 ページとかでしたっけ。
0:32:04	違います。
0:32:09	367 からです。360 何ですかすみません。ありがとうございました。古 作です。内数の話についても、

0:32:21	ですね。
0:32:29	3の火災爆発に関して言っても、先ほど説明あったように3-1はS A D Bともにですと。
0:32:37	いうのを、
0:32:40	これ何も書いてないから逆に言うと表してるのかもしれませんが、
0:32:44	わかりにくいですねというのがあって、
0:32:52	アイシンは、
0:32:54	その点だとどうなってるんですかね。
0:32:58	木場江藤 4-1-1-3 見る。
0:33:03	等、
0:33:04	重大事故の設備分類っていうのもあるんで、一式まとまっているカラー
0:33:14	S D分けるような話じゃありませんという、ということだと思うと。
0:33:21	最初に施設のって書く趣旨は何なんだと。
0:33:26	いうところにだような気もします。で、
0:33:36	アイシンはまざるからあれですけど、
0:33:41	で貸すん。こちら、
0:33:46	後に行って、強度退職でいうと、
0:33:52	これ、これも結局あれですよ、D B S Aまずあるっていうことで、
0:33:59	再処理施設というのは何ぞやということになり、

0:34:03	6 の、
0:34:05	1-1-1。
0:34:07	は先ほど言ったように、
0:34:09	頭に入れる必要があるのかどうかで、ぶら下がるところに入ってませ ん。
0:34:16	というのが、
0:34:17	で、
0:34:18	ここは、ここもあれですかね、DB線まざるんですかね。
0:34:23	それとも混ざらないんですかね。
0:34:26	日本原燃清水です。計算書、
0:34:30	強度計算の方指針計算書から、
0:34:34	SAの範囲内容も入っておりますので全体としてまざる内閣整理になり ます。
0:34:42	規制庁加来です。計算書云々って言われましたけどそれ、どこの話です か。
0:34:49	はい。日本原燃清水です。
0:34:51	例えばですけども、
0:34:55	すいません、6-1-1-1の2-4-1竜巻ですけど、今日の計算の方針 の

0:35:02	ところをろからですね。はい。D D S 共通したものになります。
0:35:18	規制庁コサクです。
0:35:21	そこからは合流するっていうことで、
0:35:25	この枝番の 123 は入らない。
0:35:29	それを健全性説明書の方、
0:35:33	ですか。
0:35:35	はい。
0:35:38	宮城西田でございます。はい。その前のところは健全性説明書で説明をするということで、ボックスに書いた時に A3 カラーのやつで、
0:35:49	健全性説明書で全体方針を変えて、個別の話を中継の添付書類で変えて、共同検査の方針に預けるという整理してました。
0:36:02	はい。なので、基本ワーク D B のことが書いてますけど、
0:36:06	D で書いてあるものを健全性説明書の方で
0:36:12	準用する形にした上で、
0:36:15	枝番 4 の方では、合流してきて、D B S A、
0:36:20	が入ってくると、いうことですよ。
0:36:24	はい、そうなります。

0:36:25	はい。補足です。そうする等、とはいえ結局使うんだから病院にG Bだ って言う必要もないだろうということでここは明示してないってこと で すかね。
0:36:37	はい、そうなります。
0:36:39	はい。補足です。そこは、趣旨は理解をしました。で、そっかんがみる 等、
0:36:48	火災の方は最初のやつはその両方入っているのでそれも明示しないと。
0:36:54	ということで、その次のやつからは、清、オンリーの話なので、その機能 についてということをお諮りしていると。
0:37:05	いうので理解しましたがけど、
0:37:08	大本に立ち返ると再処理施設のって書くのってどういう意味が、
0:37:14	日本原電シミズです。すいませんちょっと考え側にだったんですが、
0:37:19	もともと火災で考えたのは、3-1のD B S A ミックスでご説明する説明 書と、
0:37:26	この一番上のタイトルがですねちょっと、
0:37:29	同じところになってしまったのでこの違いをつけるためにすいませんち ょっと考えが安易だったんですけど再処理施設のと、
0:37:37	付けたというのが実態でございます。
0:37:40	はい。

0:37:43	だとするとちょっと安易すぎるなというところがあるんですけど、その関係でいうとですね閉じ込めなんですけど、
0:37:52	10 個目が 6 号、
0:37:54	1-1-2 とかでしたっけ。
0:38:01	はい 370 ページになります。はい。
0:38:05	規制庁規則ですと 6-1-1-2 の名前が、これもただちょっと、
0:38:11	流れてるかもしれませんが再処理施設のとあって、枝番 1 も再処理施設の方で、
0:38:18	今の葛西と並んでないですし、違いは、の機能というのがあるかないかですね。
0:38:24	で、
0:38:25	これの意味もよくわからなくて、さらにこの枝番の書類は D B だけなのか D B S A なのか。
0:38:36	そういうのも含めてここはどうすべきだっていうところなんですかね。
0:38:40	上村室長。ごめんなさい。日本原燃の瀬川ですけれども、今の 2-1 で、閉じ込めに関する説明書と書いてあるものには、
0:38:51	デービーの話だけをまとめて書こうと思っておりました。
0:38:56	で、2-2 の方に

0:39:00	基本、取れ蒸発乾固に関する基本設計方針を受けた形でのその方針の見解と、
0:39:08	あと、大体、安全冷却水系の系統説明というのを2-2の方で、過去、そんな整理をしようと思っていたところですよ以上です。
0:39:17	はい。補足です。そうする等、
0:39:20	1-1-2の
0:39:23	頭の方は、DBSA、
0:39:26	全体ですよという名称のつけ方をしなくちゃいけなくて、枝番1になると、DBですよっていうのがわかる名称にしてもらおうと。
0:39:39	すっきりするんですけど、の機能って入るか入らないかっていうのとはちょっと違うなっていう気がしてますがいかがですか。
0:39:50	はい。日本原燃の瀬川でのご指摘の通りかと思えます。
0:39:55	何と表現するか設計基準っていう範囲に入れちゃうとまずいんですけども、少しちょっと考えたいと思います。
0:40:06	はい。規制庁コサクです。まざってるやつは結局、特に今、
0:40:12	最初に何か断り書きを入れるっていう必要性がないということで、
0:40:17	理解を
0:40:18	私としてはしていて、

0:40:20	今の閉じ込めについては枝番1はDBだということがわかるようにした方がいい。
0:40:27	ということで、す。
0:40:30	です。6-1-1-4。
0:40:34	健全性説明書についてですけど、
0:40:37	ここで安全機能を有する施設という言葉が出てるので今、閉じ込めはこれじゃ駄目でしょうかっていうのは、若干ありつつも、
0:40:45	ここ、ここはそのDBSAが部分。
0:40:50	県、
0:40:51	文書名で明確に、
0:40:54	されて、
0:40:55	いて、する必要がありますかってのは若干ありますが、いいとしてですよ。
0:41:04	枝番1D、Dですと、枝番2D、SNS、
0:41:09	ということが明確になっている。
0:41:11	ということでこれが愚直にやるんだったらこれが
0:41:16	磯形なのかなと。
0:41:19	ということ。
0:41:20	かと思います。

0:41:22	で、
0:41:27	あと、下に行くと、6-1-2からは、個別の施設。
0:41:32	に限定したものについて記載しているということなので、
0:41:37	す。
0:41:38	さほど大きな影響はないかなとは思いますが、ここまでのところで、 今の話を踏まえた修正をしていただくことというところですが、
0:41:50	こう話をしていながらじゃあこうしましょうかみたいな安定できてま す。
0:42:02	はい。日本原燃のセガワ今まさにコサクさんに整理していただいた。
0:42:07	通りかなと思っておりました。基本的には再処理施設のという、断り書 きは、外しますし、DBSAに、が両方関与するような内容については 識別する言葉を入れず、
0:42:22	DVないしSAよ、どちらかの観点っていうものに対してはそれが読み 取れるキーワードを入れると。
0:42:29	いうのでいいと一律流していけばですね、
0:42:34	成立するかなと思っております。以上です。
0:42:38	はい。規制庁コサクです。そうする等、やはり
0:42:44	基本概念をもってしても、悩ましいのは、3と3-1の、
0:42:51	書類名と、

0:42:53	ということで、その点、先ほど安達手嶋下ということでしたけど、
0:43:01	何かいい案ありますか。
0:43:06	宮城市長でございます。3については再処理施設の方は別につけなくてもまあ、あまり意味がないかなと思いつつも、
0:43:16	技術基準も含めて規則の名称が、DBとSAと一緒にあるのであまりここで区分けをするのも辛いなと思ったんですけど、ここ3-1を、
0:43:27	やはりSd-D体制両方入ってますよみたいな話にしないと駄目ですか。
0:43:33	いや、規制庁不足です。駄目ですかねってということじゃないんですけど逆に、
0:43:37	3の頭を書かないんだったらそのサブ差別化をつける意味で書くっていうのは、
0:43:46	あり得るかなと思いますけどね。
0:43:48	3-1を
0:43:49	安全機能を有する施設及び重大事故対象設備のって、
0:43:55	する。
0:43:56	それで入ってるのかってないかわかりにくいっていうのは、ここは条文要件もあるので明示的にしました。
0:44:03	というのは考えとしてはありだと思います。

0:44:07	わかりました。
0:44:12	規制庁、田尻です。他、例えばなんですけど、これ、これ3-23-3の よって言った時に、これは火災爆発の防止って入ってるかっていうのも 何か微妙な気がしていて、
0:44:25	タイトル火災爆発に関する説明書にしてD3の市場DBSAの一般火災 のやつの条文説明書にして3-2、3-3-4は、一昨年別だ。齋藤。
0:44:35	SAの条文の話を書いていれば読める読めるような気もしてたんですけど、 ここ、ここって、例えば今の並びで火災及び爆発の防止っていうタ イトル33のタイトルがそうになってんすけど、
0:44:48	ここで防止ってのは拡大防止とかも全部ひっくるめた防止になってたん ですかね。
0:44:57	与儀西原でございます。どこまでふくよかですけども、一応あのSAを 後ろにつけるとときには当然その中に、そういう拡大防止も含めて、
0:45:07	入っていると整理しないとここにつけられないよねっていうところで、つ けてはいますけど。
0:45:12	おっしゃる通り火災等による防止、損傷の防止化っていう、その規則 のタイトルからすると、そこまでは入ってないんですね。
0:45:24	成長度ですねやなんで、そのタイトルで火災爆発に関する説明書だって すごい拾う

0:45:30	よめっちゃ読めるかなと思ってたんですけど元の人がどこまであるかっていうのも踏まえてちょっと考え方をお聞かせいただけると、整理しやすくなって思っ
0:45:40	はい。
0:45:41	葛西。日本イシハラ火災爆発防止に関する説明書ってのはいわゆる深層防護でやるような一般的な火災に対する対応もそうですし、もともと火災でのDBの設計を超えた範囲での、
0:45:55	SNはあの対策みたいの、拡大防止とかの対策、影響緩和の対策っていうのも、全部合わせ合わせてこの全体の中で整理をしようというのがもともとの考え方でした。
0:46:10	長谷です。衛藤。
0:46:13	ちょっとそれ全体を見渡せてないんですけど、これ、基本的には、自然現象の場合は自然現象による損傷の防止とか、臨界だったら臨界防止とか必ず防止とかをつけてきている整理でよかったです。
0:46:24	一番上位の文章。
0:46:28	のタイトルなんですけど、
0:46:30	はい。稲毛仁科でございます。輸送してるんですけど、
0:46:37	そうしてるんですけどって言った意味はいきなりそのあとに、耐震性に関する説明書って、これも規則要求会をすると。

0:46:45	地震による損傷の防止なんですけどそこはまあ、耐震設計評価がメインだからという意味であまりそこまではくくってないですってことですね。全体が統一されてるかっていうと微妙なところはあります。
0:46:59	院長、佐治です。
0:47:01	先ほどから話に出てきたように中の方ですみ分けして、タイトルとの差別化はバルクタイトルを広くするからどちらかがボンッているので、
0:47:10	ちょっとさらに明確な答えが出せずに申し訳ないんですけど
0:47:14	プラントが今、先ほどからの話で湯浅委員の加治星川説明書っていうそう一般の翻訳のD BのS Aの火災のタイトルと同じになりすぎるので、
0:47:23	そのところだけ差別化できれば一応読めるのかなとは思っているので、その点をちょっと考慮いただければと思います。
0:47:31	規制庁コサクです。その点で言う藤さんの、
0:47:36	その火災及び爆発の防止というのは、
0:47:40	原燃でおそらく広めにとった表現だという理解をしていて、3-1-1で書いているのが条文に対応した。
0:47:50	損傷の防止ということで、
0:47:55	本当は3-1の題名も3-1-1のようにすればいい。
0:48:00	よかったっていうことのような気がするんですけど。

0:48:06	相磯西原でございます。はい。おっしゃっていただいている通りだと思 いますね。3と3-1が多分、タイトルが一緒のつもりで書いた方が、
0:48:16	意図が伝わったと思います。で3-1-1はおっしゃっていただいて規則 要求のタイトルを使えば、規則への適合性の説明をしたいなど。
0:48:27	いうことを説明しようと思えば火災等による損傷の防止で話は整理でき るかということですね。はい。
0:48:35	はい。補足です。その上で耐震の方はですね、その内数として基本方針 とか、
0:48:45	プラス上がってるところはその説明書という言葉を使わずに書いてたり もするので、
0:48:50	それで内数を整理されるっていうことも、
0:48:54	一案あるかなあという気もします。タジリのように広めのやつをもっと 広めに読めるようになってするのも手ですし、いろんなパターンがあると 思うんですけど、
0:49:06	はいいろいろな角度で案を考えています。
0:49:10	はい、西田でございますありがとうございます。とはいえですね例えば パッと2、4-1のが、再処理施設の耐震性に関する

0:49:20	要望し、こういう最初につけるかどうかのありますけどその次行くと、耐震設計の基本方針が4-1-1、4-1-2に行くと再処理施設の玉突き始めたり、
0:49:31	統一感をはっきり言ってないのでそこも含めて整理をさせていただきます。以上です。
0:49:39	はい。規制庁コサクです。基本的には施設の方はほとんど意味がないので、
0:49:44	自明だからっていうところだと思うんですけど、
0:49:49	統一化をもって基本的には統一感持って消しちゃえっていうことなんですけど、エーッて。
0:49:54	葛西の方はグレードなりの意味合いがわかるようにな、
0:50:01	段階応じた説明書の表現をなお、修正することも含めてですね。
0:50:06	整理をしていただければと思います。
0:50:12	はい。二本木西田でございます承知いたしました。すみません。心配そうなもんだんであれですけど、
0:50:19	目的出す時これに合わせたらいいんですよ。
0:50:22	名前変わってるそうですね合わせたほうがいいですね。その時に、最初なのか、概要の最後なのか。はい。

0:50:34	第1回の時にはこういう名前を書きましたということで言えばいいと思います。はい、わかりました。はい、承知しました。
0:50:45	規制庁上出です。
0:50:48	ついでと言ってはあれなんですけど、この機会にということでちょっと4の耐震性の説明書の構成ですけど、
0:51:00	まず、おっきなところでいうと、階層ですね最初4番、4が全体で4-1の第1階層が、
0:51:10	基本方針で、4-2は、計算書ですと、
0:51:16	言っている、4-3はとりあえず飛ばして4-4は、火災防護の枠があってそこで最初の階層を使っている、第2階層で、
0:51:29	方針と経産省格っていうので1段。
0:51:34	構成が落ちちゃってるんですけど、
0:51:38	これも、
0:51:39	どっち。
0:51:41	どっちがいいんですかね。
0:51:43	今の構成の方がふさわしいそうですか。どうですか。
0:51:52	はい、乳井李社でございます。
0:51:55	そうですね。おっしゃっていただいているのは、頭の耐震のやつと同じにするとすると、

0:52:05	これが1個ずつ上がるのか。
0:52:08	そうですね。1段ずつ上がらないといけないのであれですけど、
0:52:13	途中から耐震側に移行してきた説明をするというときに、差をつける必要があるかどうかというのを考えた上で、
0:52:24	今更つけてますけどする必要がないのであればこれを1段ずつ上に上げるっていうのも、合わせていかないと言ってること違わないよねっていうところからは整理が必要かなと思います。
0:52:34	今のが一番いい形だというわけではないような気がします。はい。
0:52:42	はい。規制庁上出です。
0:52:45	上げるにしても、
0:52:48	4-1のタイトル4-2のタイトルで、
0:52:53	単純に最初に施設のっていうのを消しちゃうと、4-3以降との対応がよくわからなくて、ここは何か差分の言葉は、
0:53:04	ルーような感じがしてくるんですけど、どうですかね。
0:53:13	補足です。それで言うと、先ほどのどれだ。
0:53:19	だですかね自然現象のところだったかな。
0:53:24	S EがDBのことを書いてるんだけど、回り回ってSMを使うので、あまり頭には書かなくてもいいよねっていう話をしたところ、
0:53:36	との関係で、

0:53:38	藤さんの 1、2 はちょっと計算書なんで個別になっちゃいますけど、3-1 については両方にかか療法とか全体にかかるっていうところ。
0:53:50	まず、実態はそれ、そういう理解でいいですっけ。
0:53:57	はい。二本木西田でございます 3-1 は、ディー・ディー・エス両方にかかります。ごめんなさい、4-1 ですね。
0:54:05	4-1 は、今は、そうですね。
0:54:10	今のやり方両方にかかっているとと言いながら、途中からそれを呼び込みにいってる形にはなってますけど、共通的な話をしてます。
0:54:18	はい、古作ですわかりましたそうすると 4-1 わあ、あまり頭に書かないほうがいいでしょう。4-2 になると、
0:54:28	直接の
0:54:30	条文対応での、評価対象のものについてに限定されていると。
0:54:36	いうこと。
0:54:38	それでいうと 4-2-1 ガー再処理施設本体等って書いてあるのはその趣旨ですかね。
0:54:46	はい。日本原燃石原でございますはいそうですね、対象物を限定して特定して書いてます。はい。
0:54:56	はい、規制庁コサク実情はわかりました。その上で、すみません神谷さんよろしくお願いします。

0:55:04	はい、規制庁管理です。そうですね実態は
0:55:10	4 の、
0:55:12	4-1 が全部にかかっているかという例えば、
0:55:20	何番だ。
0:55:22	4 のところ、
0:55:23	4、
0:55:27	すごい見にくかつ 4 の、
0:55:29	4-4-1 で、火災防護設備の耐震計算に関する基本方針っていうのがあ ってで、ここも基本は呼び込みでしかないんだけど、両方に書いてあ る。
0:55:41	五つも、最初のところは全体を読んでもすと、
0:55:46	計算書はA4 の、
0:55:51	2 については、直接の条文対応を、あとは、火災が台数が第 1 点に S s があったりっていうことで改装、
0:56:01	がずれてしまうこと自体に問題があるわけではないので、
0:56:06	階層はこのままでは五つ、その辺りタイトルとかで、
0:56:13	違いがわかるように、
0:56:15	ていうのが落としどころじゃないかなと思いますけどいかがですか。

0:56:20	はい。日本原燃石田でございます。それぞれ他のパーツ等も含めて考え方をちゃんと統一して、
0:56:29	タイトルなりなんなり、整理をさせていただければと思います。以上です。
0:56:34	はい。規制庁深見です。その上で、いろんなさんがここにいるのはやっぱり浮いているので、一番最後ですかね。
0:56:45	はい。日本原燃石田でございますはい。
0:56:49	こちらから言うのは大変あれなんですけど、もともと4-4以降が別添になってたというその前に言いたいんですがそのまま、ここに新沢してただけだと思うんで、一番最後ですね。はい。
0:57:03	はい。規制庁金光わかりました。あとちょっと細かいところなんですけど、ちょっとこれ耐震の話にだんだんなってきちゃうんですが、
0:57:13	368 ページの、
0:57:16	上の辺り、一番上でいうと4-1-2で、基本方針ですね要は、設計プロセスって言っているところなんですけど、ここで、
0:57:28	建物構築物、機器配管と、3パターンあって、
0:57:38	そのあと4-2で4-2-1の計算書に行くと、建物が、
0:57:47	また2種類あって、A4111ですか、建物構築物、ドウドウ以外、
0:57:57	それと同じ階層に道道があっっていうことで、

0:58:03	この辺が、
0:58:05	どういう関係なのか 4-1-3 では、建物と、
0:58:10	どうで分けたいような感じになっているんですけど、
0:58:17	この辺の考え方ってどうなってますか。
0:58:28	日本原燃のオガセでございますちょっと今画面映ってるやつをもう少し 下の方にちょっとずらしていただければなんですけれども。
0:58:36	今ここで 4、建物構築物の中で、屋外重要土木と屋外重要土木以外のと ころで分けているところなんですけれども、こちらにつきましてはすい ません列でいきますと、機器配管系のところで言います定式化された、
0:58:53	というものとあと有限要素法でやるものというところで同じ対応になる べきものでございますそういう意味でいくと今ってちょっと階層は確か に、
0:59:01	それ。
0:59:03	そうですね、1 個ずれそうですね 1 個ちょっとずれているところがある ので申し訳ありませんここはあの同じ期限と同じ、累計のところの分け になるところですのでそこが適正になるようにすいませんちょっと見直 しが必要だと認識いたしました。以上です。
0:59:19	はい。規制庁神です。何かこの辺り。

0:59:23	これですね 4-1-3 との対応で、計算書の作成の基本方針なんでその対応で、
0:59:30	並んで欲しいところ。
0:59:33	なんですが、
0:59:35	あれですね。
0:59:39	ちょっと対応が見え、4-1-3 棟、A4 の 2-1。
0:59:46	並びがとれてなさそうなんでこの辺りは、
0:59:52	ブラッシュアップが必要なのと、あとあれでしたっけ、4-1-3、次回以降申請ってついてないですけど、
1:00:01	あれタイトルだけは出してるからとかそんなイメージですか。
1:00:25	日本原燃の瀬川です今カミデさん 4-1-3 っておっしゃられました。
1:00:32	はい、規制庁カミデ 4-1-3 の決算書作成の基本方針も、
1:00:37	中身が全部出てきているわけではないと思ってましたが、麻生さんが出ているから、次回以降申請の発注をかけないと、4-1-3-5 ですかね。 例えば、あとは 4-1-3-3 も、
1:00:53	次回以降なのでこれ多分、書き忘れたと思いますんで
1:00:58	g r a s s 申請書の形に合わせて、水位の記載を見直させていただきます。

1:01:04	日本原燃はせず今イシハラの方、石原さんが言ってもらったところの通りですけれども、プラス、4-1-3-2の、工事課のところになりますのできちんとそちらの方向次回申請とわかるように修正いたします。
1:01:19	はい。それちょっと水田わかりました。次回申請のハッチングはそこま で私は重要視しなくて構成の並びとかが、きちんとまず整合とれるよう にしといてもらえばと思う。
1:01:33	私からは以上です。
1:01:36	成長のためです。若干だけ絡むのでちょっと締めて次なんですけど370 ページ、
1:01:42	上から、
1:01:44	8行目ぐらいから金井の排除の説明書があって、火山の一番最後は1個 だけ3プログラム一国ところD棟計算手法ところDなのかなとか2-1 ネットで2-2冷却塔ってのがあって、そもそもこの順番よくわからな いというところあるんですけど、
1:01:59	ここのところで、計算書の下の方でこの強度計算書各設備の強度計算書 みたいで稲場とってやってるんですけど、竜巻とこれって並び取れてま すかで、さらに言うとさっき耐震のところではCD、

1:02:11	いや、話局出てないんですけど、飯とかの整理でしてるのか、それともこういうふうには枝番をとって整理するのかって何か統一考え方あるんですけど。
1:02:25	まず日本原燃の瀬川です。えっとですねまず1点目のご指摘の、
1:02:31	火山の経営強度計算を370ページのところです、ネットが来て冷却塔が来るという並びですが、これ申し訳ございませんこの並びはよろしくないですね。
1:02:43	基本設計方針カラーの流れでいきますと、
1:02:47	角の場合最初に登場してくるのが、建屋でその次に屋外の構築物の冷却と、その下に、
1:02:55	波及影響を及ぼすものなんていうのが、ぶら下がっていく順番になりますので、
1:03:00	ちょっと順位としてはこれ順位は逆転ですし、さらにですね、将来的には一番最初にトップバッターで建屋が入ってくる予定ですので、
1:03:09	直す方向性としては、末尾のだけでいくと、2-1が建屋で今回申請範囲外で空白になりますが2-2で冷却塔を2-3で防護ネットみたいな並びになろうかと思っております。以上です。

1:03:24	規制庁丹治です。1点目だけ書かれるとそうなりそうだったので、2点目も込みで言ったんですけど、今、縦竜巻の方でいうと、そもそもこのところで各計算書衛藤 369 ページの下から、
1:03:37	7行目、3行目のところで竜巻への配慮が必要な施設の強度計算書というのが一定で、この下にぶら下がるやつに今枝を捨てるかっていうと、
1:03:46	何か、括弧1とか何とかなんか別紙みたいな形で書いてるような気が竜巻の資料を見てると思う。あの0資料見てると思ってたんですけど、あそこは同じように枝番とってるんですけど。それともう、
1:03:57	その別紙みたいな整理に今しようとしてるのかとか、番号の降り方の整理が二つ1パターンで一緒になってる風、一章なんだとするとどういう考え方でしたっけっていうのを聞いておきたいんですけど。
1:04:10	はい。日本原燃の瀬川ですまずですね、田尻さんがおっしゃった通りですね 369 ページの竜巻の強度計算書 2-1 の強度計算書はですねその下は、
1:04:24	枝番が振られずにですね (1) 冷却と (2) 防護ネットみたいな (1) (2) で、
1:04:29	大区分を分けていくようなそんなやり方になってしまっております。今、火山の部分とちょっと整合とれてないというのは、
1:04:38	認知、

1:04:39	今頃認知したんじゃちょっと遅いんですが認知いたしましたので、ここ しっかり合わせ込みたいと思います。どう合わせ込むかという、
1:04:47	これ、耐震とかってどうしてましたっけ。
1:04:51	危機耐震とかって、
1:04:54	裏盤で何か、
1:04:56	経産省 1 個 1 個、
1:04:59	かけてましたよね。
1:05:00	耐震計算の方が枝番で、耐震経産省のまとまりをこうつくって構成に していましたので、
1:05:08	直す方向性としてはですね竜巻側の計算書を、さらに枝番つけてです ね、
1:05:14	冷却塔に関する計算書みたいな形で
1:05:18	総タイトル変えていきたいと思います。以上です。
1:05:22	ちょっといいです。
1:05:24	368 ページとか 369 のところ
1:05:28	ちょっと改造がちょっと微妙に耐震とかで違ったりするので、ちょっと 何とも言えないトガシ影響評価結果という形で書いていて今おっしゃら れたように枝番振ってってやつと、

1:05:38	それが本当の結果のところ、別紙1みたいな形で書いてるやつもいたの で、どっちで説明するのかなというふうに思っていたんですけどその点 含めて統一的な形にさしていただければ問題ないと思ってるのでそれを 考慮した上で対応いただければと思います。
1:06:02	よろしく。すみません規制庁高橋です。関連性と細かくなってしまうん ですけども、今枝番の取り方の話があったのでちょっと関連してです けども、
1:06:12	371 ページのところの、
1:06:15	真ん中辺りで6-1-6で廃棄、放射性廃棄物の廃棄施設に関する説明書
1:06:22	のところなんですけどここは特に枝番とかの設定とか、いわゆる分割はな いんですがこのようなところっていうのもまたあわせて、我々にとって 見直されるということでしょうか。
1:06:36	どっか行ってください。
1:06:41	はい。日本原燃の瀬川です。私が言っていることが間違っていたら石原 さん、すぐ是正に入ってもらえればと思います。
1:06:50	ですね、ここの6-1-6の下にはですね、書類の下には、
1:06:57	デービー設備としてのその換気系に関する内容系統説明と、
1:07:04	あと、SAの代替換気設備、あと臨界とTBPで使います廃ガス貯留設 備の系統説明を、この6-1-6の下に並べようと思っております。

1:07:18	で、今までの議論を踏まえると、6-1、1-6-1 という形でDBの分、 1-6-2 で、大体換気3 で排ガス貯留というふうに並べたくなるところ なんですけれども、
1:07:33	6-1-6 っていう設備がですね個別設備の説明書っていうもので、先ほ どらい上で述べていたですね、例えば、
1:07:45	真岡爆ですとか、あともう一つ出てきた閉じ込め、こういった機能機能 に関する説明書の
1:07:52	部分と、ちょっと経路が違う、直接設備を補足説明する添付書類という ことで、経路が違うということもあってですね、今考えていたのは、
1:08:02	6-1-6 の下にですね、1 ポチでデービーの話、2 ポチで、大体換気設 備の話3 ポチで、海外貯留設備の話というような形で、
1:08:14	構成しようというふうに考えておりました。
1:08:17	以上です。
1:08:19	と規制庁規制庁あそこは多分前、
1:08:22	全体のバブルとすいません、補足です。
1:08:26	すいません。
1:08:28	言わんとしたことは何となくふーんと思いましたが、でも、

1:08:33	閉じ込め名との関係で廃棄第1章側にも基本設計方針入れたっていうこともあるし、あまりそこわーこだわる必要もないんじゃないのかなという気がします。さらに、
1:08:46	その下見ると、6-1-7とか、
1:08:49	でも、
1:08:50	枝番つけていたりするので、
1:08:55	ます。
1:08:56	これなんか、完全に施設、こういう個別施設ですけど分かれてるじゃんってなると、分けていいんじゃないかなという機能というよりも設備も違うわけだし、と。
1:09:08	ということですけどいかがなんでしょうか。
1:09:11	ネシアでございます。
1:09:14	そうですね今現時点ですいません枝番がつけられてない理由は、おっしゃっていただいたように電気設備でいくと、出力の話とかですねその前の交換も、
1:09:24	系統の話とかっていうのいろいろあってこれ電力さんの実績もあったんでこういうふうにかけたんですけど、廃棄施設に関して我々オリジナルで考えなきゃいけないところもあってそこまでまだ考えが至ってないっていうのが実態です。

1:09:37	ただ、おっしゃっていただいたように廃棄施設でも、系統だったり、補修効率だったりいろんな系統とKKとして説明しないといけないパーツがあるはずなので、
1:09:48	そういうのをちゃんと枝番つけて説明をしていくと、いうことは、必要なことだとは思ってます。ただそこまで書き切れてないというのが実態です。
1:10:02	補足です。その点で等、
1:10:07	等、
1:10:09	例示的に言えば、
1:10:12	僕の1-7-1で構成説明2、踏査範囲説明とかっていうのがまざって入ってますっていうようなところの内容を
1:10:23	精査して枝番つけるのかどうかみたいな話はまだ十分できてませんという事だと思うんですけど。
1:10:31	は液についてわあ、気体液体固体でそれぞれ説明内容が、
1:10:38	あるということ等、
1:10:41	んなのかなあというふうには思いつつ、
1:10:45	そこら辺は、設定根拠の関係を、この書類の中で、

1:10:52	廃棄については入れるということだったと思うんですけどいろいろとあるので、それは1ポツ2ポツとかでもいいかなと思うんですけど先ほどの話でDBSAとかってというのは、
1:11:03	わかるようにしといていただいた方がということで、Maasじゃないと、どこで何を見るかっていうのがぱっと見て勘違いしそうなので、
1:11:13	その点だけ最低限の骨格っていうので、枝番の書類構成と、
1:11:20	いうことはしていただきたいなというふうに、
1:11:24	はい、与儀西原でございますはい土地系、
1:11:29	何を枝番でっていうのは他のやつを見ながら、整理をしていきたいと思っています。はい。
1:11:41	コサクですけど高梨さんいいですか。はい。
1:11:44	今の点は、はい大丈夫ですか。
1:11:48	で、コース構成以外のところろくにちょっとがあるんですが構成のところにもまだ他にいらっしゃったらちょっと先やっていただければと思います
1:12:03	よろしければちょっと構成のところちょっと離れて、少しページ戻っていただくことになるんですが、250、規制庁高橋です。257ページお願いします。
1:12:13	マルつけのところなんですが、

1:12:21	これで
1:12:26	金
1:12:28	閉じ込めですね、閉じ込めに関する説明書のところをちょっと横に見て いっていただいて、
1:12:35	今回 38 条 40 条、41 条のところが青くなって丸がついているんですけども、
1:12:43	これっていうのはちょっと何に当たるものなのかっていうのを、
1:12:46	説明いただけますでしょうか。
1:12:50	日本原燃の瀬川でございます。ですね、これはすみません、私の完全な ちゃんぽです。昨日ですね、丸がついてねえじゃねえかとレビューして る時に言ってマルを付けさせたところの付けさせる場所が、
1:13:06	もう私の勘違いで、
1:13:09	支持してしまったということですね、今まさにですねお話をさせていた だいた廃棄施設に関する説明書、ここで大体換気設備と廃ガス処理設備 の系統説明をしようと思っております。
1:13:22	意図としてはですね、その間、廃棄施設に関する説明書、
1:13:29	ここに丸を付けさせるつもりでいたんですが、
1:13:33	私の指示が、

1:13:35	見せてしまいましたってちょっと閉じ込めに丸をしてしまったと。なので、 ここの水色ハッチングで出ている三つの丸はこれは%に変わりました、
1:13:47	先ほどの廃棄施設に関する説明書というのが下から 10 行目ぐらいの ところにありますけれども、ここ今、バーになってますが 38 から 41 条にか けてですねここに丸がつくという整理になります。申し訳ございません 以上です。
1:14:03	はい。規制庁の増永 38 から 41 だから、39 億。上ではまだ水色がつい てない 39 も含めてということで丸がつくということで、
1:14:14	よろしいですね、常務。
1:14:16	あ、はい、高梨さんのご理解の通りで 39 も丸がつきます。
1:14:21	はい、わかりました。じゃあ修正をお願いします。
1:14:28	決定よろしければ、あ、はいちょっとまた、その他じゃさらにちょっと 戻っていただきますけれども、規制庁高梨です。
1:14:39	41 ページ。
1:14:46	43
1:14:48	ページですね、すいません。
1:14:49	43 ページのところなんです、これちょっと今回の修正が前回のところ になってしまうんですけれども、39 条のマルつけのところ、一番最後 に計測制御関係のところを入れていただいたかと思います。これ、

1:15:04	要は対策に必要なものということで、入れたと思うんですけども、実際、ちょっともう少し深く考えますと、例えば計測制御に、
1:15:15	のその設備を動かすために必要な電源とかそういった、さらに関連するものとかがあったりするかと思うんですけども、その辺のところで丸をつけて付けの線引きってというような考え方をちょっともう一度ご説明いただけますでしょうか。
1:15:30	はい。日本へのセガワでございますこちら計測制御設備を間瀬前回だか前々回エントリーさせていただいたのは、事故対象に直接寄与する設備は丸をつけましょうということをお願いした考え方のもとで、計測制御設備復活復活というか、
1:15:49	丸付けの対象にしました。その上1個上にいろんな貯水槽なんていうのは過去の対象やろうと思えばですね、水源として直接使えますんで、
1:15:59	必要でしょうと。計装については、事故、
1:16:07	この対処のトリガーにはならないんですけども、事故の切り換えですね、発生防止から拡大防止に切り替えるぞといったときの判断で流量計だとか温度計だとか、そういったものが寄与してくるとそういった、
1:16:18	判断に寄与するという部分もあろうということで計測設備を入れたところでした。これが
1:16:27	今回この清は08を提出させていただいた考え方。

1:16:32	になっております。
1:16:33	今ご指摘のあった電源ですね。
1:16:43	ですね、どこで線引きするんだらうっていうのは私どももですねすごく 悩んでいて、
1:16:48	電源なんていうのはそれは一応サポート側ではあるんですが、もちろん 電気切れたらですね、物が動かなくなるって意味ではサポートでありな がらでも直接寄与してるよなというのも、
1:17:00	ずっと感じてたところでございますし、もう一步踏み込んでいけばです ね、放管設備なんていうのもですね状態監視だけかと言えばそういうわ けでもなくて、
1:17:13	一応蒸発乾固の場合ですと、排水受け槽といったところで、汚染が発生 した水がにじみ出てないかと。
1:17:21	汚染があれば、その循環運転に切り替える循環運転というのは他の貯水 槽を使わないようにするとかですね。
1:17:31	そういう判断にも使えますし、また一方で、建屋の開口部の放射線測定 してですね、何か異常な上昇があれば、経路外放出の兆候があるって いうので、

1:17:43	効率抑制対策に移行するとかですねそういったそういう意味での判断と いうのはやはり他の設備も担っているんですね、同様に、通信連絡もで すね。
1:17:55	これもサポートだって言えばサポートなんですけれども実際最初の事故 対処するのは人海戦術でやるわけですし、
1:18:04	中操からの指示に対してですね現場の責任者が指示を受け、さらに現場 の第一線に伝達する、そういった伝達機能が途絶えてしまえばですね。
1:18:15	それはやっぱり事故対象をやっていくってのは不可能になるわけなんで す。そういうところもあって、
1:18:22	線引きどうしようと思っておったところなんですけどやはりここはいは い。
1:18:29	高橋さんやけどそんな広くはないと思うんだよね。はい。高橋さんのご 指摘あった、例えば、直接対象に必要な計測制御設備を入れました。
1:18:39	その計測制御設備は、電源がないと動かないんだったらその電源は要る よねっていうことなんじゃないかなと思うんだけど。
1:18:47	はい。
1:18:49	そうですね広げると全部マルつけなきゃいけない。わかんなくなっちゃ う。おっしゃる通りです。どこで線を引こうかといったところで。う ん。

1:18:59	線の引きどころがなくなっちゃうなど。
1:19:01	なのでちょっと電源はご指摘の通り今石原さんからのフォローもあった通りですね、直接、
1:19:09	計装の動力にもなりますし、事故対象の動力でもあるといったところを踏まえると、丸を付ける。
1:19:16	べきかなというふうに思っております。
1:19:18	はい。
1:19:20	まずはちょっと以上ですはい。考え方としてははい。はい。規制庁です。あ、ごめんなさい。
1:19:26	古作です。
1:19:28	今、瀬川さんがプラス言われたようなところLower、私もそういう考えもあるだろうなと思いつつ、伊勢原さんが言うように、
1:19:39	何でもかんでもなると結局マーキングする意味って何だのっていう感じにもなるので、
1:19:45	どこらかで線引きが必要なんだろう、その線引きの一つの考えに、瀬川さんが言われたような対策の切り換えなり何なりに関連するものと、
1:19:58	ということでそれは理解をできるかなと思ってまして、
1:20:04	通信連絡とか、そういう、
1:20:08	ところについては、そもそもが対応っていうのは、

1:20:15	D Bの世界から含めて、一般にやるべきことということで個別条文が立っていてと。
1:20:25	いう理解でいいんじゃないかなというふうに思いますので、
1:20:33	先ほど言われたようなところでの
1:20:37	係争あるのに電源ないっていうのもちょっとどうだし、どうかなっていう感じもしますしそもそも、再処理の電源って、結局建屋後藤。
1:20:45	豎琴ってちょっと語弊がありますけど、
1:20:48	対策ごとに発電機を置いていくと。
1:20:53	というようなところは、対策ごともちょっと違いますやっぱり建屋ごとの方がいい、説明がいいかな。
1:20:59	分散しておいていくようなところもあるんで、やっぱりそれぞれ、対応という形にしといた方がものとしても整合するかなというふうに思っています。高梨さんどうぞ。
1:21:11	はい。ちょっと喜多高橋です。今話がありましたけれどもその辺のところの
1:21:18	線引きの考え方とかですねそれーのちょっとがどの辺から読み取れるのかというところとですねそれからそういう整理したのもでもう一度割り付けをちょっと見直していただいてということで、お願いできれば。はい。

1:21:30	検討いただければと思います。はい。
1:21:34	はい、日本へのセガワ承知いたしました電源を、関連する設備という清梨衣を前提にですね丸をつけていきたいと思います。以上です。
1:21:53	一応シミズが規制庁側から確認。
1:21:57	規制庁かです。今回、いす医薬品の本設備を整理されたところで、ちょっと幾つか確認したいんですが、229 ページ目からのところ、
1:22:16	一応これは何度も聞いている話ではあるんですが、防水溢水の本。
1:22:24	防護設備を薬品の防護設備で、兼用するようなものは、
1:22:30	まずはないってということで今回も整理されていて、その認識でよろしいですよ。
1:22:37	はい、野辺シミズですはいその認識で問題ございません。
1:22:41	はい。規制庁でその上でなんですが、今回区画構造物は全部溢水に対してだけ。
1:22:47	書かれていて薬品に対して区画構造物は発生してないんですが、そこは どういう考えになっているんでしょうか。
1:22:56	はい。医薬品につきましては、今想定してるのは、想定破損によるや井上の観点を想定してまして、
1:23:06	漏えい量を考慮したときにですね、建屋内にそのたまるような量にはならないというような評価をしてございますので、

1:23:17	家構築物に何かしらのを期待するということがないという整理をして ざいます。
1:23:24	はい、須江町がですね、溢水に関しては水がたまるからその分その仮構 造物として、
1:23:33	担保をとるんだけど薬品は、
1:23:35	評価の観点で担保をとる必要がなくなっているのっていうことで次回 で、その辺を確認していくということでした。
1:23:45	当薬品防護設備に関しては、
1:23:50	これからちょっと修正が入って例えば設置場所とかが少し明確化される とおっしゃってましたが、
1:23:56	そこら辺はもうちゃんと整理がついていて、当間備考のところ辺りにち ゃんと、
1:24:02	建屋とかが書かれるとそういう認識でよろしいですか。
1:24:06	はい。日本原燃清水です。はい。整理ができてございまして、薬品防場 につきましては労働の中に設置するものでございますので、そちらの 方、明確化させていただきたいと思います。
1:24:17	はい、規制庁課で承知しました。
1:24:21	ところの関係ではなく、ないんですが、259 ページ目で、

1:24:27	すみません 256 ページ目、先ほどの説明書の関係のところ、今回新しく／ってというのが導入されているんですが、
1:24:38	この／って何、どんなもので、どこで説明してるんでしょう。
1:24:44	日本円めシミズです。すみません 2／の説明がなくて申し訳ありません。
1:24:50	えーとですね今回ですね、白丸、黒丸それぞれに対して、
1:24:55	近隣顔予備も一部呼び込むのかすべて呼び込むのかって整理した際に、
1:25:01	この
1:25:02	今回の例えば系統図の別で、／ついておりますけども、
1:25:09	黒丸にだけ、この中は須田さんがかかる。
1:25:14	ていう場合にはこのアスターで、白丸にアスターかからないよということとでちょっと／を追加しておりました。
1:25:22	はい。成長数です。257 ページ目で、白丸／なしクロマルアスターってというのがたくさんあるんですがここの違いは、
1:25:32	何なんです。
1:25:33	日本原燃志水です。257 ページの、白丸黒丸で明日／ないものは、両方にですね、この注記がかかるという、同じく中計がかかるというもので、
1:25:46	／を入れてないという整理でございます。はい。規制庁加賀です。

1:25:52	いくつかはどっちにも注記が入っていて、
1:25:57	いうのとも明確に分かれていてこれで網羅的に説明できているということなんだと思いますが、その辺もわかるように注釈なりどっかで説明していただければと。
1:26:10	思います。
1:26:11	はい、日本エネシミズですはい。／の井戸内、わかるように注記の方、追加したいと思います。
1:26:18	はい。規制庁岡です。から以上です。
1:26:25	市長志水ほか、規制庁側から、ちょっと都合8について確認等ありますでしょうか。
1:26:33	規制庁、すみません、規制直接です。今のオオオカの話なんですけど、
1:26:37	その257ページのところ見ると、白丸*クロマルって書いてあるやつは、
1:26:47	黒丸にはアスタリスクかかるんですか。わかんないんですか。
1:26:52	日本原燃志水です。今、こちらはですね白丸にだけかかるんですが先ほどの説明の／の使い方と等が合っていないというご指摘だと思いますのでちょっとここは、
1:27:03	表現を統一するようにしたいと思います。
1:27:05	はい。コサクです。そうするとですよ。

1:27:09	右側見る等、白マルと黒マルを縦に並べて、別のアスタリスクをつけて いるというものもあって、
1:27:18	そうであれば、二つ並ぶものは、こういうふうにやれば、
1:27:25	明日、これ明日に作っていただければつかないし、
1:27:28	同じ番号つけるなら同じ番号をつけるってやれば、
1:27:33	済むような気もするんですけど、どうなんですかね。
1:27:37	日本原燃志水です。今ご指摘いただいてその通りだと思いましたが、 二つつくものについては、縦に並ぶように表現して、
1:27:46	それぞれどこに注記がかかっているのかわかるようにしたいと思いま す。
1:27:51	はい。補足ですよろしくお願いします。
1:27:56	規制庁カミデです。共通 08 の仕様表のところ、401 ページで、
1:28:07	今回座屈拘束ブレースについて注記を書きましたってことなんです が、記載の程度として、
1:28:17	本文事項として、
1:28:20	大体決めてるルールがあると思うんですけどそれと整合してるんですか ね、何か細かすぎるような感じもしつつ、どんどういう検討されました か。
1:28:32	はい。今回、日本原燃清水です。

1:28:37	今回座屈拘束ブレースにつきましては支持架構の一部だというまず認識のもと、
1:28:45	C G 学校につきましてはまず、主要先方ということで、藤 C E O が規制庁カミデです。401 ページの注記の 6 番。
1:28:58	ですかね。ここの記載が評定の番号なり、いろいろ数字が入っていて、
1:29:09	それが細か過ぎないですかということなので、そこだけ答えてもらえば、
1:29:14	日本原燃シミズですはいすいませんご指摘の視点理解しました上の、
1:29:20	アスターさんの耐火被覆の方の認定番号なりの記載とすいません、ちょっと
1:29:29	おっしゃる通り認定番号を取得したものを推奨するというのが、本来書くべきことで、ちょっと一部中身までちょっと踏み込んでちょっと記載しているのが今のアスター6、
1:29:42	だと思しますので、色彩としては、
1:29:48	この A と B C J A 評定のものを取得したものを使用するというので、
1:29:57	今、細かく書いてる部分についてはちょっと書き過ぎだと認識したのでちょっと直したいと思います。
1:30:04	規制庁カミデです気にしてるのが
1:30:08	今後、

1:30:12	共用していく中で、何か不具合があって、交換しなきゃいけないよと。
1:30:19	いうときに、同じものが調達できるかっていうところで、今もうこれないんですって言われた時に、本文事項の変更で設工認なのかっていうこと。
1:30:32	んなんだと思ってるんですよね。その辺が、要はこの辺、これぐらいの性能を持ったこういうものなんですっていうぐらいが本文事項にしておく方が、
1:30:44	リーズナブルなんじゃないかと思ってるんですけどその認定番号開くということと、今私が言ったようなことが今成功してるかもよくわからなくてですね、その辺の考え方を確認したいんですけどいかがですか。
1:31:01	日本原燃清水です。はい。
1:31:06	基本的にですねこの耐震評価においては、この評定おつし、取得した製品の
1:31:15	仕様をもって耐震評価しているという認識ですので、
1:31:21	補を本文時、記載事項にはなろうかと思いますが、その大臣、すいません、建築センターさんの評定版は本文での担保事項になるという整理で考えておりました、今後、
1:31:35	その評定の商品がなくなった、もし万が一なくなった場合には、手続きが必要になるかと思ってございました。

1:31:45	はい。規制庁亀井です。わかりましたそこは仕方ないというか、そのままその物性を入れて応力評価しているから、このぐらいの性能にというのも難しく、
1:31:59	認定番号の記載ぐらいは米の3番とは、
1:32:05	平仄をそろえてそういうルールで書くという感じですかね。
1:32:11	はい。日本原燃、清水ですはい。その通りでございます。
1:32:16	はい。規制庁亀井です。わかりました。はい。以上です。
1:32:27	社長の谷井です。共通 0508 に関して他に接合か何かありますでしょうか。
1:32:36	なければ現在の方から振り返りとスケジュールについて説明をお願いします。
1:32:42	はい。日本原燃清水です。共通 08 の方ですけども大きなご指摘いただいたのがまずは添付書類の構成のところだと思います。ちょっと安直に言った再処理施設のいうところはちょっと使わずに、
1:32:56	全体整合するように、条文との関係ともなりその説明書でS D何を説明するのかというの踏まえまして、
1:33:08	全般的にちょっと添付書類の構成のウェイの横並びも含めまして見直したいと思っております。
1:33:16	あと、

1:33:18	今の
1:33:21	ね、ネットの仕様表ですね、こちらの注記のほうをちょっと記載の頭がちょっと書き過ぎな点ございましたので、明日6の方は修正させていただきたいと思っております。
1:33:30	あと設備リストの条文の丸付けのところですけども、先ほどご指摘いただきました、S Aの対処に使う設備の電源の部分についても、
1:33:42	あと、事故対処の条文に関連するということで、丸付けの考え方の方を見直して設備リストの方見直したいと思っております。
1:33:49	あとはですね、256257、こちらにつきましては、まずは二つマルがつく場合の記載がですねちょっと
1:34:04	すいません、記載の浦部がとっついてないので、縦に書くと、注記がそれぞれどれにかかるとかっていうのをわかりやすくするのというのと、資料名の方は、
1:34:15	再整理した添付書類の構成の内容を踏まえまして見直したいと思っております。あとは、ちょっと一部付け間違っておりました。
1:34:23	放射性廃棄物に関する説明書の部分の丸付けと閉じ込めに関するまず付けのところは、本日ご説明した内容で修正させていただきたいと。
1:34:32	いうふうに考えております。
1:34:35	あとはいい。

1:34:44	はい。あとはですね説明の中でいろいろこちらの方からできてなかった という点もちょっとあわせて、
1:34:51	修正の方をしまして、
1:34:55	ちょっとお待ちください。
1:35:04	はい資料の提出については、
1:35:08	明日、提出できるように、ちょっと対応させていただきたいと思いま す。
1:35:16	規制庁吉見です。
1:35:17	そうですね共通語 8 について、全体通して規制庁側からよろしいでしょう か。
1:35:25	特によろしければ続いて安念の瀬野瀬田の 01 について原燃側から説明 をお願いします。
1:35:32	はい、院長の田尻です。アイウエオ 0 一井に関してなんですけど先ほど 途中で 1 回説明があった気がするんですけど、家の 01 の 117 ページか らの安全施設にはすぐ説明書というのがついていて、
1:35:46	今多分ちゃんと直してないけど、ここで一步地方法人にもちゃんと重要 な施設の選定って書いてあるけど、基本方針とか代表という形になるか わかんないけどこの資料の位置付けはそもそも書いてないけど、

1:35:58	この資料っていうのはキリンから頃から、要は安全の系統の範囲とかってのはどこかっていうのを示してた書類でしたっていう話だったような気がするので、そこがわかるタイプに直してもらいたいというか目次に直してもらいつつ修正されるというようなことを言われた気がするけど何かそれ以上の説明があるんですっけ。
1:36:15	日本原燃清水 S E それ以上のご説明はございません。
1:36:20	長谷です。なぜ要は、許可のタイミングで安重の支援って言ったら当然抽出はされてる形になるんだけど、それがどの範囲系の設備って具体的に示す書類なんですよ。基本的にもう切り換え示してるものがひもづけられて説明する形だと思うんですけど。
1:36:36	位置付け自体を理解したんですけど資料のなお C がいつまでかっていうところを聞いておきたいんですけど。
1:36:44	はい。日本原燃志水です。当資料につきましては明日直したもので提出させていただきたいというふうに考えております。
1:36:52	はい。規制庁田井です。助教わかりました言う 0001 に関して他の方あれば、自分はすみませんその点だけ確認しなかったのが他の方あればお願いします。
1:37:09	4 は、
1:37:11	何を構造のつくりたいと思います。

1:37:19	で原燃側から説明をお願いします。
1:37:25	はい。日本原燃仲村です。材料構造ですけれどもこちらから説明したいところは1点ございまして、00-01の通しページの90ページになってございまして。
1:37:36	こちらの通しページの90ページのところで、ちょっと1点だけ動きがありまして、
1:37:42	一番下のパラグラフのまた以降のところですねそこで公式による評価と、
1:37:49	解析による評価のタイトル呼び込んでたんです。ですけれども、公式による評価5-1-3-2、1と書いてあるんですがこの2の間違いでした。
1:37:58	では同じく解析の方も5-1-3-2が5-1-3-3の間違いでございまして。
1:38:04	それ以外については原燃側から説明したい事項は特にございません。以上になっております。
1:38:12	はい。規制庁神戸です。それでは材料構造、在庫01ですかね。
1:38:20	ちょっと確認していきますけど。
1:38:26	51ページのところで、
1:38:42	ちょっとすみません、

1:38:54	規制庁カミデすみませんちょっと私のパソコンの調子が悪くて、今、資料をお開き直しますんで、もし他に。
1:39:02	その間に、
1:39:05	確認があるかと言えばお願いします。
1:39:37	すみません、規制庁カミデですか。
1:39:43	はい 51 ページですね既設工認の定義を入れて、
1:39:52	あれですかね、一応
1:39:54	言葉遣いで全体、問題ないと、というような確認はされてるってこと でいいですよ。
1:40:04	はい。日本原燃仲村です。はい。確認しております。
1:40:10	はい。規制庁加賀です。わかりました。
1:40:13	あと数ページのところで、
1:40:23	ここで今評価条件整理表で (1) の容器の整理表があって、次に間があ ってってということなんですけど、
1:40:36	これもくじいがよくわからなくて、どういう単位でこの評価条件整理表 作っつけていこうと思ってます。
1:40:49	日本原燃高村です。今は評価条件整理表は容器と管の
1:40:56	類に分けて整理、整理をつけていきたいと考えてございます。
1:41:04	規制庁カミデです。計算書は、

1:41:09	あれですよ。区分、
1:41:13	96 ページとかにありますけど公式解析、完成品みたいなふうになっていて、
1:41:23	それはごちゃまぜで、
1:41:26	もうつけちゃうってこと。
1:41:35	はい、日本原燃中村です。
1:41:38	96 ページ目に行きますと、公式による評価とか解析による評価と書いてございますが、この方式による評価の後に例えば容器なら容器間なら間と分けて、
1:41:49	示していきたいと考えてございます。
1:42:01	規制庁神です。ちょっとよくわからないんですけど、96 ページの、
1:42:06	この 2-1 が評価条件整理表ですよ。この 2-2 が公式によるって言って、今の話だと、この西中に入ってきますって話ですけどそれだともうこれ実は合っていないで、
1:42:20	おかしいと思いますけどどうですか。
1:42:28	日本原燃仲村です。評価条件整理表は評価条件セイヒョーで容器と管に分けて添付していきたいことを考えてまして、
1:42:38	式による表、強度評価章についても容器とかに分けて、それぞれ示していきたいと考えていたところでした。

1:42:48	規制庁深見です。なので
1:42:51	一般的に言うと、評価条件整理表も、公式による評価の間ですとか、完成品の
1:43:02	容器ですとか、そういう単位でまとめてもらえないと、一覧表、手にする意味がないと思ってるんですけど理解いただけます。
1:43:17	古作です。ちょっと、
1:43:19	カミデさんの言ってる意味がよくわからなかったんですけど、どちらかというところは仕様表の並びでバーンとつけていて、
1:43:28	紙この仕様表のこのものは、どの区分なのかっていうのが、右から3番名の列で示されてその番号から、
1:43:41	次の枝番の
1:43:44	公式なのか、解析なのかっていうところで見えていくっていう思想でこの書類作られてたんだと思ったんですけど何か話が変わってませんか。
1:44:03	規制庁カミデです。
1:44:07	この区分は、
1:44:11	記念課から条件の変更がありやしやっていうことなので、そこだけで解析なのか、完成品等、解析なんか公式なのかっていうのはわからなくて、
1:44:27	なので

1:44:28	表として、
1:44:32	96 ページにあるような公式解析、完成品というの区分で分けるか、もしくはは今言われたようにこの表の中でどの区分との区分とということの、
1:44:45	評価の仕方に当たるのかっていう表現する場所を作らないと見えてこないんじゃないかということをお伝えしましたが、事業者、今の話を聞いて、
1:44:59	ゾーン、どういうふうにするればいいとか、と受けとめてます。
1:45:10	日本原燃の瀬川です今ちょっと在庫チームがフリーズしてるので、私の理解を、お話をさせてもらいながら場をつなぎたいと思うんですが、
1:45:21	衛藤カミデさんがおっしゃられたのは、5-2-1、
1:45:26	ーん中の2ポツの評価条件整理表となった場合に最初に、例えば2.1で、
1:45:35	既認可の読み込みに関する評価条件整理表みたいなのが、項目立てされて、続いて2.2で、
1:45:43	公式による計算をやる評価条件整理表で2.3で解析というような形では、はい。
1:45:49	石原さん、すいません。
1:45:52	いや、通常今まで作ってきたときのこれまでの経緯からいくと、

1:45:57	5-2-1 を 5-2-2 号の 2-3 よりも前に持ってきた理由は、先ほどコ サクさせていただいた通り、
1:46:06	区分をちゃんと明確にして、この先の 5-2-2 号の 2-3 にバトンを出 さなきゃいけない人が誰かということを明確にしたかったという意味 で、
1:46:16	5-2-1 にこの条件評価条件整理表を持ってきました。なので、ここで ①番になると、次にバトンがいかないと。
1:46:24	②とか③ですかね、になると、評価をしなきゃいけないので、公式によ る評価、解析による評価っていうものに、2-2-3 に、
1:46:37	バトンを出そうというためにこの一番前にこれを持ってきてました。上 出さんおっしゃるように 222 とか 3 になった人が、いわゆるこれが公式 なのか。
1:46:48	解析なのかっていうのがこの時点でわかった方が、
1:46:53	安いよねってのはおっしゃっていただいている通りかもしれません。現状 は、52-25-2-3 の中でつける表の中で、その区分に入る人がこの人 ですってのがわかるようにすれば、
1:47:04	対象物は明確になるかなと思っていたということでございます。以上で す。
1:47:11	はい。規制庁カミデです。

1:47:14	ちょっと頭から整理をすると 91 ページから話をした方が、
1:47:19	よさそうですね 91 ページの (3) 番で今、①が、
1:47:27	条件の変更がありませんと。
1:47:30	②③は条件の変更があって、かつ②はこうしきいでやるもの、つまり、
1:47:43	96 ページで言うと、5-2-2 に行くもので③か、5-2-3 に行くものといつて一応そこでは、
1:47:53	区分がついてるんですね。そういう意味だと、
1:47:56	5-2-4 に行く区分が、
1:48:00	いないので、
1:48:02	何か、それはそれで何か今気持ちになっているような気がしますが、
1:48:08	91 ページのこの評価区分に④が入る。
1:48:13	ていうことは、
1:48:14	④入れちゃえば成立来ますか、どんな感じですか。
1:48:21	日本原燃仲村です。はい。完成品を入れれば綺麗に分かれていくと思います。
1:48:31	はい。規制庁深見です。わかりました。じゃあ、
1:48:34	あれですかね、100 ページは、
1:48:38	容器は容器いかんわかんということで、あとはその区分のところで1枚、3④分かれれば、丸井ちゃんも下流にはいかないし、

1:48:50	②はこの2-2だし、みたいな形で展開がわかるようになるって感じですかね。
1:49:04	はい。日本原燃仲村です。はい、承知いたしました。
1:49:09	はい。垂直それであればわかりました。
1:49:17	あとそうですね。
1:49:26	はい、規制庁上津大体在庫01については別紙4-3の辺りとかは、
1:49:38	大体はかけてきたのかなっていう感じがしますんでちょっとその辺りの構成。
1:49:44	を直せば
1:49:47	これぐらいかなという感じがしますので、はい。
1:49:50	その辺りの修正だけお願いします。一応私の方からは以上です。
1:50:02	そう。私が司会です。岡規制庁側から、
1:50:07	確認事項ありますか。
1:50:14	はい。規制庁亀井です。じゃなければ次の資料で、
1:50:21	次の資料何番でしたっけ。
1:50:25	はい。日本原燃中間です。
1:50:28	続いて在庫の02になってございます。
1:50:32	はい。成長からですね、在庫02で、
1:50:37	そうですね。はい。

1:50:39	じゃ、これ、何か説明したいところありますか。
1:50:44	日本原燃仲村です。はい。こちらの資料は特にございません最終ページの方にあります。第3-2表、こちらの方を前回コメントを踏まえて修正いたしました。以上です。
1:50:58	はい。規制庁カミデです。在庫ゼロについては18ページから、
1:51:05	181920ページのところですね。ええ。
1:51:12	経年劣化事象に対して、もともと設計で、
1:51:18	材料構造という、
1:51:21	ことに縛られずに、全体の再処理施設の設計としてどんなことを考えているかと。
1:51:27	いうところを、
1:51:30	獲得29ページからは九重いただき、保全のドームなのは、少し文言が足されてという特に10ページのところですね、保守管理のところ、
1:51:45	監視はちゃんとできてますよと、いうことをされたのだとは思いますが、まずは、大分内容も細かくなってますし、とりあえず表は作られたって感じですけど
1:52:01	本文のところに、
1:52:03	きちんとオープン紙を書いてですね、表でまとめるところは簡単なキーワードで、

1:52:11	全体の体系を示すという程度の書類にしてもらえればと思いますけどその点はまずよろしいですかね。
1:52:21	日本原燃の仲村です。はい、わかりました。
1:52:27	はい。規制庁深見です。
1:52:29	各場所とか、今全然本文では入れてないですけど、これからやろうと思っただけでいいですよ。
1:52:38	日本原燃ナカムラですはい。
1:52:40	本文の方はこれから、主詳細化していきたいと思っておりました。以上です。
1:52:47	はい、規制庁上津わかりました。で、あとはちょっと表の中身に、
1:52:54	参りますけど、19 ページのところコンクリートの強度低下っていうところで、
1:53:03	降下火砕物の特性によってコンクリートの強度低下とかがあって何か考えてましたっけ。
1:53:21	日本イワタニです。ちょっと書くか悩んだんですけども、一応火山のところに、なんていうんですかね、構造物に対する化学的影響のその腐食くうに対して、
1:53:35	塗装とかで、安全機能を損なわないような設計とするところがあるんですけど、ちょっと広義に読んだときに、

1:53:46	コンクリートの劣化に対する設計事項の考慮事項かなあというところで書いたというところになります。すいませんちょっと書きすぎてるかなと思ったんですけども、そんな意図でございます。
1:54:01	あと、規制庁カミデ、その辺って、外部事象の担当の人たちと話をした結果なんですかねあんまりコンクリートなのかって感じもしますが、大ざっぱにはまだわかりますか。
1:54:18	日本原燃岩谷です一応火山の人間とも話はしたんですけども、確かにここに関してはすいませんちょっと具体の設計としては確かに書いてあるか。
1:54:33	書いてあるのって言われると、
1:54:35	具体の設計としてコンクリート対象にするとかも書いてないので火山のすみません、規制庁コサクです。最初に言われた説明は、外部事象の方で話をされてると思います。
1:54:49	ただ、
1:54:50	核にしても、今の塗装とか対応しますと言っていて劣化しないようにしますという設計だったと思います。
1:54:58	そこが書かれてないから意味不明で、
1:55:01	あたかも劣化するけど、レッカーしても大丈夫ですみたいな。

1:55:06	話になってるような気がしたんですけど、ちゃんと書いてますかっていうことじゃないですかね。
1:55:20	0 イワタニです。小崎さんのおっしゃる通り書くなら、そういったことをしっかり書き切れという話だと思いますので、
1:55:29	そういったところを追記して修正したいと思います。
1:55:35	はい。補足です、その時に降下火砕物別を書いてありますけど、
1:55:41	コンクリート強度低下の腐食の要因としてそれだけっていうわけでもなくて、
1:55:50	何ですかね排水とかもしているしっていうような、もろもろあるような気がするんですよ、塩害とかだっていないわけでもないでしょうし、
1:56:00	そこら辺どうなんですかね。
1:56:09	日本原燃岩谷ですおっしゃる通り円がに関しても、やっぱり土蔵で見てるっていう部分あって、どこまで進みません事象として見てるっていうところを論文に化するというか、関係するところの整理というところで、
1:56:27	ちょっと前広に今は記載しているというそんな状況です。すいません。なんてないかもしれないです。色になってないから言ってて、
1:56:36	限定して書いちゃってるから余計目立つっていうことで、やってるのはもろもろ塗装なり何なりで、

1:56:45	なんすかね劣化環境にならないように、
1:56:48	メンテナンスしてるってということだと私は理解をしてたんですけど。
1:56:59	日本原燃岩田です。ありがとうございます。はい。ちょっとそこ、悩んでいたところでしたので今コメントいただいて、何となく方向性っていうのはわかったと思いますのでちょっと修正方針としてはちょっと塩害に関することとか、
1:57:13	ちょっとその他の事象で考えてることっていうのを1回、再度ちょっと見た上でここに参るように変えていきたいと思います以上です。
1:57:28	はい。すいません委員の佐藤です。ちょっとあれなんですけど、床、設計としての考慮といったところの記載になるので、私先ほど小阪さんが言われた通り基本コンクリートの方はメンテナンスというか、私は見るという理解そこをしっかりと確認した上で、
1:57:44	本当にコンクリートに塗装して、してですね防ぐというようなところ本当にあるのかというのをしっかりと確認してちょっとここは記載したほうがいいと思います場合によっては、設計というよりも以降の保全ですかね、メンテナンスの方で、そこをしっかりと確保するということ。
1:57:59	んなような気がしますので、そこはちょっと確認した上で記載します。以上です。

1:58:06	長コサクですそれで言うとはですね、ちょっと明確に分け過ぎているので、悩ましいところも出てくる
1:58:16	んで、
1:58:17	設計だけで担保っていうのはほとんどないんですよ。
1:58:20	設計で担保評価してんのかって維持管理できるようにしておくっていうことが結構多くて、そのための施工というところでの工事の方法はあるし、
1:58:32	そうなっていることの使用前事業者検査があるし、と。
1:58:37	ということなので結構、
1:58:39	繋がっているんで、こういう表になったときにどう書くのかなというのは、
1:58:45	悩ましいなと思って見てました。で、
1:58:49	その点だと、
1:58:50	設計は分けて書かれているからいいんですけど、
1:58:56	保守管理についてはP L Mのところとかで分割して書かれてたんでかけるということで書いているんですが、その間の工事の方法使用前事業者検査も、
1:59:07	本当はそれぞれに考えることがあって、
1:59:10	特に、ちょっと話ずれちゃいますけど、

1:59:15	切手の腐食減肉っていうところについては、初期肉厚をしっかりと見て、その後の減肉管理ができるようにするっていう、非常に大事なあ。
1:59:27	業務があって、
1:59:29	今回はすでに今日実態上の供用状態にあるところでの代替措置っていうのがありますが、そういうのが全く見えないっていうのがちょっとよくないなあというふうに思ってます。
1:59:43	どこまでここでこだわるかはよくわかりませんが、
1:59:50	せっかく使用前事業者検査の方ではそれぞれ議論してたのになというふうに個人的には思っています。すいません。以上です。カミデさんどうぞ。
2:00:01	はい。木曽岡見です。佐藤さんも言われてましたけどコンクリートの強度っていうか本当に起こりうるのかっていうのは、ちょっとちゃんと調べてと。
2:00:12	っていうのも、コンクリートの強度低下、基本的に中性化なんで、あるカリーに対しての山だと思ってるんですけど、
2:00:22	降下火砕物の性状ってそんな賛成だったかなっていう気もしてはいますね、
2:00:28	ちょっと細かい話ですけど、しっかり確認をしていただいたと。
2:00:32	ということと等、

2:00:35	この表の整理でいうと 17 条 37 条のところ単純にバーッとなってますけど、それぞれどういう理由かっていうのはわかるようにしておいた方がよくてですね。
2:00:46	市場コンクリーだってそもそも、
2:00:50	要は対象になって、対象にしていなくて、
2:00:54	一方で、だから、十七条としての手当ではなくてその他のところの手当ですってこれも上下の繋がりみたいなところですけど、
2:01:04	そういうところをちゃんと説明してもらえればと思いますが、いかがですか。
2:01:14	日本原燃ナカムラですはいつつ、そこは全部一致するようにいたします。以上です。
2:01:22	はい。規制庁可児です。あと、
2:01:24	保守管理の、今回追加されたまた書きで同じものを書いてますけどこれは
2:01:31	先ほど言いましたけど本文の方に、
2:01:33	ずらしたときには 1 個 1 個に書くんじゃなくてまとめて、同じようなことはまとめて書けばいいというのでその辺も適正化されると思ってますけど、認識は合ってますかね。
2:01:45	はい。日本原燃仲村です。はい、承知いたしました。

2:01:51	はい。規制庁神戸です。あと 20 ページにあって、二相ステンレスⅣのところの説明の、
2:02:01	設計の説明なんですけど、ちょっと本当かなって感じがして、
2:02:06	理想ステンレス行が存在してる系統を 250 度以内にならないよう設計しているっていうのは、結果としては、今そうかもしれないけど設計のプロセスとしてはきっとそうではなくて再処理施設の系統設計の基本的な考え方として、
2:02:25	高圧高にならないようにというのをしているとともに、溶融炉とかにならないところにはこういうものを使わない設計としていると。
2:02:38	というのが正しい説明じゃないかと思ってるんですけど、いかがですか。
2:02:45	日本原燃ナカムラですはい。神谷さんのおっしゃる通りで結果的にこうなっていたというのをちょっと設計していると書いてしまったところでございました。ちょっとそこがわかるように修正いたします。
2:02:58	はい。規制庁神戸です。短いところなんで二相ステンレスこんだけ話をしましたけど、中性子のところも何かそんな感じになっている。
2:03:09	ような気もするので、精査をいただければと思います。
2:03:15	で、あとちょっと下確認というか聞いてみたんですけど、⑤の保全のところの周中性子照射脆化のところ、

2:03:25	異常が確認された場合には不適合管理に鉄製っていうのは確かにそうなんですけど、ここで言ってる以上って、どれぐらいの規模のものと思っ て書かれてます。
2:03:42	日本原燃仲村です。はい。ここで書かれてるのは上に書いてあるような 基本的には起こらないだろうと書いてますけれども臨界状態、臨界の事 故とかそういったものを、
2:03:53	考えておりました。
2:03:57	藤規制庁カミデです。設計基準事故として想定しているようなものを、 単に以上と言ってですね。
2:04:07	不適合管理でって言われても、ちょっと、
2:04:12	なかなか受け入れがたいところではある。その辺りもちょっと適切につ ていうのとあと、そこまでいかないにしても、ちゃんとパラメーターな り管理していて、通常の
2:04:25	間に力、少し外れるような場合には、手当をする、それぐらいであれば 異常が確認された場合には適用可になり対策を打ちますと。
2:04:38	その確認なり対策をしますということなんじゃないかなと思いますけど いかがですか。
2:04:46	はい。日本原燃仲村です。はい。はいその通りだと思いますので、ちょ っとそう修正いたします。はい。

2:04:54	はい。規制庁亀井です。おそらくここの保守管理書くべきはそういうところで、
2:05:01	この①の事象に起こるような規模の話を、今、確認してるのではなくて、通常、要は②の設計で担保しているような状態にあるっていうことを確認するしそれよりもこういった動き場合にはこうしますということだと思うのでそのあたりもう少し。
2:05:19	丁寧にカーのわかるように書いていただければと思います。
2:05:32	了解いたしました。
2:05:37	はい。規制庁カミデです。私の方から在庫 02 は以上ですか他規制庁側から何かありますか。
2:05:51	規制庁コサクですねのためですけど、この話してる時 2、或いは、この話になる前段で、検査グループの方での面談で話してたように、
2:06:04	設計部隊等、工事を全部対等とかっていうので、ちゃんと認識共有されてるんですかっていうことがあったと思うんですけど。
2:06:16	今回この表を作るにあたってそれぞれの部署と話をし、
2:06:23	それ、その各プロセスのところでリンクが張られ、相互関係は、認識共有できてるって思っているんでしょうか。

2:06:35	日本例年イワタニです。はい。結論としてはそうで、今ヒアリングの場にも保税ん技術や保全期架空ですとか、事業者検査課とカーも集まってきました、この資料を作る。
2:06:50	時にも関係者参集して資料をオーソライズして作り上げたものになってございます。以上です。
2:06:59	はい、わかりました。そうしましたら、先ほど私が話をした使用前事業者検査のところは、各事象についてどう扱うべきなのかとかっていう話だと思うんですけど、
2:07:14	そういう具体があまり示されず、何か断片的な一般論だけ書いてるっていうのは、どういう認識で作業されたのかって、何か一言、担当から説明してもらってもいいですか。
2:07:41	すいません少々お待ちください。
2:07:51	はい。日本原燃杉本でございます。
2:07:55	今、ただ、ご指摘の件ですけども、
2:08:01	星摩周前事業者検査の検査の条件、
2:08:05	しまして、各事象に対して、保全、保全として活動しておりますので実績を確認するということで保全内容の確認と、すいません。
2:08:17	コサクです。今の説明だけそもそも、今回何がタスクになって、
2:08:21	理解をしていないことがよくわかりました。

2:08:24	結果として、設計部門と、或いは県検査で言われたことかもしれませんが、ちゃんと認識共有が相互にされてないということもわかりました。
2:08:38	ここで書かれているのは、既設設備に対して、要は先ほどの実際の設置してから、今回の使用前事業者検査が時間がたっていると。
2:08:48	ということに対しての対応を書けばいいんだというふうに勘違いをしています、
2:08:52	本来、
2:08:55	建設をし、強まり事業者検査で見て、共用に入ると。
2:09:00	いう時に、どういうこの劣化事象について配慮が必要かと。
2:09:05	いう視点が全く抜けていると。
2:09:08	ということのように思います。
2:09:11	私自身はこの補足説明資料どうでもいいので、
2:09:14	これを直せということは言いませんけど、
2:09:17	そういう大事なことはしっかりと認識共有しないと、原燃としての施設管理にならないと思いますので、しっかりとコミュニケーションをとってください。以上です。
2:09:34	日本原燃渡井です。はい、承知いたしました。すいません。
2:09:44	はい。規制庁カミデです。

2:09:49	岡。
2:09:51	規制庁側から何かありますか。
2:09:59	どっと来なければじゃ次、在庫は最後ですかね在庫 04 番ですか。これも、
2:10:07	何かポイント説明したいところとかありますか。
2:10:12	日本原燃。
2:10:13	中村です。こちらの方特に説明したい事項ございません。以上です。
2:10:20	はい。規制庁カミデです。在庫 04 は 4 ページのところで、
2:10:27	もう、
2:10:28	何を。
2:10:29	何を説明するものかというところを一応背景とかを含めて、書いてもらったのかなと思ってはいるんですが、
2:10:40	4 ページの一番最後のパラのところを見ると、
2:10:45	結局
2:10:47	あれなんです先ほど 00 でいった区分 1 に対して呼び込みで、
2:10:52	済ませられるということの妥当性を説明したいということなんですけど。
2:11:00	4 ページの一番下で言うと、新しい昔の評価と今回の設工認における、
2:11:10	影響でしょうか。

2:11:11	の、比べて、公式を使っています。どんな硬式かをさておいて公式を使っています。
2:11:20	許容引張応力設置を基準にしてますと、
2:11:25	どう基準にするかは別としてと、
2:11:28	阿藤明日音もどんなものか、あれですけどりあえず集めなんですと。
2:11:32	ということ変更がなくて大丈夫ですって言われても全然納得感がないんですけど、事業者はこれで説明できてると思っています。
2:11:51	日本原燃ナカムラですはい。一応、
2:11:54	基本的な考え方ですか、そういったところ変更ないっていう思いを込めて書いた文章でこれでできているつもりでしたが、
2:12:03	今の上出さんの指摘ですと、もっと詳細に例えば各教科の内容ですか、そういったところに踏み込んで
2:12:13	変更がないっていうのを記載した方がいいというご指摘でしょうか。
2:12:18	以上です。
2:12:19	藤規制庁管理です。まず、この公式っていうの2、
2:12:24	投資家が全く同じであれば、全く同じ公式って書いてあれば私はそこは突っ込まないでそういう認識で今話をしていますけど。
2:12:35	はい。日本原燃仲村です。はい。すいません。

2:12:38	そこはちょっと記載不足しておりましたが基本的には同じ方式を使う予定でございました。
2:12:46	藤規制庁カミデ基本的にはって言葉がつくところに本当に大丈夫かっていうところがあるんですけど、理解いただけます。
2:12:55	はい。日本原燃仲村です。はい、理解いたしました。と同じ公式です。
2:13:03	はい、規制庁岡見です。
2:13:06	あとは引っ張りを設置に何かしら係数掛けたり、処理をして使ってるんじゃないかと思えますけどそのあたりも全く一緒ってということですか。
2:13:18	はい。日本原燃ナカムラですはい。そちらも一緒でございます。
2:13:24	はい。規制庁菅です。
2:13:27	だとしても、
2:13:31	全く変わりませんよってということぐらいは示されるべきなんじゃないかなと思いますし、
2:13:38	あとですねちょっとよくわからないのが、
2:13:42	在校 0001。
2:13:46	2、
2:13:47	別紙 5 っていうのがついてて、
2:13:55	ページで言うと、
2:13:57	別紙 5 は、

2:14:04	168 だったかな。
2:14:11	あと 168 ページの別紙 5 で、
2:14:26	すみません 167 ページですね。
2:14:29	ええ。
2:14:33	ここで、
2:14:34	実用炉なんかだと、クラス 1 能力評価における建設時のコウニントウ
2:14:43	規格の比較というので、説明書を作っているんですけど、
2:14:52	再処理はいらないと、何でいらなかったかというとクラス 1 がないからで すっていう話なんですけどこれそもそも、目的を勘違いしていて、
2:15:04	昔の規格を使うであれば、今これをスタンダードとしますと言っている 企画と削減なり、多分かあるいあるやなしやっというのを、
2:15:16	ちゃんと説明するのが目的だと思うんですけど、なんでこれも拾い上げ られてないのかもよくわからないんですが、その辺ちょっと説明いただ けますか。
2:15:28	はい。日本原燃大窪でございます
2:15:31	ご指摘の 167 ページの全部のクラス 1 につきましては、
2:15:36	告示 5015 といいましても昭和 45 年告示でございます、当時の規定で すと

2:15:43	2、現在の進めの設計建設規格ほど詳細な規定がされていなかったところがございましてその辺詳細に補足が説明されているものというふう に認識してございます。
2:15:56	再処理でいきますと 55 年の告示 5015 ですので、そちらになってきます と、J A S M I N E の設計建設規格と同じ規定になってきますので、そ ういった意味で、
2:16:06	ちょっとここは対象外にしていたというところがございまして。日本原燃 石原でございまして。
2:16:13	大久保さん、今の説明だと、別紙 5 を正しく作ってないってこと自分で 言ってることと変わらないです。
2:16:20	四、五でやらなきゃいけないのは、発電所で補足説明資料を作っている 趣旨を考えた上で、
2:16:26	我々で、どういう補足が必要かっていうのを抽出するとすると、
2:16:31	多分それができてないからさっきの教材小 04 の本文側の目的がずれて いるんだな気がします。
2:16:40	結局は過去使ってたものが、今も使えるんだ。
2:16:45	ということ。それは、企画だけじゃなくて、式もそうだし、判定基準もそ うだし、条件もそうだしそういうものが既認可から変わりません。今で も使えます。

2:16:57	なぜならこうこうこう入れるからですっていう補足をまずちゃんと作んなきゃいけないっていう、目的意識が多分ずれてるから、こんなことになるんじゃないかなと。別紙5でやって欲しいこの比較表の、
2:17:08	書いてる一番右側、今大窪さんが説明したことをしてもらうために作ってるものじゃないです。
2:17:23	はい。根井大久保でございますはい。すみませんちょっとそういった意味でちょっと認識が足りなかったところにつきましてはちょっと
2:17:31	認識を改めてちょっとここはもう少し詳細に説明するとともにですね
2:17:36	目的をしっかり整理してその点について詳しく在庫04の方でも説明を追記していきたいと思います。以上です。
2:17:49	はい。規制庁カミデです。一応念のため、石川さんが言ってくださったんで、
2:17:56	お任せできるんじゃないかとは思ってますけど、一応確認しますけど目的を整理してっていうのは、な、何の目的を整理しなきゃいけないんですかこれから。
2:18:08	日本原燃大窪でございます。
2:18:10	すみませんそういった意味ではまず金貨を引用する、この妥当性を説明するというのが大きな目的でございます。それに対してどういったことを説明していない、説明していかないといけないのかというところ。

2:18:24	ここがちょっと今全然足りてないというふうに認識いたしましたので、その辺を詳細に説明していきたいというふうに考えてございます。
2:18:33	以上です。
2:18:35	はい。規制庁加来です目的は懸念会員用でいいことをちゃんと説明するっていうことを今言われた通りだしそれは今の在庫ずれももう一応、
2:18:46	書いてある話なんで今からまた整理をすべきとしては別に整理をしない。
2:18:52	する必要はなくて、それに対して何を説明するかっていうのをもうちょっと整理をしてと。
2:18:58	ということと、あと目的っていうことになる例えば別紙5なんかは、もう目的は整理されてるんですけど、それに対して適切な書類作りつつと、例えば、
2:19:12	補足の420-5とかはこれについては
2:19:18	何ていうか先ほど説明されたような企画の年度の背景とかもあるので、直接対応としては作らないんだけど、在庫をするように呼び込みのことを書きますとかですね。
2:19:32	そのあたり目的に沿った書類作りをしてもらってということだと思えますので対応よろしくをお願いします。
2:19:42	はい。井上の大久保でございますはい、承知いたしました。

2:19:47	はい。
2:19:49	はい。規制庁深見です。そうですね在庫ゼロについてはまずそこを、
2:19:53	認識合わせなきゃというところだったのでよろしく申し上げますと、規制庁側から、在庫ゼロ何かありますか。
2:20:04	規制庁コサクです。在庫ゼロというよりは今の、
2:20:08	話のことに關してですけど、全般的に、
2:20:14	既認可からかもしれませんけど、何となくんやってるからいいでしょうみたいな感覚で、人、
2:20:23	が申請をされてるような気がしてまして、
2:20:27	何でその評価でいいのかと。
2:20:30	いうことをしっかりと説明し切ると、いうことが大事で、その時に
2:20:39	再処理の技術基準については、解釈が、溶接しかなくてというところであまり
2:20:49	要求事項としてはこういうものになってて変わってないからとかっていうのは、言いにくいところではあるんですけど、現状の産業界での
2:21:00	最新知見を踏まえてこういうようなことがあってというようなことを踏まえながら説明をされるというふうにこの間聞いたような気がしますので、

2:21:10	それに照らして元がどうであって、変わりませんというなら変わりませんと、いうことをしっかりと述べると。
2:21:19	ということだと思います。そういう上流から下流に流れていく、考え方、流れているか、考え方、
2:21:28	ということそれを具体化をどうしているのかということ。
2:21:32	いうのを一連しっかりと体系立てて説明するというのが、原燃それぞれの担当に不足をしていることと、
2:21:39	いうふうにこの1年間の審査では話があったことだと思いますけど、
2:21:45	材料構造の関係者は理解されてるんでしょうか。特に施設関係、広く、一番耐震に次、
2:21:55	関係者が多い条文だと思うんですけど、そのあたりどういう認識されますか。
2:22:09	はい。日本原燃仲村です。
2:22:12	一応そういった観点で上流からか。
2:22:16	上流体系立てといいますかきちんと説明しきるという観点で、過去の式ですとか、現在のJASMINNEの式とかも含めて、許容値等も含めて、
2:22:28	きちんとやってくつていうことを意識してやっていたつもりでしたけれども、

2:22:33	少しちょっと体系立ててってところが少し足りてなかったかもしれないのでそういったところは少し、もう少し考えを、
2:22:40	改めてちょっとやっていこうと思います以上です。
2:22:44	日本原燃の瀬川です
2:22:46	実在庫に関して言えばですねやはり各行と今とで違いがある、若干の違いがあるといったところは認識していてそこが違いとしてとらまえるべきかそうじゃないかっていう分析はしっかりやられているというのは、実作業としてやってきているというのは、
2:23:03	見ているんですけども、それをきちんと説明し尽くすという意識がやはりちょっと、
2:23:10	何で1年もやってきたのに相変わらずそんな意識なんだって言われてしまふと返すことはないんですけども、そこがちょっと希薄だったのは事実ですので、私ども許認可側の人間もですね、しっかり変更がないんだといったところはなぜ変更なしでいいんだといったところをしっかりと説明し尽くすようにと。
2:23:29	いう意識づけ、引き続き継続して、より力を入れてやっていきたいと思っています以上です。
2:23:38	はい。コサクです。

2:23:40	条文担当及び許認可業務課取りまとめ担当ということでそれぞれの認識を行っていただいたと思います。
2:23:55	やっぱり、まず許認可業務課が許認可にあたって何をすべきかということとはしっかりと条文担当に伝えていただくと、ご理解いただいて、
2:24:05	条文担当はそれで整理されてるものがしっかりと施設か。
2:24:11	全体にですね、理解をされそれが具現化されていること実行されていることと、
2:24:17	いうことを確保していただくという必要がありますし、各施設課があり、
2:24:24	甲斐野元メーカーと話をしてしっかりと作り上げ、
2:24:29	維持管理するっていうことが大事なので、
2:24:32	今一体となって、
2:24:36	実態確認を進めていると、ということだと思いますけど。
2:24:40	それをしっかりと、こういった場で、
2:24:44	部隊を示していただく説明いただくということもとても大事な
2:24:48	ことですので、
2:24:51	認可を受けるとのことでの対応ですから、よろしく申し上げます。以上です。
2:24:59	日本原燃瀬川で承知いたしましたありがとうございます。

2:25:06	規制庁ヶ月他、在庫ゼロン並びにほか全般でもいいですけど、規制庁側から何かありますか。
2:25:18	特になければ在庫 001 から、事業者の方から振り返っていただけますか。
2:25:31	はい。日本原燃仲村です。まず在庫 0001 になりますけれども、こちらの方は今日、
2:25:39	9 分ですね。衛藤。
2:25:41	ページ 91 ページのところで作成区分ございますがこちらの方のところで、きちんと数完成品の区分④というものを加えて、
2:25:51	目次と合うように、
2:25:53	するといった点がこちらの対応になっていると思います。
2:25:58	在庫 0001 の振り返りは以上で在庫 022 ですけれども、
2:26:04	まずは在庫 02 の方としましては
2:26:08	ちょっと表の中身がちょっと詳細になっているところがあるので表の中身をきちっと詳細な文章というのを本文側に記載しまして、表の方は
2:26:20	簡単なキーワードでくくっていくというそういうまとめ方をしていくところ。
2:26:25	あとは

2:26:27	表の中で17条37条の項目の中でバーっていう記載がございますがそこは 何でバーなのか他の条文に預けているので、あれは、そういったところを きちんと書くといったことも実施していきます。
2:26:41	あとは、
2:26:45	T2足ステンレス高の話ですとか、中性子の話、移送ステンレス工の話 につきましては、
2:26:53	現状
2:26:56	のところでは使わない設計とすると書いておりますけれども、こういった ところで処理の特性を踏まえて、高圧にならないような特性があるって いうところを踏まえて、記載を適正化していくといった点です。
2:27:10	は中性子照射脆化ですとか、照射誘起応力割れのところですがけれども、 臨界の話に記載してございますけれども、
2:27:19	臨界、保守管理のところでは異常という項目がありますが臨界にならない ために、パラメータのずれですとかそういった点を、
2:27:29	記載、そういったものがあればそういったものを踏まえて対応していく といった内容を書いていくということ
2:27:38	ということで、次の点になります。あと最後になりますけれども使用前 事業者検査の記載のところ、ちょっと分、全部統一的な書き方になっ ていて、ちょっとプランになってますので、各事象ごとに、

2:27:53	うん。この使用前事業者検査の段階でどんなことをやらなければいけないのかといった点をきちんと書くといった点だと思っております。
2:28:04	続きまして在庫 04 になります。在庫 04 につきましては、
2:28:09	まず目的、既認可を呼び込むっていう目的を踏まえて何を説明するのかっていうところをもう一度整理しまして、式が同じですとか、判定基準が同じといったところ、そういった項目を、
2:28:23	明確にちょっと体系立てて整理した上で記載の中身の記載を見直していくと。
2:28:29	いった対応をしいいと、いきたいと思います。
2:28:34	はい。振り返りとしては以上になります。
2:28:39	規制庁上出です。まず、在庫をゼロにですけど、書類をそういうふうに直すっていうのは書類としてはそうなのかもしれないですけど、伝えたのはその、
2:28:51	関係者間で、こういう経年劣化事象を挙げられていることに対して、
2:28:58	全体として、設計とか、検査保守とか、全体としてどういうふうに取り組んでいくんだっていう、取り組んでいく、取り組んでいるのか。
2:29:08	事実関係も踏まえてちゃんと関係者から認識を合わせるというところが第 1 ページで、その結果を書類に落とし込むっていうところなので、その点、

2:29:24	抜かりがないようにというかしっかりやっていたらと思います が、よろしいですか。
2:29:29	日本原燃ナカムラですはい、ありがとうございますそのように取り組み ます。
2:29:36	はい長コサクです。
2:29:37	大枠は
2:29:40	カミデから言ったところでやっていたらと思うんですけどちょっ と細かな話になっちゃいますけど、逆に、中性子脆化のところ言われて たのカミデからは、
2:29:51	不適合管理だとか、何かあったら対応しますとかっていうことじゃなく て、
2:29:56	忠節脆化するような環境にそもそも、
2:30:01	ないですよということであれば、その環境に、
2:30:06	そういう状況の環境でちゃんと運転してますよということを立証できる ようにしておく。
2:30:11	いうことであって、
2:30:14	まず、運転管理により関心なんで、運転管理の情報を保守管理施設管理 としてはどうするのかと。
2:30:22	どう判断していくのかっていう古藤の

2:30:26	実務をしっかりと書くって話だったと思うんですけど何かやっぱり認識がずれてるような気がしたんですけどいかがですか。
2:30:36	はい。日本原燃ナカムラですはい。すいませんちょっと補足ありがとうございます。ございましたちょっと少しずれてましたので、
2:30:42	運転管理とか掘保守管理といった観点でこういった中性子照射脆化が発生しないような状況がちゃんと作られているといったところを記載していくようにしたいと思います。
2:30:57	宮城西原でございます。多分、
2:31:00	わかりきってないと思うのでちゃんと社内で展開をしますそれぞれ設計、検査、運転、保全が、
2:31:10	繋がってるっていうことをちゃんと意識をしてそれがバトンを引き渡してるんだっていうことが多分前提に頭多分ないんで、それぞれぶつ切りで作るところがあるんだと思います。そこの知識をまずちゃんと整理をして、
2:31:25	下記暮らせるようにしていくということかなと、そもそもそういったやっていかないと結局、ピントがずれた運転管理だったりピントがずれた保全だったり、ということにもなるので、
2:31:35	そういうことを意識して整理をさせていきたいと思います。以上です。
2:31:40	はい、古作です。よろしくお願いします。

2:31:46	はい。規制庁加治です。あとはそのスケジュール感ですけど、
2:31:51	等進めていきますか。
2:32:16	あ、すみません少々お待ちください。
2:32:32	あとは、はい。
2:32:36	まず、0001の方は端数、できるだけ早く、もう出し切りたいと思っております。
2:32:44	今、04020204ですね、これでどう、どうしようといったところで、やはりこの目いただいたコメントを踏まえるとですね、
2:32:55	もうここ数日でパパンとっていうわけにはなかなかいかない重いコメントかなと思っております、
2:33:04	ちょっと補正との見合いでちょっとどう、どうしたもんかと。
2:33:10	いうところ、ところでちょっと思考停止しておりました。
2:33:15	規制庁カミデです。まず0001って、
2:33:20	補正の前に出す必要って何かあります。
2:33:26	はい。日本原燃の嗟峨です今日いただいたコメントですと認識違いが発生するようなものではございませんので、
2:33:35	そういう意味で亀田さんがおっしゃる通り補正前に出すというのが町とかっていうとそういうわけではないと思っております。

2:33:44	はい。規制庁菅です別紙5とかはあり、ありますけど、それは補正と同時にまた00出てくることだと思いますのでその辺できるようになってればいいかと思います。
2:33:56	在庫02については
2:34:00	中でまずしっかりとという古藤ですからまた特に第1回の云々という感じでもないので今話をしているところ、しかるべき
2:34:12	タイミングで、とは言っても、そんなに長くありですけど、また出してもらえればと思います。で、
2:34:21	在庫ゼロウワー。
2:34:24	そんなに時間かかりそうですかね。一、二日後は言えませんが、それにいつぐらいのタイミングでつくれるような内容じゃないかなと思ってますけど。
2:34:51	日本原燃中村です。在庫04につきましては、月曜日でどうでしょうか、いかがでしょうか。
2:35:02	はい。規制庁亀井です。いかがでしょうかというか月曜日ぐらいにできるのであれば、それで出していただければと。
2:35:09	はい。
2:35:14	はい。規制庁神戸です。私からは以上ですけど、事業者も大丈夫ですか。

2:35:21	はい。日本原燃仲村です。はい。大丈夫です。
2:35:26	はい、規制庁個別それではよろしく申し上げます。次、耐震で、
2:35:32	阿藤竜巻もあるんで、耐震の後に休憩を挟んでやればいいのかなど思っ てたんですけど、もう、
2:35:41	1時半に初めて4時杉井なので、
2:35:45	ここで一旦休憩入れますか、本庁側って清水さん今いるんですかね。
2:35:50	水です。います。
2:35:53	はい。板休憩入れちゃっていいですか。日本原燃の瀬川です。
2:36:00	こんな救急でヒアリングをやっていただいて非常に申し上げづらいところ ではあるんですが成長米です。わかりました。じゃあ、続けてやりま しょう。
2:36:10	ありがとうございますっていうことですよ。その通りですありがとうございます ございます。はい、わかりました。地震0001ですかね。
2:36:20	これもう、
2:36:22	特別、
2:36:24	何か説明した意見があるかって感じですか、事業者の方から、あれ何か よくお願いします。
2:36:31	はい。日本原燃の星野です。起振00-01JCOシリーズでのちょっと概 要説明をさせていただきます。まず前回のヒアリングで別紙4-6に飛

	<p>来物防護ネットの最大床応答加速度を載せておりましたが、そこにばらつきを考慮した値としておったんですけども、</p>
2:36:53	<p>社内で整理をしてここではばらつきを考慮して、ほぼ社内で利用して見玉坪内でしたので、て今回訂正させていただいております。</p>
2:37:04	<p>あと別紙の4-164-17、こちらは建物構築物と基金のですね耐震計算のに関する基本方針ということで、こちらにですね水平2方向等の競歩評価に対する対応方法への繋がり文章として記載の拡充をさせていただいております。</p>
2:37:21	<p>あと、別紙の4-17の方では前回のヒアリングでコメントいただいた拘束条件に関する記載の拡充をさせていただきました。</p>
2:37:29	<p>また別紙4-17の最後につけておりました設計プロセスの</p>
2:37:36	<p>条件の合致しているところの表ですけども、</p>
2:37:39	<p>こちらと取り合うものとして設計プロセ数を代表設備の選定の観点として建物の前、耐震建物の01と耐震基準07の方に、</p>
2:37:53	<p>その代表を設選定する過程のところの考え方を追加させていただいております。</p>
2:37:59	<p>あとですねちょっとお詫びと内容の説明になるんですが、196ページをお願いできますか。</p>
2:38:13	<p>はい。こちらは別紙4-25の部分なんですが、</p>

2:38:18	変更点のちょっと表記を出現してしまいまして変更した箇所をご説明したいと思います。
2:38:33	布田。
2:38:36	すいません。
2:38:39	109 週 6 か。
2:38:43	6、
2:38:45	すみません 195 ページです。失礼しました。
2:38:52	195 ページの、
2:38:57	下から 6 行目の部分ですね、この評価対象設備のうちこの 2 行の部分を、
2:39:04	追記させていただいております。
2:39:07	あと先ほどの 196 ページ。
2:39:14	こちらの上から二つ目のパラグラフのただし書きのところですね、ここについても記載を拡充させていただいております。
2:39:23	あとこの記載を拡充したところの間、関連する箇所として、276 ページ、お願いします。
2:39:39	今日、
2:39:44	中国、
2:39:58	別のところなんですけど、

2:40:01	あれ、C、
2:40:04	少々お待ちください。
2:40:27	あ、すみません。296 ページ。
2:40:32	3 で、やっぱり、
2:40:36	お送りし、
2:40:40	失礼しました 306 ページをお願いします。
2:40:47	こちらですけども水平 2 方向の表。
2:40:52	下のところで火災感知器の機能維持評価の結果における評価方法の設定に関する記載をですね注記の部分で、追記させていただいております。
2:41:03	説明は以上になります。
2:41:11	はい。規制庁紙でそれでは、ちょっと中身を確認していきますけどまず 81 ページのところ、
2:41:21	ばらつきは補助しないと言っているんですけど、何で控除しなくていいことになったんですか。
2:41:37	日本原燃ホシノですと、東京側は回答できますか。
2:41:52	すみません日本原燃原田でございますけれども、
2:41:55	こちらの方ですね竜巻ネットの最大応答加速度、

2:42:01	こちらの方が前回ばらつき考慮した形で表現してたんですけども、一方のれん客と本体の方ですね。
2:42:09	こちらはばらつき考慮しない、まず基本ケースで、その床応答を整理してたというところに不整合がありました。
2:42:19	で、今回整合を図る形で、こちら、
2:42:23	の評価もばらつきを考慮しない値と、まず一旦しますと、
2:42:28	これを用いてですね、今度火災感知機能、
2:42:31	評価、
2:42:32	これ4-4-34ですね。
2:42:36	296 ページ側に飛んでいきますけれども、
2:42:42	196 よろしいですかね。
2:42:46	ここの、
2:42:48	注記の、
2:42:49	※4 個目こをご覧いただいて、先ほどの床応答加速度、
2:42:56	これ冷却塔本体側も、飛来物防護ネットがもうちょっと言い切ってますいません。規制庁、筧です。川瀬。
2:43:04	すみません規制庁深見です。なんでバラ付け考慮しなくていいんですかって聞いたんで、回答は冷却等もやってないからです。以上ってことでいいですか。

2:43:15	日本原燃羽田です。この 296 の 1.2 倍のところ一応あれですね。
2:43:22	だから、月井、
2:43:25	が、その辺の変動幅というのは 1.2 倍の裕度の中に収まっているので、そこへ考慮したことにすると考えて整理したということでございます。以上です。
2:43:35	日本原燃石橋です。すいませんちょっと補足させていただきたいんですけど、まず、機器配管系としては、まず冷却塔を含めてですね×バラつきはまず基本系基本ケースというか、
2:43:47	耐震計算書の中でお示し、お示しをしているケースとしては、あとまずは含めないと、その中でただばらつき、地震動のばらつきとかっていうのは、
2:43:58	そこについてはまず見なきゃいけないという確認をしなければならないですねというところでもうちょっと補足説明資料の方で、冷却等もお示ししてますし、火災感知器の方についてもそちらの方に結果、
2:44:10	含めて、範囲計算の結果を含めて記載させていただいてますという形になってございます。以上です。
2:44:19	規制庁カミデです言いぶりはあれなんですけど

2:44:25	ばらつきを適切に控除するっていうのは方針として書かれていて、どう考慮するんだっていう話だけの話なんですね。で、基本ケースを使って、F R S あった拡幅することによってそこで、
2:44:40	吸収するんだとか、Z家使うんだったらそれを1. 二倍して使うので、その中にあるものとする、ああいう古藤が全般的な方針ですっていうことだと思ってるんですけど。
2:44:53	ちなみに今言われた補足で説明してますっていうのって具体的に、特に
2:45:01	F R S のやつなんか見た気がするんですけどZ P A のその1.2 で含まれることって何か説明しました。
2:45:18	所長持ってください。
2:45:50	はい。日本原燃石橋です。お待たせいたしました
2:45:53	確かにおっしゃる通り、1.2 の中についていうところを記載はないんですけども只野曾根様です。石橋さんの補足の中で、藤斎木の説明してたと思ってるんでそこを説明してもらえますか。
2:46:07	了解です日本原燃千葉施設補足説明資料の中では機器のZ P A 同士をまず比較してあげて戸松です。別紙の幾つで説明してるってことを言っ。
2:46:21	で説明して欲しいという意図でした。
2:46:23	申し訳ございません別紙の、
2:47:01	日本のイシバシ層大変お待たせして申し訳ございませんへと。

2:47:05	補足説明資料は、耐震記念 11 番の方でばらつきに関する内容をお示し してございまして、その中の別紙になりますけれども、その別所の中で 今回冷却と、
2:47:19	とあと感知器ですね、岡穂乃について、まず
2:47:24	まず、搭載処理機器については Z P A の比較をして頭皮加速度比率を出 してあげて、その加速度比率を従来発生値、計算書の方に、
2:47:35	お示ししている結果に対して
2:47:37	松木
2:47:39	家族の比率としてですね 1 を超えていれば乗じて、簡易的に計算してあ げるという方法で示してございます。以上です。
2:47:54	はい。規制庁深見です。
2:47:57	今見られてる田井耐震記念 11 でしたっけ。いつ出てきたやつですか ね。
2:48:09	日本原燃石橋です。すいません。最新版についてはですね昨日、11 月 29 日にですね、リビジョン 7 というところでお出しさせていただいてま す。以上です。
2:48:22	はい。規制庁加茂です。わかりました。じゃあ、そっちは見てみますけ ど。

2:48:28	でも結局あれですよ。ばらつきケースの加速度見えてて、基本ケースの家族とあるから、冷却塔、或いは防護ネットって、
2:48:41	有効力解析とかいろいろやってますけど、1.2倍の中に、ZPAを収まってるってことでいいですか。
2:48:56	荻野イシバシです。大変もちろん申し訳ございません。今ご指摘いただきました内容、※ご質問のご趣旨っていうところは、立間規模をネットで算出された加速度ってというのが、
2:49:11	1. 二倍したもので計算をしてますかっていうところというご趣旨でよろしかったでしょうか。
2:49:18	規制庁上出です。防護ネット自身をと解析やっけて、基本ケースへの応答加速度が出てき
2:49:27	て、
2:49:27	ばらつきで振った、応答家族で持ってきています。通って、今回、基本
2:49:36	ケースの加速度を設計に用いるってことなんですけど、ばらつきケースで、
2:49:44	謳おうと加速度は、基本設計に基本、基本ケースの、
2:49:50	応答加速度の1.2倍の範囲内に入ってますかということをお聞きしてま
	す。

2:50:02	家田でございます。今のご指摘ですけれども、基本ケースの移転、ガラス考慮した場合の震度については、基本ケースの 1.2 倍の中に越智。
2:50:13	放っております。以上ですし、
2:50:18	はい、規制庁パミスわかりました。細かくはちょっと資料見えています。
2:50:23	はい。
2:50:26	はい。あとは地震 0001 で、
2:50:33	今度は建物がわっかな。
2:50:37	113 ページのところで、
2:50:43	すいませんあと 81 ページなんですけど、中期、
2:50:49	が入ってて、
2:50:52	75 ページに冷却塔の最大応答加速度の表があるんですけどこれ注記一つも入ってないんですけど、なんで、
2:51:02	81 ページだけこんなに、
2:51:05	こんなにとってもあれです、注記入っちゃうんですかね。
2:51:13	玄鶴田でございます。えっとですねまず 1 点。
2:51:18	注記の番号が 1 個ずれている、おましてすいませんそれは、ちょっと誤記でございます。
2:51:24	表の中に、※アスタリスク 1* になっているのがそれぞれ*2、
2:51:30	いいですか

2:51:31	変わります。
2:51:33	*1についてはですね基準地震動S s、もしくは最大応答加速度のところに、本来は作るようになります。
2:51:41	で、
2:51:42	まず注記がついている理由としてはですねすみません、先日のご指摘を受けましてばらつきを考慮しない旨をちょっと明記しておいた方が良かなというところで、*1を書きました。
2:51:55	*2についてはですね当基金の評価類、
2:52:00	はですね
2:52:02	角田福間のそもその建物とかの決算がですね
2:52:09	1月に東については鉛直単独で評価をしてその結果を用いていると思いますけれども、江藤ネットに関しましては水平鉛直地震力を地震版を同時入力します。
2:52:23	形で、合わせた何ていうか、
2:52:26	交換。
2:52:27	の中にですねえと一関東の、
2:52:30	等も含まれたものになっております。なのでちょっとその間、一関東の、何て言うんですかね土地所が出てこない関係でちょっとここに、
2:52:40	目と記載をすべきかなというところで、注記をしております。

2:52:45	注記 3 に関しましては
2:52:48	*3 に関しましては、少し 75.60 というレベルの視点が二つあるのなん でっていう話になってしまうかなと思いましたので、
2:53:00	屋根の部分のことを締め、えっとやね。
2:53:04	の中央の部分をちょっとモデル化した。
2:53:07	持たなってますのでそこについての地域を示させていただいたと、い うことになっております。以上です。
2:53:15	はい。規制庁鍛冶です。とりあえず、注記の※1 下に書いてあるこの市 原付けの話はもう書かれなくなるってことですかね。
2:53:25	丹下鶴田でございます。はい。ご認識で、
2:53:29	問題ないかと思います。はい、規制庁カミデですわかりました。あと は、一関東のところフォローですね
2:53:39	私は、
2:53:41	一瀬東野加速度を含めちゃうことに何ら、
2:53:46	異論はなくて、
2:53:48	そっちの方が楽だし、リーズナブルなんじゃないと思うんですけど。
2:53:55	F R S なんかでも、頑なに日本原燃は、一関東は S S じゃないから別な んだ、別なんですってずっと説明をしてきていて、

2:54:06	冷却塔もそういうふうになってるんですけど、なんでここだけ一緒になるんですか、どういう考えですか。
2:54:18	日本原燃鶴田でございます。えっとですね、
2:54:22	ネットの応答解析の部分に関しましてはですね耐震建物 23 及びネットの経産省の部分でもちょっと気がさせていただいてたんですけども、
2:54:34	言いますか、本来、現在の方針としては分ける部分なんですけれども、推定の冒頭に、鉛直方向の応答も、
2:54:44	とは違うんですが、水平と鉛直両方の波の作業が入りまして、相互に影響し合っただけでネットの応答出てくるかなというところですのでネット、
2:54:58	に関しては、衛藤。
2:55:02	交流解析一方の複雑な
2:55:06	線形特性とか、考慮します関係で
2:55:10	同時入力した方がより
2:55:12	指摘というか、その方が良いだろうという観点で含めております。以上です。
2:55:24	あと、規制庁紙です。全然よくわからないんですけど。
2:55:29	同時に入力した方がいって言いましたよな、何、何を。
2:55:34	何を何に入力するってということですか。

2:55:37	日本原燃鶴田でございます。ネットの統計さんのモデルに対してですね、水平はと鉛直。
2:55:45	青 A と同時入力して解析をしております。
2:55:49	その部分をおりておりました。はい。以上です。
2:55:55	はい、規制庁歓迎す。そういうことか S S C 4 と組み合わせ S S C 4 で、
2:56:04	ネットの応答解析をするときの相手として、一関化しても入力していますと。
2:56:12	その結果、出てきた応答値の M A C C S 取りをここにプロットしているから、
2:56:21	別の関東も入ってることになっちゃうということですね。
2:56:28	例年ツルタです。はい。
2:56:30	すいません説明が悪くて申し訳ございません。そのご認識の通りでございます。
2:56:35	はい。規制庁菅ですそれならわかりました。はい。
2:56:40	あとちょっと先に進んで
2:56:43	113 ページでこれは別紙 4 の 16。
2:56:50	の、

2:56:52	あと 113 ページのところですねえと結局この間話をして、建物等堂々ってほとんどロセスおんなじところもあるし、一つにしないんですかみたいな話で、
2:57:05	どうするかみたいなのところだったんですけど、結局和気M a a Sっていうことなんですね、先ほども共通 08 でも話聞きましたけど、
2:57:15	日本原燃のオガセでございます累計という意味ではそのように考えてございます。ただやっぱりその後で今まさに見ていただいている職種、13 ページ以降にあるような耐震計算書とか大戸計算書の方の作成方針というところでは、
2:57:30	当然同じところもあるけれども違うところもあるというところがございますのでちゃんと違うところを明記した上で同じところは同じというところをきちんとわかるように今後対応していくというところを考えているところでございます。以上です。
2:57:45	はい、規制庁管理です。
2:57:47	何が違うから分けた方がいいのかっていう考えを、一応聞いておきたくて、次回ではなくてですね、今の段階で、
2:58:01	どういう点が違うからこれは分けた方がいいという考え方を聞きたいんですけど。

2:58:09	言葉ではこの間も説明していただいている、貴殿だと、耐震懸念 07 みたいな資料があるじゃないですか。そういうところに考え書き込めばいいんですけど、
2:58:23	今、建物が終わって受入れる補足説明みたいながないんで、どうしようかっていうことなんですけど、何か事業者でこうしたらいいんじゃないのみたいなあります。
2:58:35	はい。日本原燃のオガセでございます一応その考え方のおっしゃる通り耐震基準 07 みたいなところでは今ちょっとご用意していないというところでございますけれども、一応気持ちとしては 94 ページのところで見えるようにしているところございました。
2:58:50	94 ページです。
2:58:52	桐山だよね。
2:58:55	はい。1 ポツ概要というところがございます。これは耐震計算の基本方針のところのものでございます。で、どこだ。2 段落目建物構築物の耐震計算方法という、この A 棟で分類されるという、計算方法はということでまして、
2:59:11	これ具体的に何が違うかというところがまさにこの 2 段落目にあります地震応答解析の基本方針で書いているところの評価方法例えばモデル化

	<p>の考え方とかあと入力の方考え方そういったところが所で分かれていますと ころでございますので、</p>
2:59:23	<p>まさにその評価方法の違いというところに結びつくところと考えてご ざいます。そういうところにつきましては例えば 96 ページなんかをち よっとご覧いただければと思うんですけども、</p>
2:59:35	<p>96 ページの例えばこの 3 ポツ 1 ポツというところで、建物構築物の地震 応答解析モデルというところございます。これは先ほど、基本方針を言 わせていただきました地震応答解析の基本方針のところでも述べられてい るものでございますけれども、</p>
2:59:50	<p>ここ庄野 3 ポツ 1 ポツ 2 の最後の所の 2 行ですね。ここで建物構築物の 方法の詳細について次回以降の施設における差分っていうのを今後示し ますよというところこれがまさしく、屋外重要土木構造物での差分が出 てくるところというところになりますので、プロセスとしてはドイツな んですけどもやり方のところで大きく違うところがあるというところ は、</p>
3:00:10	<p>こういった各章のところでも違うところが出てくるところというのは何て いうんでしょう、予告というかそういうことをさせていただいていると いうそういうような構成で今作っているところです。以上です。</p>
3:00:21	<p>規制庁深見です。</p>

3:00:24	なので、
3:00:26	今、
3:00:28	私が言ったのは次回で、そういうことだったのね。ではなくて、今の段階、もうすでに書類の構成としてはもう分けてるわけですから、この段階で、どういう考えに基づいてこれわけですと、それが妥当なのかと考えていることを、
3:00:47	説明した書類として
3:00:52	示せないかと言うことを、
3:00:54	を聞いたんですけど。
3:00:56	今の回答だと、何でとか楽しみですとですとしか言われてないように私は受けとめてますけどいかがですか。
3:01:08	日本原燃のオガセでございます。詳細にどういった方法として具体論として違うかというところにつきましてはおっしゃる通りちょっと今現状ないところで、
3:01:16	ございました。ただやっぱり今のやりとり踏まえさせていただきますと、この96ページのところで2回、次回以降でっていうふうに書いてあるところなんです、少なくとも概要的なところ、どういったものが違うものとしては分かれるかというところは、少なくともこの3ポツ1

	ポツの最後の2行とか他のところにもありますがそういったところによつと
3:01:34	もう少し記載をですね具体化した上でこちらの方の資料に反映したいというふうに考えてございます以上です。
3:01:42	あと、規制庁カミデです申請書の添付2 どう書くかとかあとは、今言われてましたけど建物等どうどうどう違うかを説明せよと。
3:01:55	言ってるように受けとめて、いろいろな気がするんですけど私はそんなこと全然気にしてなくてですね、類型化を踏まえた書類構成を進めていきますっていうのを会合でもいろんなところでも、
3:02:07	お話を聞いていて、ずっとやってきているところを、今現状建物と道道っていうのは分けますと、そういう書類構成の考え方について、こういう考え方だから妥当なんですと。
3:02:21	いう事業者の考えを示して欲しいと言っているわけで、
3:02:26	建物堂々の違い差分を、具体の差分を示して欲しいと言ってるわけでは何でもないんですけど伝わらないですかね。
3:02:47	日本原燃のオガセでございますすみません意図はわかっているつもりでした。はい。その上で基本方針のところに分けて書いているというところが、すみませんそのままに抛り所になるものだというふうに思ったところでちやいこのように、

3:03:00	丸い形ができるというようなところで判断していたところでございますた。
3:03:05	で、さらにその構造的な手法的な具体的なところにつきましてははい。計算方法のところなりこの資料のところで、現れてくるものというようなところ、ような位置付けで考えていたところでございます。
3:03:23	規制庁カミデです。
3:03:28	なので、
3:03:31	何だろう。
3:03:32	どの書類にもそんなもの書けませんよという、事業者としての考えを書かずに、基本方針からにじみ出てくるものを、
3:03:41	受けとめてくださいみたいな、そんな感じですか。
3:03:49	予言名称でございます。
3:03:52	申請用から入って、大江さん。
3:03:58	作らないっていう理由もあんまりない気がするんですけど、時間のことを気にしてますか。
3:04:08	日本原燃のオガセでございます大変恐縮ですはい。そこもはい。はい。あります。はい。類型の整理自体をそれが直接、

3:04:19	補正インパクトがあるかという、整理をちゃんとするということは大事ですけど、時間差をつけることは十分あり得るかなと思うんですけど、逆に言うと第2回に向けての整理も含めて、
3:04:32	やると、いうことかなと思っているんですけど。
3:04:36	そういう意味では、それだけを気にして、作りませんという説明も何か成立せんという気がします。
3:04:51	日本原燃のオガセでございますすみません作らないみたいに言っているところすいませんそうとらえられてしまって申し訳ございません。石原さん、言っていました通りなんですけれども、こちらにつきましては道路の評価条件とかいうところを当然工事課井手ブレークするつもりでおったんですけども、それがその考えが妥当かというところにつきましては、
3:05:09	第2第2回に向けての整理というところもございますけれども、その累計でいいんだという整理につきましては資料として、お出しをさせていただいてご説明の方させていただくというところで考えたいと考えております。以上です。
3:05:25	藤規制庁上出です。
3:05:29	何か本当は前向きな話をしたくて、今資料作ると言いましたけどそれだけのために、へえ。

3:05:39	何か補足をつける、また新たなものを作るのか、ある耐震建物関係のど っかで受けとめられるのかみたいな話が、
3:05:49	できればなあと思ってたんですけど。
3:05:52	もしくは貴殿の 07 に入れるとかっていろいろありますけど、
3:05:57	あれですかねアイデアありますかって聞いてもう作るつもりなかつ た、さっきまで作るつもりなかったと思うんで、アイデア出てこない と思うんですけど、何か話せることありますか。
3:06:08	はい。日本原燃のオガセでございます。今のお話につきましてはすみま せんもともとそういう説明資料というところの、構想というところはど っかでというところを挙げていたところでございますがちょっと案がい まだ固まりきっていないところでございますが、
3:06:21	例えば耐震建物 01 とかのところでございますとその丸い形自体の日、 補足説明すべき事項みたいなところの整理も至っているところござい ます。そういったところの上流というかその 01 のところでその補足説 明すべき事項を選定する上で、
3:06:36	どういう類型化しちゃうかというような市の説明ができるかと思いま すので、例えば耐震建物 01 を受け皿にしてやるとか、ただ、そういう場 合は既存の場合は 07 を別途起こしているというところがございますの できちんとその住み分けがわかるようにするとかすれば、

3:06:49	建物構築物の類型化の考え方をそちらに入れ込んでいくということは可能だというふうに、そういうふうなところはちょっとはい発端はねていたところでございます。以上です。
3:07:00	はい。規制庁深見です書類の構成はあれですけど 01 に入れるよりは、新規で起こすか 07 と統合させちゃうかっていうところだと思いますから
3:07:11	いずれにしてもちょっと考えていただいて、何で機電だけ 07 があるのかっていうところの懸念として本当に考えが統一できてるのかもよくわからないですし、
3:07:22	そのあたり、もう整理した上でですね、いずれにしても、こういう類型を踏まえた上でこういう書類構成でいくんだと。
3:07:33	それで、それはこういう考え方で、妥当だと思っているというところは意思表示をしっかりともらえればと思いますんで、よろしく願います
3:07:43	はい。日本原燃の大瀬でございますかしこまりました。今のお話踏まえて、建物と道路関係のところの棲み分けのところ具体的にどういったところかというところは、
3:07:53	きちんと説明されるようにそれが適切な資料で説明されてさらに綺麗側でやっている 07 のところとのよ。

3:08:00	横並び、そういうところをとれるように説明の方をつけさせていただきたいと思います。資料の資料の作成と、ご説明につきましては尽くさせていただきます。以上です。
3:08:11	はい。規制庁深見です。よろしくお願いします。
3:08:14	あとちょっと先に進んで、124 ページ。
3:08:20	あとは 127 ページ。
3:08:24	この間も少し話をしましたけど、基礎スラブとか、あとせりとか、そのあといきなり制限になって、貯蔵区域になって並んでますかっていう話に対して、
3:08:39	あれですね 117 ページを見ると、一応な並んでることにはなっていて、断面の評価としてやるものを基礎スラブだったりセル等っていうのがあるので、これで、
3:08:52	変えていきますっていうことで、このパートが 4 ぽつなんだっていうのはわかりましたが、
3:09:01	一方で
3:09:03	3 ポツでせん断ひずみ度の評価、耐震駅って書いてますけどこれって、3 ポツのどの辺に書いてありますか。
3:09:13	日本原燃のオガセでございます少々お待ちください。地震冒頭の方針なので方。

3:09:19	119 ページでございますか。
3:09:23	ごめんなさい今押しカミデさんおっしゃったの 3 ページでのフローの中での耐震駅のもがどこで拾われているかというふうな認識でちょっと今該当します。119 ページの地震応答解析による評価方法のところでございます。
3:09:34	こちらにつきましても次回今回第 1 回が冷却塔のところの何だ、基礎スラブに対して一つすいません基礎地盤のところですね、の評価のところがございますのでそれだけをこの表で示させていただいているところですが、
3:09:48	今回青字で記載させていただいております通り工事課に対し平均ひずみこちらで出てきますので、そちらの方で拾わせてもらうという展開させていただくというところで記載をしているところでございます。以上です。
3:10:03	はい。規制庁管です。
3:10:06	わかりましたけど 4 発と並びで言うと多分、あれですね基礎スラブで一つ項目を立ててることを考えると、せん断ひずみで、3 ポツ幾つ設置圧で 3 つ行くと多分そんな感じに。
3:10:21	にしておくのが骨格としては正しいかと思えますけど、いかがですか。

3:10:25	日本原燃のオガセでございますおっしゃる通りだと思いました。今なのでここ散歩IIは地震応答解析での方法ですが3ポツ1で今ここで書いてる基礎地盤さんと柘植。
3:10:36	何か例えば耐震ヘキサポスタンでこういう、保有耐力というような形で、最後のこの127ページと同じように受け皿を作るというところに対応させていただきます。以上です。
3:10:49	はい、成長紙です。わかりましたよろしく申し上げます。あとは機器側ですね4-17ですけど、これもあんまりなくて、細かいところになりますけど、141ページの表で、
3:11:06	このフォーマットも、
3:11:10	まだ変わる。次回の中でまた整理されるのかなというところはあるんですが、とりあえず目についたところとして、減衰定数のところで、横軸で、
3:11:22	7個ぐらい枠使ってますけど、
3:11:28	何だろう、減衰定数一つ一つ違うのはいいんですけど、これって、
3:11:33	要は規格にあるものをそのまま使うもの。
3:11:38	使わないものって要はレギュラーとイレギュラー、二つだけあればいいんじゃないかっていう気がしますけど何か考えありますか。

3:11:47	日本原燃星野です。おっしゃっていただいた通りここうですね規格通りのものと規格通りでないものっていうふうに
3:11:56	一旦書いたものも作ったんですけども、
3:12:00	規格通りのもので記載が分かれていたのでここは具体的に書こうというのが今の形になっておりました。江上さんがおっしゃっていただいた通り、規格通りのものはまとめて記載しても何ら問題はありませんので、
3:12:14	その方が記載としてはいいのかなと思直したところです。
3:12:19	以上です。
3:12:22	はい。規制庁亀井ですが説明しなきゃいけないところってそのイレギュラーものだと思いますし、各通りのものはもう方針通りです。ですから、
3:12:33	舞台の辺りなんて、そんなに地区単位当たりの違いは、そんなに気にしなくてもいいと思ってますが、そういう観点で今、類似のものがあるかという、ほかには、今のところはなさそうですかね。
3:12:50	日本原燃星野です。永久円錐定数と類似するものでいくと、許容限界のところ、
3:12:59	になりますね。容器ポンプ支持構造物といったところ、
3:13:04	については減衰定数と、
3:13:09	内容としてはあまり変わらないと思います。以上です。

3:13:15	はい、規制庁神栖そうですね、許容限界で、
3:13:20	平者が、
3:13:23	あるかという構造強度で言うともう0つしかないのかな。
3:13:30	二次揚力。
3:13:31	タナカなさそうなのでこれもまとめられるならもうまとめてしまっても 思います機能維持とか詳細評価っていうのは、これはこれで残しておか なきゃいけないと思うんですけど、
3:13:43	3.5. 1のところですか、はマージしちゃってもと思います。はい。
3:13:49	日本原燃星野です。はい。ご指摘の点、3ポツ5ポツ1のところでは ね、ここについては共通事項になりますので、注記の2番のところの記 載の中に盛り込んで、示さない方向にしたいと思います。以上です。
3:14:10	はい。支店長亀田です。わかりました。
3:14:14	し示さないっていう、言われましたけど、どういうことですか。
3:14:20	日本原燃星野です。投手表、表の中で丸付けをしてもですね、必ず容器 ポンプ支持構造物のどれかに丸が入る。ですので、
3:14:30	表の中表として示す必要があまりないかということで、※2のところ で、寸法とか断面特性とかは必ずマルが入るものなので、
3:14:42	これと同列にして表中に示さないことにしたいというのが今の説明に なります。

3:14:53	はい、規制庁カミデですわ。赤木ました。
3:14:59	はい。ちなみにあれですねそれでいうと、
3:15:02	メイン※に注記の2番も寸法断面特性っての多分こう番号がどっかにあるはずなので、それも含めて、
3:15:14	書いといてもらえると、
3:15:17	上流に書いてある設計プロセスの対応関係がわかりやすくなると思うので、ちょっとその辺りも、ブラッシュアップいただければと思います。
3:15:27	日本原燃星野です。はい。ご指摘の通り項番号追加させていただきます。以上です。
3:15:38	はい。規制庁神戸です。
3:15:40	あと、次ちょっと計算書の方に行きますが、306ページのところで、冒頭にも何か説明があったんですけど、
3:15:52	こないだし、話をしたことに対してどういう、
3:15:57	可否等、
3:15:59	をしたのか何か、
3:16:01	こちらの話をどう受けとめてどういう対応したから大丈夫だと思ってるのかっていうのも1回説明してもらっていいですか。306ページですけど。
3:16:13	同じ。

3:16:15	はい。日本原燃の原田です。ここあれですね別紙 4-35 の
3:16:20	火災感知器の 2 方向のところですけども、前回水平鉛直、
3:16:28	今示していて示していなかったりとバラバラでしたので、まずですね
3:16:34	302 ページの冒頭のところでですね、まず水平 2 方向っていうのは、きちんと鉛直を含めたものですよという定義づけを行いました。
3:16:45	その上でですね、それでもう水平だけの結果を示している部分がある。まさに先ほどの 306 ページなんかは、水平だけん、それでも示してますけれども、層位
3:16:57	たところには、何でそうしたかっていうのを理由をですね、注書きにか書いと。そういうような修正をいたしました。以上です。
3:17:09	藤規制庁カミデです。
3:17:13	よくわからなくて清閉た鉛直組み合わせてますねと、ということぐらいまではまあいいんですけど、
3:17:23	じゃあ何で、
3:17:25	水平に対してだけ評価結果が載っているのかっていうのが、
3:17:31	いまいちよくわからないんですけど、どういうことですか。
3:17:48	ちょっとお待ちください。

3:17:51	日本原燃のコウタケですけれども、井上理事評価の部分になるんですけども、こちら機能確認済み加速度がもともと水平と鉛直っていうものが、
3:18:02	分かれて示されていて、それぞれ各々比較をする評価になっております。そこで、水平2方向の影響というところで、水平の応答加速度というものが、
3:18:14	単体で算出されているものですので、2方向影響を水平の従来の応答加速度の水平のものに、
3:18:22	ルート2を乗じることで、水平のみ比較をしているというものになります。以上です。
3:18:32	規制庁神です。
3:18:35	なーん。
3:18:37	こちらがわかってないことがなかなかわかってもらえないようなので困ってるんですけど、
3:18:46	機能維持に加速度は水平と鉛直それぞれありますよねと。だから、水平方向2の揺れに対してはこれぐらいまで大丈夫だけど、鉛直でこれぐらい入れちゃうと困っちゃうと。
3:18:59	というようなところが、水平より鉛直の方が、
3:19:04	許容値は小さいと。

3:19:06	いう状況で、そこの結果も載せちゃったらいんじゃないかというシンプルな質問に対してはどうなりますか。
3:19:20	日本原燃イシバシせず、
3:19:22	今ご指摘いただきました鉛直の電気機能維持のですね鉛直の評価につきましてはまずは
3:19:30	これ 299 ページになりますけれども、
3:19:38	今この中で、鉛直水平含めてまずは機能済み加速度と
3:19:45	比較をした結果をお示しこの表の中でさせていただいておりますと、その上で今
3:19:53	コウタケの方お話をさせていただきましたけれども、まず今回
3:19:59	ここに載せこの 306 ページの方に載せているのはあくまでもチャンピオンと。
3:20:04	一番は最許容力と言っていいのか市の済み加速度とですね者比率を見て、一番厳しい結果っていうところをまずここに載せてますというところになってございますので、
3:20:17	そこの今の記載の方法っていうところにつきましては冷却等も含めて、水平 2 方向一瀬東とかですねそういったものもまず代表で、一番応力が最大のところを結果としてお示ししているという形ですので、
3:20:33	そこはそういうふうに記載するっていうところで、

3:20:36	すいません、ありがとうございました。
3:20:38	規制庁コサクですけど、何か原燃の説明毎回自分はこうやってますこうやってますばかりで、
3:20:44	こちらの質問に答えてないので、何とかありませんか。
3:20:48	今のチャンピオンを載せてますっていうこと自体を否定してるんですけど、こちらは、
3:21:06	何では我々は書類で原燃を信じなきゃいけないんですか。
3:21:17	信じてもらえるように情報を出すっていう姿勢に何でならないんですか。
3:21:26	はい日本語で一番瀬下山野ご指摘私が履き違えていたので、大変申し訳ございませんでした今ご指摘いただきました通りですね
3:21:36	ご指摘理解しましたのでまずはこの評価結果というところにはすべて記載するように、対応させていただきます。以上です。
3:21:47	規制庁深見ですチャンピオンならチャンピオン
3:21:52	にするということとあとその考え方、妥当性みたいのがわかるように、ちゃんと書いてもらわなくちゃいけなくてそこを全く飛ばしてただ、
3:22:02	ぽんと書いているだけなんで、そういうことがもう、後載せてしまえばと。
3:22:08	いう感じがします。その上で、

3:22:13	この 306 ページの※書きの意味がまたよくわからないんですけど、これは、
3:22:21	先ほど言っていた鉛直ってどうなんですかっていう話と、何ら
3:22:28	関係ないような感じがするんですけどこっちは切って、何のために出てるんです。
3:22:46	日本原燃のコウタケですけども、もともとのこの従来応答加速度っていうもののに、水平と鉛直で分かれておりまして、
3:22:57	その水平 2 方向の影響になりますので、その水平の加速度に、
3:23:03	ルート 2 倍を乗じるっていうものを、注記しているというものになります。
3:23:09	以上です。
3:23:11	どうも、規制庁さんの設計方針には水平 2 方向及び鉛直をもって、
3:23:18	原燃の方針に書いてあるんですけど、ちょっとそこからの、
3:23:23	繋がり含めてもうちょっと説明してもらえますか。
3:23:29	はい。日本原燃のコウタケですけども、別表人にも書いている水平 2 方向及び鉛直方向というのは、
3:23:38	基本的にその 3 方向に対して影響を考えるっていうものになっていて、この構造強度の評価においては、水平と鉛直、どちらも、

3:23:48	考慮して、算出されるものになるんですけども、この機能確認済み加速度においてはですね評価を、各々水平成分と鉛直成分の
3:23:59	それぞれの応答加速度っていうのを抜き出して、機能確認済み加速度と比較しているものになりますので、その水平側の評価に、
3:24:08	評価に、
3:24:09	おける水平の2本項の影響を、影響評価を実施しているということで分けて記載ができるというものになります。以上です。
3:24:21	静聴カミデです。今の説明だと、何か普通の応力評価。
3:24:28	わあ、
3:24:31	3方向組み合わせみたいこんなこと、考慮しないでそれぞれの方向でやってるんですけど、それが水平2方向鉛直方向の意味だって言われたように私は受けとめたんですけど。
3:24:42	他の方も聞かれていますと思いますが、そういう認識なんですか原料は。
3:24:52	ちょっと
3:24:54	樋口の方ですね。
3:24:58	本当ね。
3:25:11	すいません少々お待ちください。
3:25:26	2番目のヨシダです。

3:25:28	耐震計算書類はですね水平方向及び鉛直方向の組み合わせというところで、水平面内方向と鉛直方向の、厳しい構造の組み合わせっていうものを、
3:25:38	実施しております。
3:25:40	そちらでですね水平 2 方向の組み合わせというところに関しては従来評価に対しての影響ということで検討してますのでこちらで、
3:25:49	まず 196 ページの
3:25:52	方針というところで、
3:25:55	制限方向、
3:25:59	ただ、196 ページの方針の部分ですね。
3:26:05	はい。
3:26:06	衛藤。
3:26:08	この水平方向に対しては水平 2 方向と鉛直方向をそれぞれ組み合わせて行うというところを、書かせてもらっているものとなっております。以上です。
3:26:22	規制庁カミデです。今のもう、自分たちはこうやってますっていう話だけで私の頭には全然答えてもらってないんです。
3:26:33	どうでしょうかね。
3:26:35	ええ。

3:26:38	はい。日本原燃のコウタケですけれども、ちょっとは、お話した内容というものが、多分書類上に綺麗に書けてないと思いますので、
3:26:49	その内容ですねすみません、古作です。綺麗に書けてないとかじゃなくて、はい、節説明しますみましょうよ。
3:26:58	記載とかじゃなく、
3:26:59	何で別々に組み合わせるって言うのに別々で評価していいんだって いう話にしかないんです。
3:27:09	入口の説明がちゃんとできてないところじゃないですか。
3:27:13	日本が別々でいいんだったら、さっきの水平2方向プラス鉛直いら ないじゃないですか。
3:27:23	日本は、
3:27:24	日本原燃のコウタケですけれども、
3:27:27	もともとその従来の
3:27:30	一方向評価の時に、もともと
3:27:34	鉛直方向というものは組み合わせを実施しておりまして、その家族度 に2方向の影響分を考慮しているっていうものになりますので、
3:27:45	一般方向を考慮してきていると思ってますけれども、
3:27:49	あ、すみませんコサクです。
3:27:51	そう言うてるのさっきの書いてるの全然違って、

3:27:55	鉛直と水平は別で評価しているので、水平の2方向だけ見ればいいんだという説明になってませんでした。
3:28:14	はい。そ
3:28:16	おっしゃられる通りですね。従来、従来の応答加速度において、すでにその鉛直っていうものを見込んでおいて、それに対して、水平の
3:28:28	影響分を見込むってものが、ちょっと記載できていないと思いますので、そういうそういった部分で修正を行いたいと思います。
3:28:43	規制庁上出です。従来、従来の加速度にすでに鉛直が入っているっていうのは、
3:28:52	例えば299ページで、水平展張この加速度出てますけど、
3:29:01	この表のどこに、
3:29:03	水平と鉛直組み合わせあったものがあるんですか。
3:29:28	少々お待ちください。
3:29:32	衛藤規制庁岡見です
3:29:35	何で答えられればいいのかって担当者が答えられないにしてもこれ、前回のヒアリングでも、こういう話をしていて、そのヒアリングの対応として、資料、こうすると。
3:29:49	いうことを確認した人もヒアリングに出ているはずで、

3:29:54	なのに、なぜ担当の方が答えられないときに助ける人もおらず、ただただ時間が流れるっていう状況が全く理解できないんですけど、どうなの。
3:30:09	は、日本原燃保科です。
3:30:13	まず、200、
3:30:17	70、今、
3:30:21	今写ってるページのですね、水平と鉛直の機能確認済み加速度ですけども、
3:30:27	この水平と鉛直の加速度自体は、同時に試験値として出してきたものではなくて、水平と鉛直それぞれで試験値として求められているもので、
3:30:40	ここで機能維持評価でやるときは水平と鉛直はそれぞれの加速度に対しての比較評価を実施することになります。
3:30:50	で、一方の水平2方向の時に限っては、今、
3:30:55	今のページでいくと火災感知器の直立型丸一の炎感知器の水平のところの数値ですけども、この値が、
3:31:05	200、
3:31:08	85 ページか。
3:31:16	あ、すみません 306 ページですね。

3:31:19	306 ページの、
3:31:22	うん。
3:31:23	本論感知器の中台応答加速度のところに、
3:31:28	この値が入りまして、
3:31:31	この値を注記のところのルート 2 倍か、
3:31:38	S R S S 法のを組み合わせて合わせた値で水平方向だけを、機能くん確認済み加速度とを比較して評価をしているというのが、この評価になります。
3:31:52	ちょっと日本例のセガワですけどちょっと全然ちょっとかみ合っていないので、まず 1 回質問されたことに対して、正確に答えていきましょう 299 ページの、
3:32:03	水平方向の評価の加速度でいろいろ数字出てますけど、これって、
3:32:10	水平方向の一方向だけの応答加速度を書いてるんですか、それとも鉛直成分も何か。
3:32:18	なんていうのを補正して書いてる、そういうものなんですか。さっきの説明だと、後藤の加速度には鉛直方向も考慮して、
3:32:27	応答加速度出してますみたいな説明を、うちからしちゃっていたんですけど、そことその関係でいうとどうなのでしょう。

3:32:33	日本原燃ご指導です。すいません説明が悪くて申し訳ありません。こちらの水平と鉛直についてはそれぞれ数字出してますので、水平の方に鉛直が考慮されているというものではないです。
3:32:47	以上です。
3:32:50	そうするとですね、1方向の水平化鉛直の1方向の加速度が書かれてると。それを踏まえて、300、
3:33:02	すいません。瀬川さんすいません、宮澤です。星野さん、あと更新から入った方がいいと思ってまして。
3:33:09	やったことを言ってるってのは理解してます。方針で書かれてるのが書いてるのが別紙4-25っていうところで下のページでいくと、196。
3:33:26	水平方向の3方向っていうところにつきましては強度評価、そこにつきましてはまさに上出さんのご指摘の通りこれまでも我々説明した通り、鉛直プラス水平2方向入れて3方向で見ますっていうところを言ってみました。
3:33:39	今んと内野星野が言った話っていうのがこの方針のところの真ん中ちょっとちょっと上ですね、ただし書きのところに書いてまして、ただし書きているところで、動的機能維持そのものっていうのが、殊、従来評価という形は良くないんですけど、機能維持評価、

3:33:55	ていうのが、水平は水平、鉛直は鉛直、それぞれで見えますよということに対して、今回水平 2 方向を見るのであれば、その水辺、それぞれのものに対して、水平の 2 方向の発生値を、
3:34:07	まず出していきますと、そうなった場合に、後の構成上で、先ほど 200、すいません 99 でしたっけ。
3:34:16	そこ、そこも、
3:34:18	皆さん言ってですね。
3:34:21	一応の評価っていうところがまずありまして、A1 方向評価っていうところで、まずは水平鉛直、それぞれの機能確認済み加速度に対して水平であれば [REDACTED] 時、
3:34:34	鉛直。すいません。これ後で松木技師補言っちゃいまして申し訳ないですあとで、私はちゃんとここは、申し訳ないです。そこに対して鉛直の加速度がありますということで、この値をもとに、水平 2 方向というところの、先ほどの資料ですね。
3:34:54	すいません。五分でページあたりな。
3:34:58	はい、306 ページというところで、ここは先ほどから議論してます通りいきなりその数字を起点に話しているので、こういうことやってますよということをしっかり書いた上で、鉛直っていうのはじゃあどこ行ったんだというところで、鉛直は道路、双方を見た上で、

3:35:14	ここに載せているのは、先ほどの話になると、なのでこのページにそれまでの流れをちゃんとわかるように紐づけていくってということが、一連の流れかなということで考えてございます。以上です。
3:35:28	すいません、日本原燃の瀬川ですけど、だとすると、私の素人的な印象で言うとは300ページのタイトルとかで、水平2方向の影響評価って言うてくれば何かこの書類はそうなんだっていう。
3:35:44	鉛直方向及び鉛直方向って言うてるのに、鉛直方向が全然組み合わせさってねえじゃねえかっていうふうに思ったんですけどそこはどうなんでしょう。
3:35:51	大げさです。瀬川さんがおっしゃる通りだと思います。タイトル直しに行っているところで、営業票更新というところと結果っていうところは直しなさいってということで、本当議論してました。でも、皆さんに、今のところで、
3:36:04	藤堂関のところかそういう話になるのであれば、ちょっとそ、そこは少し考えて記載しないと、今のような誤解の一位になるなんてことで今理解しましたので、そこは、
3:36:15	はい。考えます。以上です。
3:36:25	規制庁神です。
3:36:27	終わったみたいですね。

3:36:30	今の話の続きでいうと、305 ページで水平 2 方向って書いてますけど、 これって、
3:36:38	鉛直組み合わせてないんですか。
3:36:41	はい。
3:36:42	はい。日本原電イシバシです。こちらの 305 ページに記載する結果については鉛直方向についてははい。考慮してございます。以上です。
3:36:52	はい、じゃあタイトルそのまんまでいいよさそうですね。
3:37:05	規制庁深見です。
3:37:06	とにかく何かをちゃんとしてくださいってなかなか言えないんですけど。
3:37:11	いずれにしても、まず、家族では鉛直なんじゃないのっていうのは、 何、何てないのって何で一緒に組み合わせてないのって話はわかった し、
3:37:22	方針にそういうのを書いてある唐木の 10 家族像みたいなものは、動的 機能維持みたいなものはもうこうやってやるんですっていうのは、方針 に書いてあるから、
3:37:34	何か別に説明もいるのかっていうことを、
3:37:37	なんですけど、306 には注記を書きたいということ。

3:37:42	あとで書きたいんだったら、方針を呼び込むなり、もうちょっと書類の頭の方針のところにも書くなりですね。
3:37:51	したらいいんじゃないかと、
3:37:54	特別注記でアルコール説明する必要もなく、ちゃんと前の方にしっかり書いておけばって感じがしますんで、書類としては、後味ですね一応鉛直の
3:38:06	結果も出しておくという話だったと思いますからその前段ではチャンピオンだけではなくて 299 ページみたいのは、一通り出してルー
3:38:16	ようですし、何か考え方編に、
3:38:20	変えなくてもいいんじゃないって気はしますから、鉛直の結果を載せると、あと注記は整理しましょうと。
3:38:28	タイトルは変えなくていいですね。
3:38:31	大体そんな感じ。
3:38:33	書きはしますけど、お願いしたいのはまず正確な説明をして、事実関係を正確に説明してくださいってということと、当発言されてる方がこれ違うなっていうときはちゃんと訂正をしてください後の人が、
3:38:48	そ、その場で訂正してもらうのが一番いいんですけど、
3:38:52	何か、先ほども星野さん、前の人説明が違ってましたって言葉もなくこうやってるんですってという説明をされちゃうともうスコッチとし

	て受け取る側としてはもうすごい混乱しちゃうんですね、前の日と言っ てたおかしいなっていう、
3:39:10	もやもやを抱えたまんままた新しいことを聞かなきゃいけないので、ど んどん話が、頭ん中で今回わかってきますから、まずはその、
3:39:20	何だろう、やってることをまずちゃんと把握をしていくっていうのが
3:39:24	一つ、それに対して正確に状況を説明してくださいっていうのが、二 つ、あと間違ったときはちゃんとその旨
3:39:34	伝えてくださいというのが三つですけどまずコミュニケーションとし て、気をつけてもらいたいなと思いますけど大丈夫ですか。
3:39:44	日本原燃星野です。私の説明の時にきちんと訂正する旨を伝えずに、説 明して、混乱を招いてしまって申し訳ありませんでした。
3:39:56	今後説明する際にはその点に留意して、説明するようにいたします。以 上です。
3:40:04	すいません、日本エネサーです。ちょっとそこの補足と、あと資料の修 正というところっていうところで1点だけ補足させてください。今のう ちのホシノの話ありました。自分ちょっとそこ、東京だからっていうこ とで、サボってるつもりはないですけど破ってやはり米に、
3:40:19	バージョンが少しちょっと落ちてるなっていうのも感じてますのもう 少し行ったり来たりするなど密にして、さっきみたく最初から自分が入

	<p>るように対応するようになりますっていうのが1点、2点目としましてこの302ページのところの今の、</p>
3:40:33	<p>申し訳ないです、今の資料の呼び込みっていうところなんですけど、今回影響評価っていうのを全体的に直しました。そうなった時に影響評価で1000万1000先週ぐらいとかから議論させていただいた3段表です。ね。</p>
3:40:45	<p>基本方針から計算書にこういうふうに落とし込んでいくっていう構成で作ってました。そうなった時に302ページの、この呼び込みっていうところがちょっと薄くなってますので、いた先ほどカミデさんが指摘赤水さんから指摘あった書類一連の流れっていうところのこの概要というところを充実化図って、</p>
3:41:03	<p>資料を修正していきたいと考えてございます。以上です。</p>
3:41:10	<p>はい。規制庁亀井です。</p>
3:41:12	<p>一応その末に国庫が実の話は私は以上ですか。他、規制庁は何かあります。はい。規制庁ハバサキです別紙4の35水平2方向の件でちょっと、</p>
3:41:25	<p>1回整理したいんですけども、冒頭原田さんから説明があった302ページですね。水平2方向及び鉛直方向の組み合わせ、以下推薦要綱というのと、</p>

3:41:37	まずこれが非常に曖昧なところで、きちんと水平 2 方向及び鉛直方向って、
3:41:45	統一したらどうですか他の資料、他の、例えば建物だとか構築物だとかの資料も含めて、元の資料ってこれ、水平 2 方向及び鉛直方向の組み合わせの話って水平 2 方向で省略してましたっけ。
3:42:01	はい。日本原燃、すみません、ちょっとそういう意味では省略してませんで、ここだけでちょっと特殊なことをやっていました。すみません。改めたいと思います。以上です。
3:42:12	はい。規制庁浜崎です。まずそういったところから誤解のないような資料作りというのを作ってもらいたいと、もう 1 点です。
3:42:19	他の方よろしければですねちょっと下棒関係で私の方から時間もないんで、てきぱきとですね、確認したいことが 3 点ほどあるんですけども、
3:42:30	まず資料のですね
3:42:35	ちょっと 296 ページです。
3:42:40	ちょっと最初の方からですけども
3:42:45	曲率値ちのですね

3:42:48	ご列席の話です。左の下に*の6番、表の形で、一次から三次の固有周期出てますけど一次と二次が同じ数字になってますけれども、この理由について原燃の方から説明してください。
3:43:03	はい。日本原燃石橋です。こちら固有周期一位と2が一緒になってるのはですねNSNSと飯田部の方向というところで、NSとEWそ、どちらも効いてきてるタイミング、秋タイミングっていうかですね効いてきてる周期体が一緒だったっていうところで、
3:43:19	この一次と二次で、固有周期が一緒になっているっていう。
3:43:24	ことになってございます。以上です。はい。規制庁ハバサキです理解しましたちょっと7番のところが方向性だったんで、その影響が出た、出るのかなと思ったんですけど、基本的にはその影響はないということで理解しました。
3:43:36	それから2番目がですね299ページ、これ先ほど荒井から話あって、電氣的機能維持のですね評価のところの、
3:43:47	評価用加速度の値ですけども、これは基本的には75ページに、3次元のモデルのおと結果から持ってきてるS sの結果を持ってきてるというふうに理解してます。
3:44:00	で、

3:44:03	直立型にとか、壁が壁型の場で、場合ですね要は基礎マットよりも上のところに設置してあるものですね、ちょっと具体的には、
3:44:15	230、290、3 ページかな、図面あるんですけども、多分これマスクングだっって言ったら言えないんですけども、
3:44:21	その
3:44:23	あと基礎マットより上にある会については、
3:44:26	水平よりも鉛直がかなり大きくなっているような傾向が見られるんですけどもその理由について説明してください。
3:44:33	はい。日本原燃石橋です。こちら鉛直の方が確かに数値、大きくなってますけれどもこちら
3:44:40	ここの取り取りついているところにつきましてはですね冷却塔の耐震計算書の方でもお示ししてますけれども、そこ、
3:44:51	いろいろな機器がといいますか搭載機器の方が取りついていてちょっと重量がちょっとその階層だけ大きくなってしまってるとういうことも踏まえて、
3:45:02	ちょっと鉛直成分が高くなっている、薄まっているというところになってございます。以上です。

3:45:07	はい。規制庁ハバサキです。そこで分析されているかと思うんですけど、具体的にこれ接点は接点といいますかこの加速度の値を持ってきてるところっていうのは、
3:45:17	柱と梁の交点ですかそれとも実際感知器等はあり配というか A l i k a ありの中間部に設置されてると思うんですけども、
3:45:27	その感知器なりがセットされている位置での加速度なんですか。
3:45:34	はい。日本原燃石橋です。まず、
3:45:37	順をまず一つずつお話させていただきますと
3:45:42	フロアに取りついているものがまず基ございますとそのフロアに取りついているものはどういう評価してしてるかといいますと、まず
3:45:51	各、今の冷却塔のモデルに対してそれっていうのは数、柱と柱の交点ですとかあとはプレスの工程Wじゃないですね、
3:46:01	フロアごとに膨大なケアの接点を設けていてその中で一番出てきた最大の800度をフロアの最大の加速試験出てくる加速度っていうところをまずZPAとしてますと。
3:46:14	そのフロアのに取りつくものについてはそのフロアの最大加速度をまず使ってますと、ただおっしゃる通り途中、途中といいますか間の中間階みたいなところにつくようなものについては、

3:46:29	基本方針とかでお示ししてる通りですね。すみませんちょっと基本方針が、今この中にはないんですけれども、基本方針の中で中間階っていうのは星星氏的にですね上の階のウェイト ϕ と下の階の加速度を見て、
3:46:44	Z P A 決めますよというふうに書いていてその上で今回上の階層の 5 Z P A の保守的でありましたのでそちらの方用いて評価を実施しているということになってございます以上です。
3:46:57	はい。規制庁岡崎です。今説明を聞いてようやくわかりましたけれども、
3:47:02	この図書を見てて或いは補足説明資料を見てて、今の説明は全くわからない状況です。補足数なりにはですね、そういった説明はやはり必要かなと思ってますので、検討をしてくださいで、
3:47:16	結果的にですね、この 299 ページの表を見ればわかるように、鉛直の加速度基礎上以外は大きくなっている方や、限界加速度の方が、
3:47:27	鉛直の方が小さいわけで、先ほど重野洋行と鉛直で鉛直の結果なんで出てないんですかっていうところに繋がりますのでですね、きちんとそこ、
3:47:38	こちらとしては確認すべきというふうに考えてますので、それが確認できるようなデータ提示の方もよろしくお願いします。
3:47:46	それと最後になります 306 ページになります。

3:47:52	ごめんなさい、360 ごめんなさい。
3:47:55	ですね、少々お待ちください。
3:48:04	掘家。
3:48:05	309 ページになりまして、
3:48:10	藤評価結果のところ、これ宣戦かいいも言ったんですけれども、
3:48:17	影響評価結果の、右側の列のところを、ところの設計用地震力食うと、 306 ページ、309 ページですと一関東の話なんですけども、
3:48:31	鉛直地震力って書いてあるセルがあるんですけども、そこに単位がバー に立ってるんですけども、これ最初なかったのかな、バーになってるん ですけどこれはやっぱり加速度。
3:48:43	になるんじゃないんですかこのバーの意味について説明してください。
3:49:00	規制庁浜崎です。日本現在聞こえましたでしょうか。
3:49:03	日本語は日本語のイシバシです。今のご質問は
3:49:09	ご理解をしております、等もそうですね確かに
3:49:17	I F R S であっても、
3:49:19	Z P A であっても加速度は、
3:49:23	家族の単位っていうのが変わらないかなというふうに考えておりました ので、こことですねご指摘の通り単位を入れるような対応をさせていただ きたいと思います。

3:49:32	また、規制庁ハバサキですさっきのちょっと番なってるんですけど、セルの中のバーなんていうんですけど 310、12 ページの、隣接影響に関しては、一応数字が入ってるわけですし、
3:49:44	で、設計用地震力、括弧ばってなってる。これバーじゃない。
3:49:50	もしかすると、*の一番下なに、例えば、許容応力と書いてあっても実は家族でであったりというような、
3:50:01	使い分けが必要だからということで、バーにしてるのかなとも思ってるんですけど、そういった説明もありませんので。いや加速度ならば加速度今加速度比率って書いてあるわけですから、
3:50:14	そしたら加速度の単位が入るのかなと思ってますので、ちょっとそこ精査といいますかですね、資料の方、拡充の方をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
3:50:24	はい。日本原燃石橋です今のご指摘、理解しましたので、米沢です。石橋さん、ここの今の浜崎さんの指摘に対してこの影響評価の1からの流れでいったときに、ここは、
3:50:36	不要か不要じゃないかを話してから、そういう話をして、
3:50:40	もらった方がいいと思いますけど。
3:50:42	これ一律で評価してないというのが今の流れですってことで、これ1からはすいません両括弧1から量確保の流れです。だから今こうしてる

	<p>んですっていう趣旨があって、出身者な考えがあって今示してるかと思 ってたんですけど。</p>
3:50:57	<p>すいません日本原燃石橋です今のハバサキ様のご指摘の方が設計用地震 力とかですねあとは1オオヒガシの鉛直地震力の下の中、下の括弧ばな ってるところに本来単位が入るんじゃないのかっていうご指摘だったと 思っております、そこはそうですよ。そこはそうです。その通りで す。その下のバーのところの関係とかを、</p>
3:51:16	<p>説明した上で、圧壊を話した方がいいと思いますっていうところでは た。伊勢ちゃん田崎ですけれども坂さん言ってる、一関東のこのセルの 中の場の意味はわかってます(3)と(4)に至らないような、</p>
3:51:32	<p>それではすいません。佐川です。自分が勘違いしました。申し訳ないで す。はい。すいませんお願いします。</p>
3:51:42	<p>規制庁上出です。</p>
3:51:45	<p>家族の比率のところの単位って、家族どう家族であるから、このままで いいんじゃない。</p>
3:51:52	<p>どうですか。</p>
3:51:54	<p>日本原燃石橋です今のご指摘はですね確かにおっしゃる通り罰則の比率 のところをこのままでいいかと私も考えているんですけども、その隣</p>

	<p>のですね設計用地震力であるとか今回今ご指摘いただきました 309 ページであれば、一関東鉛直地震力って書いてるところの、</p>
3:52:13	<p>その下のところですね括弧ばっていうところ、ここはF R SであってもZ P Aであっても加速度ってところが、単位が一つの値なので、そこに自由を入れてもいいんじゃないかっていうご指摘。</p>
3:52:26	<p>私は認識してございましてそこについては確かにおっしゃる通り、Gでいいのかなというふうに考えてございますのでそこを修正したいというふう、いう回答させていただいたというところになります。以上です。</p>
3:52:36	<p>土山技術今の説明の認識で結構です。</p>
3:52:44	<p>はい、わかりました成長わかりました。</p>
3:52:49	<p>あと、</p>
3:52:51	<p>とりあえずハバサキさん大丈夫ですかね。</p>
3:52:55	<p>はい、規制庁オカザキからは以上です。</p>
3:52:59	<p>はい。規制庁深見です。</p>
3:53:01	<p>で、ふと思ったんですけど、今表示されてるところも大分マスキング情報多いですけど、</p>
3:53:09	<p>これって、</p>
3:53:12	<p>火災感知器でやっても全部バスキング情報にあったんですか。</p>
3:53:25	<p>はい日本語のイシバシです。</p>

3:53:27	そうですね今ご指摘いただきました。今ちょっとここのマスキングについては冷却塔の附属ってところで、マスキングを今かけているんですけども確かにすると、冷却塔ではないってところを考えたら、
3:53:40	例えばフロアですとか取付フロアとかそういうところについてはマスキング。
3:53:44	愛称になるかと思うんですけど個別のこの感知器の結果ってところがマスキングになるのかって言われると確かに、
3:53:50	ご指摘の通りかなというふうに考えてますんでまずはちょっとここは社内でも、もう一度、今ご指摘いただいたものです。
3:53:57	はい。コサクです。今 312 ページ開いてます。
3:54:04	日本原燃島津はい。
3:54:07	非公開版だとマスキング箇所に指定されていないんですけど、
3:54:19	日本原燃のセガワです私が見ている非公開版の
3:54:24	312 はですね赤枠入ってますね。なかなかあれかな。何か違うデータが言ってるのかな。
3:54:32	規制庁の田尻です。ちょっとそれ耐震の資料がわからなかったんですけど竜巻の方とかだと、マスキング河床が高くやってなかったんでって何か途中で差し替えさんとかが来たような覚えがあるんですけどそのパターンですか。

3:54:45	スタート。日本原燃の瀬川です。あれですね、マスキングが追いつかずにですねまずマスキングをやらない。バージョンで先行してお出しさせていただいた。
3:54:58	ものを多分ご覧になってるんですね。浅草規制庁コサクです状況はわかりました。
3:55:04	それは
3:55:08	あれですかね、原燃からは出てこちらのファイル管理でまだ差し替わってないってということですか。
3:55:15	規制庁シミズ多分 551 で
3:55:19	地震 00-01 でできてたと思うんですのでこちらの管理だと思います。
3:55:25	コサクですわかりました。
3:55:27	いや、ちょっとそれなんで、現状だと、原燃はここマスキングという整理をしてるっていうことで理解しましたので、その理由を、すみません。
3:55:37	改めてお願いします。
3:55:45	はい日本語のイシバシせず、
3:55:48	ここを今ご指摘いただきました通りマスキング対象になってますよと、今マスキングしてるーん等、理由としましては冷却塔に附属するものと、

3:56:00	いうところでマスキングしてございますただ今ご指摘いただきました通り、これっていうのは冷却塔に附属するので図面等々はですね、マスキング対象になるかもしれませんがもただこのパンチ機、
3:56:12	本体等の結果っていうところは、マスキング
3:56:16	対象にならないところもあるかと思imasuのでそこはちゃんと精査した上であとは社内で確認した上で、もう一度ここ松木になるかならないかってなる場合はちょっとまた別途説明させていただきたいなと考えてございます。以上です。
3:56:32	はい。規制庁、網です。わかりましたというか、
3:56:37	補足説明ですからとは思いますが、もうすぐ補正も出てくるという中で、
3:56:46	本当に大丈夫かなっていう感じですけど、補正に向けて、
3:56:51	またマスキングが遅れますとかってそんなことはないと思っていいですか。
3:57:01	日本原燃佐藤です。はい補正に当たりましてしっかりマスキングん部分も含めてドライビルではい、お出しいたします。
3:57:12	はい。規制庁亀井です。わかりましたよろしくお願ひします。
3:57:15	で、すいません聞こうと思ってたのは、全然そんな話じゃなくて、312ページでいうと、設備ごとの輪

3:57:25	これは排水隣接影響ですよ。で、話ししたと思うんですけど、ネットに取りついている火災感知器なんかは、
3:57:38	ネット自体は、
3:57:41	隣接。
3:57:42	影響評価してませんと、指定してなかったと思うんですけど、
3:57:48	あのとき、
3:57:50	どう対応するとかどういう説明を受けたかちょっと忘れてしまって、ネットに取りついているものってどう評価してるんですって。
3:58:10	はい。日本原燃原田です。
3:58:13	竜巻ネットの方ですけども、液状化評価で二次F E M。
3:58:20	A君。
3:58:22	9、組んで評価するんですけども、そのときに、隣接、
3:58:28	今日、
3:58:30	モデル化したやつと、今回設計モデルって、結局、モデル化しない方が保守的だから、モデル化しない方で、計算書を作ったんですけども、
3:58:41	そのときに、眉要するに液状化影響評価するときに、隣接影響っていうのは考慮する、した形にしたので、
3:58:50	何といいますか、
3:58:53	改めてですねそこは影響が少ない。

3:58:59	ものとして感知器の方の評価も行ったと。
3:59:04	そういうふうに整理しております。以上です。
3:59:09	はい。規制庁神です。その整理がどこ頭にありますかかっていうことなんですけど。
3:59:17	どうなってます。
3:59:20	日本原燃原田です。整理としましてはですね、
3:59:24	今日ちょっとフルパッケージで 0001 をお出ししてないんですけども、
3:59:29	別紙のも 9G のところにですね、まず隣接、
3:59:36	影響も含めてちょっと目次は提示してさせていただいておりまして、ただ今回は
3:59:44	竜巻ネットではその隣接影響っていうのは、
3:59:48	改めて
3:59:52	添付資料作っていない。なぜならば理由があつてですということをですね、記載した上で、
4:00:01	欠番扱いするような形で、
4:00:04	ちょっと整理しております。
4:00:07	ちょっと不親切だと思うんですけども一応、ちょっとそこで読めるかなは、考えております。以上です。

4:00:16	長ハバサキですけれども今の原田さんの説明ちょっと意味がわかんないんですけども、
4:00:21	液化化表カーの全応力も含めて、モデルにしても、
4:00:28	隣接影響評価のモデルにしても、
4:00:30	ネットに相当する構造体っていうのは考慮してなあ、ごめんなさい、液化評価はネットを考慮している隣接評価に関しては、
4:00:41	ネットに相当する構造体は評価してないモデルでやってますよね。
4:00:47	それでどうして
4:00:50	ネットの隣接、
4:00:53	効果っていうのが、られる、えられているのかが意味がわかんないんですけども、
4:00:59	もう1回言いますね、隣接影響評価を出すために、隣接の3次元の地盤モデルの隣接ありなしの応答解析をして、比較をしますと、
4:01:11	そのモデルにネットはないわけですけども、
4:01:15	その結果でどうしてネットにおける隣接の影響が評価できるのか。
4:01:22	説明してください。
4:01:30	少々お待ちください。
4:01:39	はい。すいません。答えになるかちょっと自信ないんですけども、耐震建物23の方ですね、二次元の評価の中で、

4:01:51	隣接建屋のあるなしについて比較しています。
4:01:55	その結果、隣接がない方がですね、今回、A4Bについては、ない方が すごい保守的であるという結果を得ていますので、
4:02:09	何て言ったらいいんでしょう。
4:02:13	内々方で進めて、
4:02:15	進めましたと、今回竜巻ネットについてはですね、保守的な方法で進め ましたと。
4:02:23	一方そういう情報が獲られていますので改めてこの隣接影響についていうのを 示したとしても、隣接がない方が落ちてきたという結果、
4:02:34	整理するだけですのでちょっと今回、あれですさっきの目次の話しまし たけれども、
4:02:40	うちは次回を睨んだ時は必ずしもそうはならないので目次を起こしてい るんですけども、今回はネットはC、示し、
4:02:50	耐震建物 23 で示しているのです、ちょっとそこは欠番にしていると。
4:02:57	いう説明をしました。
4:02:59	ちょっとすみません回答になってるかちょっとわからないんですけど も、以上です。
4:03:03	規制庁浜崎です。今の説明で、ある程度は理解はしました。要は、隣接 影響評価のモデルには、ネットはないけれども、

4:03:14	そこで隣接影響の評価を、影響係数を出すっていうことはせずに、
4:03:20	液状化評価の二次元のモデルで、隣接建屋のありなしで、
4:03:26	ない方が砲塔が大きくなるということで、判断しましたということ。
4:03:32	そういうふうに理解しましたので、
4:03:34	まずその理解でいいですか。ありがとうございますそのおっしゃる通りの理解でございます。
4:03:40	規制庁浜崎です。そのプロセスが全く今わからないのでですね資料補足なりでの説明を、
4:03:50	してもらいたいと思います。よろしいですか。はい。日本原燃原ですそうですねはい。も口の話だけでは本当不親切なん。
4:04:00	なのでですね、ちょっとその辺がわかるように工夫したいと思います。
4:04:07	はい、既設ハバサキは以上です。
4:04:11	規制庁カミデです。もくじいとか欠番とかっていうのが全然よくわからなくて今、次新沢 01 の一つだと思うんですけど R20、
4:04:25	11月25日にもらったものを見てますけど、どの辺、今言われていた目次ってというのは、どの辺だとか。
4:04:36	あと欠番っていうのが、この辺だとかちょっと。
4:04:39	説明できます。

4:04:42	はい。ちょっと今調べますので、ちょっとお時間いただきましょうでしょうか。
4:04:52	はい。規制庁上出です。わかりましたちょっと後でもいいので、
4:04:57	教えてください。
4:05:01	あと他地震ゼロゼロ関係で、規制庁側か何かありますか。
4:05:16	はい、規制庁カミデです
4:05:20	次の資料を、
4:05:24	進めていこうかなと思います。次、耐震建物 01 ですかね。
4:05:30	01 からがいいのか通路、松永の方からはいいですかね耐震記念豊中より ますか。すいません。日本原燃の蝦名です。
4:05:40	ちょっとですね、こちらの事情で申し訳ないんですけども、ホシノとヨ シダの方はですね、ちょっと 16 時、18 時までしかですねもう残業がで きない状態になっていて、
4:05:53	ちょっとそこに関係するところを先にやらせていただければと思うんで すけども。
4:05:59	よろしいでしょうか。
4:06:01	はい。規制庁神です。わかりました。どういう順番でやります、やるか だけ言ってくれば、その通り進めます。

4:06:08	日本原燃星野です。まさしく今おっしゃっていただいた、耐震基準 07 の方からご説明させていただきたいと思います。
4:06:17	耐震基準 07 の方ですけども、
4:06:25	右下の 5 ページ。
4:06:29	お母さん呼びかけ直感ですけど、特段、
4:06:33	説明を求めているわけではないので、時間がないのであれば、どんどん進 めていきますけど、
4:06:42	あ、はいじゃ少し、少しだけご説明します。右下の 11 ページ。
4:06:51	この表ですね別紙 4-17 に盛り込んでおりました設計プロセスの条件の 該当状況ですけども、こちらの補足説明資料にですね黒丸で示した形で 代表設備をを選定するところを見せる形にしております。
4:07:09	あと表の一番上にですね項目番号というのを足してまして①②③と、
4:07:15	ここの番号がですね、次のページの、
4:07:19	添付の 3 ですね。
4:07:24	字が小さくて申し訳ないんですけど一番右端の列。
4:07:31	はい。こちらですね耐震設計のプロセスというところで、00102 とい うのが該当する番号がここで示されるように
4:07:43	しております。左の方には各捕捉の説明対象のが江藤を示してありまし て、

4:07:52	藤遅君と設計プロセスと補足の該当の大里、あともう一つが、もう少し左の方に行っていただいて、
4:08:01	耐震記念の 13 と今ちょうど真ん中からちょっと右側のところにありますけれども、既設工認からの変更点というところでここに該当する設備をなるべく選ぶ要因して代表設備を選定していきたいと。
4:08:16	ということで考えております。簡単ですが説明は以上です。
4:08:24	はい。規制庁カミデです。
4:08:28	はい。耐震基準 07 ですが、まず確認したかったのが、
4:08:34	ぱっと見、
4:08:36	まだ大分整理中なんじゃないかなって、私は受けとめたんです。00 の方はかなり手を入れて進んできたなあと考えてんですけど。
4:08:49	今の 00 のクオリティーと見ると、耐震記念ゼロなんて、まだ何か途中なのかなって思ったんですが今事業者として、07 の出来栄えとかどれぐらいの達成度なのかって、
4:09:05	うん、受けとめを説明してもらえますか。
4:09:12	日本原燃星野です。
4:09:16	縁段階で代表を選ぶところの過程の間観点としては整理ができておるんですが、次回の設備が具体的にどういうふうを選んでいくってことではちょっとまだ、

4:09:29	次回の設備に対して代表の選定をするところまで至っておりませんので、
4:09:37	これ自体の整理としてはまだ
4:09:41	半分ぐらいかなというふうに考えております。以上です。
4:09:47	藤規制庁岡部です。最初代表設備がまだ決まって、
4:09:54	内のその点が不足ですって、
4:09:59	言われているときは、
4:10:02	私が思ってよ随分進んでるんだなと、今、言っている内容でいいんだと思ってるんだなあって思いながら聞いてましたけど最後 50%って言われて、
4:10:13	50%とか日野だけで 50%に使うって感じですね、何かもうちょっと。
4:10:20	日本へのイシハラでございます。私自身まだ、まだだなと思っている県はこの横軸で書いてあるものと、いわゆる今回の耐震プロセスで上げる項目がダブってるものがあったりですねそういう、
4:10:34	整理をちゃんとしないと、横がまずそもそも必要なものを書いていますか。
4:10:40	他と重複してるものを何か書いて整理できてないってことないかなみたいなのがちょっと心配しているところで、そういうところをちゃんと整理しないと、多分表としての成立性が確保できないと。

4:10:53	思ってますので、上出さんおっしゃっていたまだまだかなっていうのはおっしゃる通りかなと思ってます。いつまでにやるんやと言われるとちよっとはい。頑張りますとしか言わないですけど。
4:11:05	はい。
4:11:07	はい。規制庁亀井です。あとは作り込みに対して周りど、何だろう。類型化の話って大臣が先行しているところだったらと。
4:11:21	なので、
4:11:22	例えばその建物側の人ともう認識合わせたんだとか、最高の人たちとかも、こういうふうにするつもりだとか、その横の相談はどこまで進んでる。
4:11:35	はい、与儀石原でございます。
4:11:39	正直さっきのやりとりも聞いていただいた通り例えば沖電の機器の調整は、私もまだ手突っ込めてないところです同じように作んなきゃいけないというステージの中で整理が必要だというす。
4:11:53	ここでまとまっていると思ってます。あと在庫については横軸の話を、設計プロセスというか評価プロセスに横軸置くものについては、
4:12:03	どういうベースでやりましょうか調整できてるんですけど、耐震基準でどんなだったかな。ここで書いてる横軸みたいなもの調整まではまだしきれないです。はい。

4:12:17	はい。規制庁亀井です状況としてはわかりましたので、
4:12:24	前お伝えしたように、プロセスとしての横事故あるんだけどそれと補足説明との関連づけも必要ですと。
4:12:33	いうことと等、例えば 12 ページなんかでも判例がまた保守とか 20 までいった。
4:12:42	見なれない希望があって他の資料とかだと、黒丸白マル三角とかだったりしていろんなやり方たんだなとは思いますが、
4:12:52	そういうところも含めても、もうちょっとこう中身を話ができるフェーズまで仕上げてくださいね、また話ができればと思いますけど、よろしいですか。
4:13:04	はい。二本木石田でございますが機器耐震だけでなく建物耐震、あと、材料構造も含めて全体、ちゃんと考え方ベース決めて、それぞれ横並びを図りつつ考え方がちゃんと説明できるように、
4:13:20	資料も作ってということでやらせていただきます。以上です。
4:13:24	はい。室長か水よろしくお願ひしますで、耐震建物 01 も同じような状況でこれは毎回やってるんで、07 ほど
4:13:34	無邪気な状況ではないとは思いますが、それにしても、例えば 35 ページの同じ星取表ですけど凡例の書き方、前とは変わってて、前、

4:13:47	この前ヒアリングをしたときに、何でこういう書き方したんですかって話をしたにもかかわらず、その辺変わってなかったりとかですね、何かこの辺も、
4:13:57	何かとりあえず出しましたかもあるので、これまでのヒアリングを振り返って、もうちょっとお話ができるものにして、07等、
4:14:08	同じような感じですけど、もう、
4:14:11	仕上げて、また話が聞ければと思いますけど添01もそんな認識でいいですかね。何か他に話をしたいと思います。
4:14:23	先に共通的な考えだけ述べた後それぞれ何か言いたいことがあれば言ってください。耐震建物01の方も、全体的にちゃんと、他の資料との整合とかですね。
4:14:35	今回耐震設計のプロセスを描いたときの、その
4:14:39	表の作りこみとかっていうのを銀行を図って、どう、どうしなきゃいけないか、それが機器だけじゃなくて建物だったりっていうところにも波及するっていう全体の整理がまだできてないのが実態だと思ってます。
4:14:51	そこをやらなきゃいけないという認識があります。とりあえず出しただらうという、今の実力に応じて最大限努力をして今のバージョンで出したというしか言いようがないです。はい。以上です。
4:15:06	はい。規制庁カミデです

4:15:08	失礼しました。両案の状況としては理解しました。
4:15:14	あとその 0701 関係で規制庁が何か今の段階で言っておきたいことがあるかありますか。
4:15:26	すいません。規制庁コサクです。ちょっと余計なことかもしれないんですけど、
4:15:32	建物 01 の方の 33 ページの、今話題にしていた表を見ると、
4:15:40	今回二つのものしかなくてということですけど、
4:15:46	同じ項目に黒丸が二つもついていると言うのはこれは何ですか。
4:15:53	日本原燃のオガセでございますすいませんちょっと今の一応構成の考えとしてですが二つの類型屋外重要以外と屋外重要が土木があるというところでございますが、
4:16:04	すいません 33 ページが、屋外重要土木以外で、34 ページが屋外重要というところになりますので、今小崎さんおっしゃってる通り類型としては二つなん。
4:16:16	いや、違います朝、すいません、33 ページで、例えばですけど、C ポツ 2 縦に二つ丸が黒丸が並んでいたり、
4:16:25	一番左の方で (1) のそれぞれの項目で、代表って言ったら、

4:16:31	その分類を決めていくためにはその考え方に従ってやってる以上はどれかで代表できるはずで、ここに二つ黒丸が並ぶってというのはちょっと異質かなっていうところだと思います。
4:16:41	はい。日本原燃忘れて申し訳ないです了解いたしました。そういうふうになりますと代表施設といたしましては本来小崎さんおっしゃる通り一つでいいはずでございますので今回の第1回で説明した実績があるということですみません
4:16:53	代表んとして扱っていただろうということで黒二つ並べてしまいましたが、本来一つでいい特に言いますとこちらの燃料加工建屋のところで、一通りの説明というのができまして4Bのところにつきましては、
4:17:06	多少それこそあれ同じようなプロセスでやっているものに変わりはございませんので、ここでは本来こちらのページの中で一つ代表が選ばれるべきだと思いますのでそちら改めさせていただきたいと思います。以上です。
4:17:17	コサクですわかりました説明したのであれば実績としては書いといてもいいんですけど、心配したのは、
4:17:25	その考え方がぶれていると、第2回るときにまた混乱するぞっていうことで暗記しちゃって、
4:17:33	今後の、

4:17:34	対応としては理解されているようですからそれで進めていただければと思います。よろしくお願い
4:17:40	はい。日本原燃のオガセでございます誤解のないように類型化の降灰がないようにするよう見えるように、類型化の趣旨を踏まえた代表付のところで見えるような表にさせていただきます。以上です。
4:17:56	はい。規制庁神です。他、
4:18:01	特になければ、あと 10 分ぐらいですけど、27 をざっとやってと思いますが、
4:18:08	これも何か先に話をしたいところがありますか。
4:18:13	いろいろヨシダです。2、耐震基準 27 について、簡単にお話させてもらいたいところがあります。
4:18:20	衛藤清河上です。すいません。
4:18:24	これも一緒、一緒というか、図 7 で言ったことと一緒に事業者としての、まず完成度受けとめみたいところをまず説明してもらいます。
4:18:39	論議のヨシダです。衛藤完成度としまして正直に申し上げまして
4:18:44	先ほど来もちょっと 40%が 50%ぐらいかなというふうに考えておりまして、
4:18:50	衛藤は、

4:18:53	はい。日本原燃星田です。すいません 40%とかと申しましたけども、前回のヒアリングで、抜本的な見直しが必要だと、いうことを受けて、
4:19:07	説明するところの左側を
4:19:11	基本計算書作成の基本方針にして設定の内容について拡充をさせていた だきましたけども、
4:19:18	QMSの観点ですとかそういった内容、
4:19:36	です。
4:19:38	する方向が見えてきて、
4:19:44	規制庁、坂野さん。
4:19:46	方向が見えていて、
4:19:49	ダウンホールということであれば、その例でいいんですけど、悩ましい 点みたいのがあればいいと。
4:20:12	規制庁神です。現在聞こえてました。すいません日本原燃吉田です。
4:20:18	衛藤。
4:20:20	ちょっと悩ましい点としてここで伝わさせていただきたいのがですね、 我々最初に設計のプロセスに対しての考え方確認方法というところを 今、
4:20:30	お示ししてるような形作ってはいるんですけども、その方向性というところ ですね。

4:20:35	衛藤。
4:20:37	ちょっとこの方向性で合ってるかというところが一番悩ましいっていうのが正直なところではあります。
4:20:46	藤規制庁、高見です。私はや、
4:20:49	どういう方向に事業者が向かっているのかもあんまりよくわからないなっていう感じがしていて、
4:20:58	どちらかというと、
4:21:06	与儀イシハラございます。
4:21:09	人も悪いけど、機械化有効で今の話だと。
4:21:13	一応この耐震
4:21:16	ナンバー綺麗に 17、設計プロセスとして大枠、計算方針ですかねキケイ耐震計算の基本方針に書いたプロセスに従って、
4:21:26	その計算結果に導くためのつなぎであったりその時にどう考えたのか、 どういうチェックをしたのかっていうのを、流れを作りたいということです。結果を見て S、
4:21:37	こうですよ。ではなくてその間があるんであればそれを繋いでいくと、 標準的なものを頭にした上で、個別の設備ごとに、代表があれば、そ いつを具体化していくってことなんですけど。

4:21:51	多少若干悩んでたのは、頭に本文側に共通の考え方書いてあんですけど、これあんまり一生懸命書くと、後がなくなってですね。
4:22:01	個別で書くことがなくなってしまうというわけわからん状態になるので、ちょっと示し方を工夫しようかなと思ってました。やりたいことはその繋ぎの部分をちゃんとせ、丁寧に説明するっていうことを経営目線従ってどういう採用したのかとか、
4:22:15	どっからし値を持ってきたのかと、その値が、なんでそれでいいと考えたのかみたいなことを丁寧につなげていくっていうのがやりたかったことです。以上です。
4:22:26	はい。規制庁カミデです。今石川さん言われた、売れる側っていうのは何ページか話ですか。
4:22:35	両方。
4:22:37	ペースでいくと、添付1って書いてある6ページからのやつですね、6ページからついでやつと、別紙1って確かついでた、20ページ以降ですね。
4:22:51	のさ、差分というか、作り込み方をどうするかっていうところであまり、

4:22:57	全道を丁寧に作って、作ったところで個別の値設備にはいかないので、具体は説明できるんだと思うんですけど、そこの辺の持ち分というか、役割分担というのをちょっとちゃんと整理考えながら、
4:23:11	作らんとうんごちゃごちゃなりそうなのっていうところを、ちょっと若干聞きしてました。以上です。
4:23:18	はい。規制庁カミデです。それで言うと、その 23 ページの、
4:23:25	今日の左側等、
4:23:30	10 ページの左側とおんなじ強化方針なんですね、これ、どっちかっていうとあれじゃないですかね左側がもう 1 個上の設計プロセスを貼っつけてそれに対して、入力根拠とかをこうしてますよとか、
4:23:48	経営評価の妥当性をこういうこういうものを見ながら妥当性をチェックしているんだと、いうところのあらましを書くのは上の話で、
4:23:58	あとは有限
4:24:01	要素法のモデル。
4:24:03	の方はそれで言うと、具体の計算式の出典とか何か、それぐらいでいいのかもしれないなと思いましたが、いかがですか。わかりました。ありがとうございます。

4:24:17	頭がすっきりしました。はい。確かに共通的な方針としては今言ってる 郵送も1個前のやつが多分全体的な方針であったり、流れを変えている ので、
4:24:29	それとそのそのプロセスのそれぞれの間にその各プロセスでどう判断 したかどう考えたかっていうのを、まずちゃんと丁寧に整理をするとい うこと。
4:24:39	個別のやつは実際に経産省のブレイクしたところで、細かいところを選 んだ結果を書いてくとかですねそういうことを、
4:24:47	役割分担してちょっと整理をさせていただければと思います以上です。
4:24:53	はい。規制庁深見です。その中で、上野に、俗に言うの方ですけどそこ で、こういうものを確認しますっていう中で今回の冷却塔の入力根拠が こんなものだったりとか出力でこんな感じで、
4:25:09	先ほど冷却塔ではなくて、火災防護設備で、担当の方言われてましたけ どモードについてもちゃんと説明できるじゃないですかこういうモード が出たことに対して、
4:25:22	こうこうこうだから妥当だという考えをちゃんとやっているはずなの で、そういうことがちゃんと冷却等でも、例示としてですね、示しても らって、
4:25:34	こういう、

4:25:36	ふうにちゃんとやっています、他のものも同じように、同じようなやり方でちゃんと妥当性確認しますと、というような様が見えたらいいのかなと思ってましたが、理解いただけますかね。
4:25:49	はい、弓削西田でございます私、私は、
4:25:53	理解しました。はい。イメージとしては固まったのでは、作りをまずは考えたいと思います。以上です。
4:26:02	はい。規制庁カミデですよろしく申し上げます。岡耐震綺麗に17について規制庁側から何かありますか。
4:26:16	はい、規制庁カミデす特になければ、耐震側として、ちょっと大分時間、
4:26:23	わかってしまいましたが振り返りを申し上げます。
4:26:27	日本原燃原田ですけど先ほどのネットの隣接影響の話をちょっとさせてください。0001、11月25日で資料R20のですね、
4:26:41	288ページです今、画面共有させていただいてページが、先ほど私が紹介した内容のところでは。
4:26:49	ここにですね、別紙4-30として、竜巻防護対策設備の隣接影響から3、すみませんねサガワですハラダ。
4:26:59	あと、

4:27:00	申し訳ないです先ほどホシノ等、ヨシダっていうところがあったんでちょっとそこを中心に振り返りだけさせてもらってこの話じゃ駄目ですかね。
4:27:10	ないんですよ。すいませんはい。
4:27:14	じゃ、振り替えでも先をお願いします。
4:27:18	はい。日本原燃の越野です。受振 0001、他補足に関しての振り返りをさせていただきます。
4:27:25	まず
4:27:27	今日、
4:27:29	竜巻防護ネットのばらつき、床五島加速度のばらつきに関するところですが、
4:27:36	国家
4:27:40	すいません、ちょっと市、市、
4:27:42	申し訳ありませんちょっと間違えました。
4:27:45	C A 4-6。
4:27:48	久野ですね。ええ。
4:27:59	あ、
4:28:01	失礼しました別紙 4-16 の、

4:28:06	ところで、建物とドウドウを分けるということで書類の構成についてですね、記載するよう考え方を
4:28:17	補足説明資料か何かで明確化することを、対応したいと思います。
4:28:23	あと、別紙 4-16 の中で 117 ページのフローを受けて 119 ページの方で基礎地盤のことが記載されておりますが、そこに対してはフローと同様に耐震併記とかの記載も小として、起こして記載したいと思います。
4:28:40	あと別紙 4-17 の方ですけども減衰定数のところですね、項目、すべて書き分けてましたけども、レギュラーとイレギュラーのものがありますのでその記載は簡略化した形で記載をしたいと思います。
4:28:54	あと別紙 4-35 で水平 2 方向のところですけども、
4:29:01	等、
4:29:02	方針のところですねこういった評価をするというところの呼び込みの記載を入れたりですね。
4:29:11	計算結果自体の記載を適正化したいと思います。
4:29:16	あと 299 ページの方でちょっと一部マスキングに研究してしまったのでそこは録音の際、削除をお願いいたします。
4:29:26	はい。耐震建物耐震基準 07 と耐震建物 01 の方は、
4:29:35	再生利用、全体的に代表設備の選定に関するところの過程のところ、再整理をした上で資料の記載を見直していきたいと思います。

4:29:46	耐震建物に耐震綺麗に 17 については、添付 1 の方にせ
4:29:52	プロセスのところに対しての説明を入れて、特別の方に計算書作成の基本方針を載せた上で、
4:30:00	内容を記載記載の内容を拡充していきたいと思います。以上です。
4:30:09	はい。規制庁神です。
4:30:13	やはり新規年 07 と 01 の A は、
4:30:17	ところで代表設備のところって言われましたけどそれよりも大分手前から、
4:30:24	作業必要だというところ認識おきください。
4:30:29	あとスケジュールはどうでしょうか。
4:30:33	はい。日本原燃星野です。
4:30:35	今日いただいたコメントのうちですね、別紙 4 の 35 の水平 2 方向のところに関しては記載が
4:30:46	ちょっと適正化しないといけませんので、そこに関しては明日までに修正をして、
4:30:53	提出したいと思います。その他の箇所記載を修正すればいいような箇所については、補正書の段階で反映させていただければと思います。
4:31:06	あと、補足説明資料の方については、ちょっとをし、
4:31:12	耐震以外との関係性との調整もあるので、

4:31:18	ちょっと社内で調整した上で、提出日を設定したいと思いますが、来週のどこかで提出させていただきたいなと考えております。以上です。
4:31:30	はい。規制庁深見です。した出すっていう、別紙4の35って言われましてけど、それだけでいいの要は換地計画系が大分、
4:31:42	書いてないっていうことなのでその辺り、関連するものは、
4:31:49	提示いただけるものと私は受けとめてますけど、大丈夫ですかね。
4:31:55	日本原燃星野です。はい。失礼いたしました峰さんのおっしゃっていただいた通り火災感知器に関するところの停止について、明日、明日、提出させていただきたいと思います。以上です。
4:32:10	はい。規制庁神です。わかりました。規制庁側から何かありますか。
4:32:19	はい。規制庁カミデそれでは次は竜巻になりますが、村長が今清水さんはいらっしゃるんですかね、そういう状態です。違います。
4:32:32	全然、とりあえずあと竜巻と火山がいると思うんですけど、どうします
4:32:38	5時間ぐらいやってるんで休憩挟んだら休憩挟んですし、例年のご要望にお答えするんですけど、すいません日本原燃の蝦名です。こちらもです。ねちょっと残業時間の関係があって、19時20分ぐらいまでしか時間がないのでちょっと効率的に進められるように、
4:32:55	休憩なしで進めさせていただければと思います。申し訳ございません。
4:33:00	はい規制庁タジリです。

4:33:03	できるだけ簡潔にやっていければと思うのでよろしく申し上げますそれでは、このままもう始めちゃって大丈夫ですかね元の方から資料等を含めて説明いただければと思います。
4:33:14	はい。日本原燃の蝦名です。資料なんですけども、本日ですね提出さしていただいたものになってございます。本日はですね計算書で記載しました内容が別所に漏れなく移行できてることの確認と、
4:33:30	資料の内容について議論させていただきたいと考えてございます。またですね、とそ竜巻 16 の方の内容もですね補足説明資料の内容が、
4:33:41	等の、すみませんコメント反映と、その内容はですね添付等の添付資料のほうにシャント紐づいていることをご議論させていただければと思います。
4:33:51	本数提出していきなり主査謝罪で申し訳ないんですが、00 シリーズですが、修正した資料のみということで別紙 4 提出させていただいてるんですが、
4:34:06	その時にですね別紙のリストがまずついてないということが一つございます。あとはですね添付書類の
4:34:16	表の紙はですねちゃんとレビジョンと日付が修正されてるんですがその中に入ってある仲野鏡のですね、ちょっと修正ができておりませんでした。申し訳ございませんでした。

4:34:29	はい。ちょっとそういう状態ですが中身に関しては大丈夫だと。大丈夫ですので説明の方に移らさせていただきます。
4:34:40	はい日本原燃のサカモリでございます。粗度竜巻 00 の方からご説明させていただきますと思います。今回の修正でございますけれども 328 ページ以降のですね強度計算書の
4:34:53	更新書とかの何を移しましたかっていう資料こちらの精査の方をして参りました。その中でですね方針書とかと紐付けを確認いたしましてその中でちょっとうまく表現が落ちてないなと思ったようなところを、
4:35:06	別紙を全般にわたって修正の方をしてございます。そちらの方は見ていただければおそらくわかるように修正したつもりですのでちょっと説明のほうを割愛させていただきたいと思います。
4:35:16	この場ではですねし別紙 4 に反映しなかったものもしくは補足へ落としたものの方をご説明させていただきたいと思います。まず、204
4:35:29	15 ページでございます。
4:35:35	すいません 350 ページです申し訳ございません。常時左右する荷重のところでございますけれどももともと計算書の方に機器の名前があったんですけれどもこちらの代表機器を、
4:35:46	1000 記載していただけて深く意味がないというのと、あ、そうですね 245 ページの方に、具体的にどの機器に常時するか遊佐浅井をする荷

	重を考慮してるかというのがわかるかと思しますので、こちらの方は記載の方削除いたしました。
4:36:03	続いて、351 ページ以降の重圧面積に関する記載でございます。こちらについては 137 ページの方に、面積算出の考え方を方針に記載させていただきました。
4:36:17	それに伴いまして経産省の方の評価条件のところに、パラメーターですねこの A とか B とかそういった寸法をすべて記載しましたので、それらの数値を補足するものということで補足説明資料の方にこれらの図の方は全部、
4:36:33	移してございます。続いて 423 ページの、
4:36:40	補助防護盤の
4:36:45	評価対象部位の図でございますこちらにつきましても、
4:36:51	170 ページの文章中の中にですね、どこ評価、評価対象部位とするというのがわかるというのと、あと構造については 100、
4:37:01	2-3-110 ページですねこちらの方に防護ネットの概要図がついてございましてこちらに補助防護盤がどこにあるというのはわかるかと思しますので、床、こちらの図は補足説明資料の方に移してございます。
4:37:15	最後に 476 ページ。

4:37:20	の、すいません、こちらはちょっと謝罪でございます。解析モデル図、 こちらの方針書へ移すと書いてあるんですけども今現在の計算書の方に ですねちょっと、
4:37:30	起こっているのが確認いたしましております。補飛来物の解析モデルに ついては設備高校によらず、共通条件になりますので慎重に記載するの が妥当だと思っておりますので計算書の方から削除したいと考えており ます。
4:37:43	あと最後にですね、
4:37:48	209、29 ページですよ。
4:37:51	この前のヒアリングで解析モデルの拘束条件のところですね、耐震耐震 評価のモデルの説明に比べたら、ちょっと記載が少ないということで耐 震の表、
4:38:04	記載内容を元に記載の方拡充してございました。こちらですいませんも う、またこちらです謝罪で申し訳ないんですけども今回ですねこの L S - D Y N A さんを記載するのにちょっと注力し過ぎて、
4:38:16	冷却塔の方に同じような記載が、今現在なされておられません。こちらに ついてはですね 145 ページのところに、

4:38:26	支持架構のモデル化のお話がちょっとしてございます。こちらのモデルは耐震と全く同じ条件でモデル化しているというのを確認してございますので、
4:38:37	耐震のモデル化をもとに設定するといった文章をこれからちょっと入れていきたいというふうに考えてございます。以上です。
4:38:47	はい。規制庁のタジリ津。
4:38:51	すいません。
4:38:52	資料に関してはある程度どういうふうに修正したのかというのが書かれるようになったので以前のやつより見やすくはなったんですけど、
4:38:59	ちょっと幾つか確認していければと思います。まず最初なんですが、
4:39:06	基本的に後ろの方の注釈書かれる方のやつの記載で踏まえながら考えていきたいんですけど、まず 355 ページなんですけど、
4:39:15	記載しなければというふうには意味はないんですけど例えば気圧差だとか飛来物の荷重の話が書かれていて荷重の設定と荷重の組み合わせ以降というふうな形で書かれてるんですけど、
4:39:24	これ移行した時に書いてあるのって多分考え方が書いてあって、 $W=0$ とするとかの結果みたいな結果というのかな。

4:39:32	負け結果っていうか個別の結果というよりは統一的にこの方針でやりますよっていうところまで見えない気がしたんですけどここらも含めて書いてあるって話でしたっけ。
4:39:43	日本原燃のサカモリでございますこの記載がですね
4:39:49	起こし先が2-1ですかね2-1-2 ポツ1 ポツ3ですか、こちらの方に今回記載のほう拡充してございます。例えば気圧差で言いますと14ページ、
4:40:00	にあるんですけども、
4:40:03	こういったものについては見ますよというのが記載してございます。されております。すいません。例えばすいません例が悪かったですねCの飛来物による衝撃荷重とかですね今回ちょっと青文字で加筆したところがあるかと思うんですけども、
4:40:18	以前はこういった表現がなかったということで可決の方をしております要するに竜巻対策設置した屋外の防護対象施設っていうのは、竜巻対策を守ってくれるので衝撃荷重は見ませんよと。
4:40:29	こういったものがなかったので今回記載の方してございましたので一対一になるように修正した、修正しております。以上です。
4:40:36	規制庁田尻です。
4:40:39	今おっしゃられたので平尾蟹江の方は記載が追記されていて、

4:40:44	上のところで言われてここに書いてあるっていうのは
4:40:50	その他の部位秋谷さんによる荷重が生じないことからっていうのは、上のところで頑張れば読めるだろうって成立かね。
4:40:58	まず秋谷さんのはなCを聞いたかったんですけど、
4:41:05	日本原燃の坂部でございますそうですね全般論として例えば、気圧ウエイト上から4行目ぐらいですかね、例えば閉じた設備については見る。
4:41:18	を基本とするというこの表現が、元の表現の実どうぞに該当するかと思う、考えてございます。
4:41:27	以上です。規制庁館です。絶えずマスクング箇所言ったような気がするんで後でマスクングだとか言っていただければと思うところなんですけど、その後半部分のところろで他の込みませんよっていうところを宣言するかどうかの話を結局聞いてたつもりなんですけど。
4:41:44	355 ページのところで、今発動されたところの後ろの部分ところで、当たり前っちゃ当たり前のことが書いてあったんでどうすんのかなと思ってたんですけど、何で当たり前だから書いてないっていう話を言われているのか。
4:41:57	明示するまでもないでしょという話なのかっていうところなんですけど。
4:42:10	日本原燃のサカモリから少々お待ちください。

4:42:14	<p>規制庁館です単に 14 ページが何とかを基本とするみたいな話で書いてて基本っていうふうな形で書いてたんで、その結果みたいな形で 355 で受けようとしてたのかなと思っていたので、</p>
4:42:25	<p>であるならばそこまでもう変えてしまえばいいのにとかっていうのを気にしただけなので、別にここ書かなかつたらそれは推定できないかと言われたそうでもない内容しか書いてなくても何でもスキームがよくわかんないですけど、</p>
4:42:35	<p>という形だったので、ただ単に考え方を教えてくださっていただけなんですけど、</p>
4:42:41	<p>はい日本原燃のサカモリでございますすみません当然こういうものが見ますよっていうのが書いてございましたので裏を返せばそうじゃないものは見ないっていうのがわかるかなという意図で、</p>
4:42:51	<p>ちょっと記載してなかったんですけど変えた方が市わかりやすいかという点ではそうかと思しますのでこの記載も全く同じものを持ってこようかなと思っております以上です。</p>
4:43:02	<p>規制庁館です 14 ページで閉じた形の方、当時は設備の話だけ書いてるんでそれはかわいそうじゃない部分はわかるだろうというふうな考え方で別に構わないんですけど別に何か抜く意味もないんじゃないかなって気がするんでそのあたりはご検討いただければというのと、</p>

4:43:16	同じ 355 ページなんですけど、ここも別に計算すれば出てくるんで問題ないんじゃないんですけど、積雪荷重の大きさとかのところで計算値だから削除しますよっていう形が書かれてるんですけど。
4:43:26	計算値だったら削除するっていうふうに言うと、大体の値消えていくような気がするんですけど、こういった場合は計算値を削除するとかって何か考え方があったらいいんですけど。
4:43:42	規制庁谷井です右下 15 ページとかのところでやつで掛け算すればそれは出るでしょうってのは当然知ってはいるんですけど、基本的に計算結果って大体前の方に式が書いてあってそれを踏まえたやつあの辺りまで書かれてるのが、他のところ多かったので、
4:43:56	計算値だから削除しますよっていうふうに言われたんで、ここだけなんですって質問です。
4:44:02	日本原燃のサカモリでございます。
4:44:05	ちょっと答え方が悪いんでちょっとそこまでちょっと深く考えてなくてですね単純に 15 ページ 16 ページの積雪の条件のところを掛け算すればこの値が出るということで、今回削除したというだけでございます。以上です。
4:44:19	規制庁樽井です。ちなみにその割にここマスキングしてるのは何でしたっけ。

4:44:32	<p>日本円た家でございます。確かに丹治さんの疑問の通りだと思えます。</p> <p>これただ基本条件のところから出してるだけなんでここ多分マスクの必要ないと思うんでそこをちょっと確認してマスク解除したいと思えます。以上です。はい。規制庁田井です。</p>
4:44:46	<p>マスクも意味ないってのもいいんですけど別に何か計算式と、入力条件だけじゃなくてその結果まで前のところに書いちゃえばいいんじゃないかっていう気もするのでそこもちょっと他と並び踏まえながら考えていただければ。</p>
4:44:57	<p>別にそこまでのこだわりはないんですけど何かここだけ書かないと違和感があったというだけのコメントまでです。</p>
4:45:02	<p>で、ちょっと次行かせていただいてあんまり大きくない話なんで今は、</p>
4:45:11	<p>ここの意図的かどうかわからないす 434 ページ行っていただいて、</p> <p>(1) 荷重の設定の話が書いてあって、</p>
4:45:19	<p>今後、</p>
4:45:20	<p>何、どこまで持ってくかっていうだけの話ですけどポツの二つ目の下からのまた書き以降って前に持ってってるんですけど。</p>
4:45:28	<p>何かぱっと見、見当たらなかったんですけど。</p>

4:45:39	日本原燃のサカモリでございますこれもちょっと今回加筆した覚えがあるのでもっと探すのでお待ちください。
4:46:22	あ、ごめんなさいちょっと 286 ページですねごめんなさいちょっと次部分見落としました。186 ページに見えたんで大きいんですいません。
4:46:30	次いっていただいて、436 ページなんすけどこれ先ほど口頭で説明されたと思っているんですけど、
4:46:38	基本的に図面自体は載っかっていて、
4:46:42	混じら考えるような上部の考え方っていうのも別途示されていて必要な寸法に関しては別のところで読めるのでっていうところはいいんですけど、そこらの考え方も1項のところで書いといてもらっていいですか多分かざとかそういうところだと他のやつだと書いてた気がするので、
4:46:56	これこれこうだからやりませんよっていうふうなところの考え方まで書いといていただければと思います。
4:47:03	日本原燃のサカモリでございます了解いたしました。以上です。
4:47:08	はい。規制庁館です。あと次が、
4:47:12	452 ページのところで、
4:47:18	支持架構の許容限界以降っていうふうになっているところの鑑定評価とか波及影響のところでもって田崎んとこでDF2倍も書いてます。
4:47:27	八幡泉とかの結果んところが書かれてないけどここも、

4:47:31	算出できるだろうという整理ですかね。
4:47:41	日本原燃のサカモリです。ちょっと当該記事探すので少々お待ちください。
4:48:15	あ、規制庁タジリさんの 200 というところにあえて 207 とかかな、207 あたりぐらいの話かなと思いつつ、
4:48:23	日本原燃田仲です。206 ページの
4:48:26	5 ポツ 3 ポツ、一井、ちょっと衝突と貫通って名前ちょっと変わってますけれどもそこに T F 1 1 っていうところは記載はしてございました。
4:48:35	規制庁館ですなんで、普通まで書いてるんですけど先ほどの 430 ページ、さっきところで 0. 何とかひずみの話まで書いてたんで、その部分で消すのかこの止めたんですかっていうのが質問です。
4:48:50	失礼しました所長橋場です。
4:48:58	与儀、米澤です。すいませんちょっと書き落としちゃったみたいなんでちょっとここは書き出したいと思います以上です。はい、規制庁館です基本的に 452 ページで 0.14 の多重性係数の方の話とかまで書いてあんですけど、今回、
4:49:13	合っていないから消したわけでもないですよ。
4:49:16	あれ支持架構部材の話だから今回 T F 2 だけ書いてて、
4:49:20	その手前のやつも省いています。

4:49:23	花木泉が書いてないのもわかりつつ、
4:49:27	はい。熟成係数の方の話でどっかに書いてます。
4:49:42	とかっていう形でこの辺りなんか微妙に省かれてる気がするので、意図的じゃないんだったらちゃんと検討して入れるも入れていただければと思うんでよろしくをお願いします。
4:49:51	井上ネットなんかで出た時、形成数という日本語だけはあったんですけど、そうですね 0.4。それは T A F とかがないんではいそこを追記いたします。以上です。金城竹本の文献見に来わかるだろうと言われたらそこまでじゃそこまでなんですけど、せっかく書いてあっても下水もない気がするんでご検討いただければというのと、
4:50:09	あと 466 ページなんですけど、
4:50:13	タービ評価の藤岡フローとかを書いてたやつあるんですけど、評価フローとかっていうのは今回削除しました。ちょっとすいません見つけきれなかっただけなんですけど。
4:50:28	208 ページあたりで 208 ページ以降のところに多分飛ばしている記載なんだと思うんですけどフローだけを削除したんですかね。
4:50:37	いや、日本原燃のサカモリでございます今田尻さんおっしゃったのは 466 ページのたわみのフローでよろしかったでしょうか。はい規制庁館です。これ、もっと表に書いてあるから、或いは共同計算以降って書いて

	てあったんでそこに飛ばしたのかなと思ったんですけど、もっと手前に書いてあるからって意味ですかね。
4:50:54	226 ページにはこの表は移動はしててですねもしかしたらすいません読み込みを間違えた可能性が今あるなと思ってます。以上です。
4:51:08	ちょっとすいませんましたごめんなさい結構下部の方にいたってことですねすいません途中で何か。
4:51:14	いないかと思ったんですけど後ろの方にフローが書いてあるってことです。わかりました。わかったんで大丈夫です。
4:51:20	あと、こっちはコメントだけなんですけど 470、規制庁館ですけど 170 ページのところで計算書の取付ボルトの評価条件に記載することから削除っていうのはある意味移行したってということで、場所自体見つけてるので
4:51:32	消したんじゃないかなければ移行したって書いていただいた方がわかるのでそこところ考慮いただければというのと、
4:51:37	あと、
4:51:39	473 ページのところなんですけど、
4:51:43	ちょうど中段、中段ぐらいに表が書かれていて、部材と材質と降伏応力と書かれてるやつなんですけど、今の計算書行くと 5 効力とかせっせ係

	数のところだけ消されている気がするんですけど、ここって何か意図ありますか。
4:52:13	少々お待ちください。
4:52:19	成長帯磁率場所を間違えてたらごめんなさい。
4:52:22	日本原燃のサカモリでございます今谷さんおっしゃったのは473ページの下の表ですよね降伏応力とか縦弾性係数とか別のところで表見つけました6ポツ2-179ページです。はい。
4:52:39	すいません。なんか、こっちの規制庁たちなんですけど、
4:52:43	何か、もともとの計算書の現場の微妙にいじられてる気がするんですけど、ここって何か考え方があったっけ。
4:52:54	規制庁館です鳥羽ページを場所にどっかに移行しました理由だけじゃなくて、多少順番が入れ替わってる気がするんですけどそこも何か考え方ができましたっけ。
4:53:04	はい。日本原燃田仲でございます。もともと方針と計算書でちょっと展開の順番とかが違ったところがありまして、それを今回方針に合わせるような形で全修正をしているので、
4:53:16	おっしゃる通り計算書でももっとあった場所がちょっとだけ場所が変わったりとかっていうのが今、あります。以上です。やっぱそうですね。また前に合わせる形になったから正しい順番にやったんだけど、昔

	<p>の家通に並べていこうとすると、消えたのか聞いてないかわかりづらいけど、</p>
4:53:32	<p>基本的に飛ばしましたって言ってないやつに関しては計算書のどっかにあるはずですよってことですね。</p>
4:53:38	<p>はい。日本ベンダーがですね、もともとの作りが悪くて申し訳ありませんでした。はい。その通りです。はい、規制庁タジリで理解しました。いや、何かそうかなと思ったんで大丈夫です。あと 492 ページのところ、こころはちょっと考え方を聞いておきたいんですけど。</p>
4:53:53	<p>今波及的影響評価のところ、補助防護板のずーとかに関しては 11235 ポツ 2 のところの構造概要のところ、飛ばしますよっていう形の整理をされていて、</p>
4:54:05	<p>そこに飛んでっていうの自体を見つけたんですけど、</p>
4:54:08	<p>例えば少し手前のところのネットとかだったらネットの張りつけ展開図とかも計算処理そのまま残してる形になってると思うんですけど、ネットと防護インターだと何が考え方違うんですけど。</p>
4:54:20	<p>日本原燃のサカモリでございます応募ネットの割付図ですね 444 ページから始まるんですけども、こちらにネットの番号が振ってございましてその番号がですね</p>

4:54:32	481 ページから始まるネットの構成とひもづけますので、紐づけを確認するという意味でこちらの割付図は計算書に残すべきだというふうに考えました。以上です。
4:54:44	はい。社長谷です。なんで板の方に関して言うと、代表の3例ぐらいを書いてそれで見てる形になってるので、1個1個の図面ところは構造のところに書いてあれば別に引っ張ってくる必要がないというふうに整理されたってことでいいですかね。
4:54:58	日本原燃のサカモリすみません板野がご説明するの忘れており、申し訳ございません。佐治さんがおっしゃった通りでございます。以上です。
4:55:05	はい。規制庁館です。衛藤他のところは少なくとも移動してること自体は確認できたので、先ほど途中のところでお聞きしましたけど今回経産省等計算方針のところ構成を整理する中で、
4:55:20	計算書に関しても、上上段のところにある今日基本設計方針、基本方針か、基本方針とかの流れについて合わせましたよっていうところで、基本的には記載に関しては移動する形で大きく追求するかっていうと第1回時点においては、
4:55:34	冷却塔のところとか防護ネットのところに、旧仁木して記載する形になっていて第2回以降に向けては引き続き検討してますよとかっていう状況だと思っていいですかね。

4:55:45	日本原燃のサカモリでございます。今田尻さんがおっしゃってくれた通りでございます。以上です。
4:55:50	はい、規制庁田尻です。とりあえず竜巻キーと火山の 00 もちょっとついでにで申し訳ないんですけど、火山の 00 も基本的に同じような指摘でしかなくて
4:56:02	物量的にこちらは全然少ないんで問題はないんですけど、今日の
4:56:07	共通かな、共通 08 か何かのときに瀬川さんに少しお伝えしたんですけど、
4:56:12	要は竜巻等、
4:56:15	今の今回の火山比べると、資料の順番とかがあまり統一されてないし添付の番号の振り方とかも全然違ったりしてるので、そのあたりは精査してくださいねっていうのは伝わってるでいいですよ。
4:56:26	日本原燃の坂部でございます来聞いておりますのでなお、修正していきたいと考えております。以上です。
4:56:32	はい規制庁タジリです。あと、これは火山に対するコメントというか 100 火山の 00 資料の 188 ページのところで、受圧面積の考え方のところで、
4:56:44	これこれこうだからこうしますよっていうところに関してはこっちの方が詳しく書かれていて竜巻が書いてないような形になっているので、そ

	<p>の点を考慮した上で資料としては体裁の方整えていただければと思うんでよろしくをお願いします。</p>
4:56:57	<p>日本原燃のサカモリでございます。</p>
4:56:59	<p>いたしました火山の方はかなり詳しく書いているのでこのように直したいと思います。以上です。はい、きちんとタジリです。</p>
4:57:07	<p>とりあえず、ちょっとすみません今日提出されたこともあって見きれないところがあったらちょっと追加で何かあるかもしれないんですけど。</p>
4:57:14	<p>とりあえず動かしてるところだから抜けてるんじゃないかというところに確認に関しては以上で衛藤。</p>
4:57:21	<p>すいませんこの後ちょっと一路 16の方は、何回もちょっと聞きたいところがあるので、まず、計算値は恐縮ですけど類型化を踏まえた資料の構成の整理という観点で規制庁ばかりからお願いします。</p>
4:57:43	<p>はい。規制庁田尻です。であれば、外竜巻の 16の方に行っていただきたいんですが、</p>
4:57:51	<p>これ原燃からまず、何か説明あればお願いします。</p>
4:57:57	<p>日本原燃のサカモリでございます。外竜巻 16でございますけども基本的に前回のヒアリングを踏まえて例えば 78 ページとかでございますけどもはしがきを防護板の設計に、</p>

4:58:11	設計のところに持ってきましたとかそういう修正をしてございます。最後にですね
4:58:20	100、100 ページ以降ですね、この前ちょっとすいません私の説明も二つで申し訳なかったんですけども添付資料のどこに何が落ちてるかっていうのを、わかるように紐付けの方させていただきました。説明は以上となります。
4:58:35	はい規制庁館です。まず 78 ページからのところでどういうふうにしてやってきたかという認識の確認をしておきたいんですけど 78 ページの、まず冒頭部分において
4:58:46	要はどういう設計を考えながら取付ボルトの設計を評価していくんですよという考え方一番最初のところ三行出されていて、
4:58:54	クボタが脱落しないように板はターンエと板の評価板の評価結果いただく形で教育委員会とか限界値が出てきてるので、そこよりも取付ボルトの破断が早くならないようにしますよという方針をうたった上で、
4:59:06	多分途中のところに書いてあった、2ヶ所以上生きてればいいんですよっていうところに関しては、若干多分位置付けを再整理と言うべきかわかんないんですけど右下 78 ページの一番下のところに書いてあるように、

4:59:20	荷重を考えた上で、基本 1 本あれば大丈夫な形にはなってるんだけどプラスアルファのところを考慮して防護板を、2 個以上耐えるようにしますよっていうのを書かれたんだと思うんですけど。
4:59:30	ここで言ってる保守性っていうことバーに関して一応認識確認しておきたいんですけど、基本的に安全機能を考える上だと 1 本で大丈夫だけれど、
4:59:39	一本の状態だと面内方向に移動する形になっていてで、そこの方向に関しては結局移動しても大丈夫だから、衛藤基本一本で支えることができ、安全機能を損なわれないっていう説明をされてると思えばいいですかね。
4:59:52	日本原燃のサカモリでございます今館さんがおっしゃっていただいたまさにその通りでございます、飛来物は受けとめるという上ではちゃんと受けとめる機能を持ってございますさらに 1 本あれば雑落も防止できるということで要求事項を満足していると考えてございます。
5:00:08	この前のヒアリングでもご説明させていただいた通りですね、自主目的といたしましてさらに改善方向も押しするという意味で保守性、さらなる誘導をして日本というふうに記載してございます以上です。
5:00:23	規制庁田尻です。後で 107 ページ以降のところ添付でどう書くかってところでもうちょっと詳しくはやるんですけど、ここんところの記載も

	若干中途半端d、V1分で支えることができる設計っていうふうには言われてるんですけど、今口頭で説明あったような形で、
5:00:37	支えるだけではなくて面内方向の回転とかを考慮しても安全機能への影響を及ぼすことはありませんよっていうのがいえるから1分でいいっていうところだと思っていて、そうでなければ支えることできるだけで、回転法改訂して、影響及ぼすんだったらそれは多分許容値として満足することにならないので、
5:00:55	そういった点も含めて書いていただければと思うんですけど、101ページ以降のところ添付も含めてか話した方がいいと思うんでちょっとそちらの方で、
5:01:04	内容確認させていただければと思うんですけど。
5:01:08	まず104ページのところなんですけど、
5:01:15	104ページの添付書類の書き方のところになるんですけどすみません00飛ばすこっちで議論して申し訳ないんですけど、104ページのところで、まず、上からP L O H S飛ばして、4行目5行目のところで、
5:01:28	衛藤成功しない共同UCってところがいいんですけどそのあとの取付ボルトの破断により脱落することのない設計とするという形を書かれてるんですけど、この前段の何とかの融資っていう話と、後ののは、破断によ

	り脱落することのない設計っていうのは、別の話のような気がするんですけど。
5:01:44	これは融資かつ取付ボルトの破断による悪化することのない設計というふうな話をしてるのか。
5:01:50	この先行しない強度を有することで、破断する羽田により額脱落することのない設計だと言ってるので言うとどっちですかね。
5:02:01	日本原燃の坂場でございます館さんがおっしゃった前者の方でございまして融資破綻し、すいませんボルトの破断よりも先行しない強度を有しかつ、
5:02:12	取付ボルトハラダにより雑ロックすることのない設計とするが正しい表現かと今思いました。以上です。
5:02:20	はい規制庁館ですこっちの補足資料文言は気をつけていただきたいんですけど、本文でないですよ添付で設計を謳ってるところなのでその辺りはしっかりわかるように書いていただきたいのと、
5:02:31	例えばその次の行を行っていただいて、取り付け部と作用する荷重の種類を考慮して取付ボルト本数を設定しっていうふうに書かれてるんですけど、ここんところ⑤番から持ってきますよっていうふうに書いてあって130103 ページのところ行って⑤番見ると、

5:02:46	<p>ここで書いてあるのって、荷重の種類支持部の配置及び支持部の耐力を踏まえとか、こういう事項は、種類だけじゃないような気もするんですけどここって何かあえて省略してんでしたっけ。</p>
5:03:10	<p>日本原燃サカモリでございます。確かに5番と見比べると省略されてますのでこういった支持部の配置とか支持部の耐力といったことも、</p>
5:03:20	<p>考慮の上ボルト本数を決めるということになりますのでちょっと申し訳ございません記載が妥当ではなかったかなと考えてございます。以上です。</p>
5:03:29	<p>はい規制庁タジリです。</p>
5:03:31	<p>あと、同じ文章のところについてなんですけど、例えば105ページのところ行って、文章のウ、六、七行目行くと、飛来物の衝突により取付ボルトで作用する荷重の種類を考慮してここも主になっちゃってるんですけど。</p>
5:03:43	<p>今度はボルト間人及び本数を設定するという形になっていて、さっきのところはボルト本数でこっちはサイズが増えてで、かつ、自分の認識だとボルトの本数とサイズだけじゃなくて、ここを踏まえて距離も設定してると思う。</p>
5:03:58	<p>ているんですけど、要は</p>

5:04:00	<p>何まで設定するっちゃう話なのかが若干、場所によってまちまちで何か認識が違うような気もするんですけどここって結局何の設定の話を言いたいんですけど。</p>
5:04:16	<p>日本原燃のサカモリでございますちょっとここ黄色と緑がすごいからこれちょっと申し訳ないんですけど、黄色の二つ目の一定間隔に配置することを基本とするというのが基本的にスパン感覚のことを意図してございまして、</p>
5:04:31	<p>その後ろの緑のところはVの仕様を設定するといった意味でちょっと記載の方書き分けているのが現状でございます。以上です。規制庁と技術自分の人が一定感覚っていうのを謳ってるのは認識してるんですけど、</p>
5:04:45	<p>1.3メートルとか1.7メートルとかの話があって、使い分けてるような気がしたので、</p>
5:04:52	<p>ちょっと今種類としか書かれてないですけど種類とか荷重とかを考慮した上で、それでしかも配置とかも考慮した上で、距離も調整するのかなと思ったんですけどあれは違いましたっけ、すみませんちょっと僕の記憶が定かじゃないだけなのかもしれないですけど。</p>
5:05:13	<p>日本原燃のサカモリでございます。確かに佐治さんがおっしゃる通りです。ねそのボルトの仕様によって距離も変わるという面がございますただそれを込めてちょっと今我々、</p>

5:05:23	一定間隔の一定にちょっとその意味をちょっと含みを持たせてしまっ たので、ちょっとわかりにくい。
5:05:31	規制庁コサクです。まず、
5:05:37	1点だけに集中してポール等設置したのでは、その部分にあたっては
5:05:44	当たると落ちちゃう可能性があるっていうようなことがあって、まず複 数箇所離れた場所で固定するっていう思想がまずあり、
5:05:53	で、
5:05:54	剥がれるにしてもう、応募板の
5:06:02	強度
5:06:04	よりも弱くならないようにというところでその感覚を、
5:06:09	間隔以内におさめるという設計思想になってたと理解をしてたんですけど、 それがその二段階あるのが、一定間隔っていうのに集約させすぎて るような気がするんですけどいかがですか。
5:06:30	日本原燃のサカモリが今コサクさんがおっしゃった通りですねちょっと 一つの言葉にかなりの意味を持たせて持たせ過ぎてるかなと今考えてい るところでございます以上です。
5:06:42	はい。補足です。それで二段階書いてくればよくてあと、一定ってい う言葉が、1っていう数字がまたあれなので、
5:06:52	今の意味合いがわかるように、その感覚。

5:06:58	以内で設置する、配置するみたいなふうには、
5:07:02	いいような気がするんですけどね。
5:07:07	日本原燃のサカモリでございます今、ご助言いただいた通り、まさしくその通りかなと思っております以上です。
5:07:19	はい。市長ですコメントありがとうございます趣旨同じなのでせっかく補足のところで流れをもってとりあえず、
5:07:27	2種類荷重を考えなきゃいけないで、当たった瞬間のやつの話と、あと変形による影響のところっていう形なので、目的がそれぞれある話だと思うので、まとめて書くと、そのことについて説明してるかどうかちょっとわかりづらくなってしまふところがあると思うので、
5:07:41	目的とそれに対して何をするのかというところがわかるようにしっかり書いていただければというところをお願いします。
5:07:47	あと、ちょっと104ページ戻っていただいて、すみませんちょっと自分が見つけきれなかったんですけど104ページの1巻16で矢印で8に飛ばしてるんですけど、
5:07:57	8ってどこでしたっけ。どこっていうのは添付のどこに飛んでいったんでしたっけ。
5:08:09	あ、ごめん。

5:08:10	日本原燃のサカモリでございます 8 はですね 104 ページのフロー図があるかと思うんですけれども、普通に防護ネット支持学校の設計っていうのは
5:08:19	左のなんすか流れに刺さってくるところがあるかと思うんですけどその刺さるところを指しております。以上です。
5:08:27	成長館です。これ支持変な話とかってこのフローのどこで読めばいいんですよねはい。はい。
5:08:37	規制庁館です外間で 16-8 で囲われているところで、防護板の割りつけの花 C はでは何かわかったんですけど、
5:08:46	指示は可能な限り確保する方針として、衛藤地域（1）から僕は板野周辺を決定するっていう話も、
5:08:53	これで読める。
5:08:55	ですかね。ちょっとすいません。どう読めばいいかわかんなかったっちゅう意味も込めて、どこ行ったんでしたっけって聞いたんですけど。
5:09:04	コサクですけど、フロー図ではここを示しますってのはそれはそれでいいんですけど、今、田尻が言ったようなことの方針が文章として見えな
5:09:14	いですよねっていうことじゃない。
5:09:14	そっちもそうです。ありがとうございます。谷井です。

5:09:20	日本原燃のサカモリでございますすみませんちょっと大きく作り過ぎて るのを今か、理解いたしました確かにここは
5:09:28	ネットとか支持架構の設計からちょっと流れてくるものじゃないのです いませんあの文章中の記載が必要なところかなというふうに考えており ます。以上です。
5:09:38	規制庁谷です。ちなみに、若干個人の画像入っちゃってる可能性があり ますけど、添付は別に何かいちいち省くこと一生懸命考えるよりもかく も変えちゃった方が早いと思いますよあのすごい制約を受けるわけでも ない文章だと思ってるので、
5:09:53	何かこの部分で集約してっていうよりも、書いた方が当然わかりいいと 思うので、その点も含めて何か集約しました削りましたんでなんか要ら ん手間がかかっている気がするのでご検討いただければというところで す。
5:10:06	あと、すみません追加で 105 ページのところ、
5:10:11	添付の下から 6 行目ぐらいところからなんですけど、
5:10:15	1007 行目からな。なお支持架構に対する設置スペースの制約がある場合 は取付ボルトに必要な体力に配置、配慮した上で複数本の取付ボルトを 集約して配置するという話がかかれてるんですけど、
5:10:26	ここの集約っていうのは、どこの話を言ってるかなんですけど、

5:10:30	これ別に設置スペースの制限がなくても、6本8分集約して取ってる気がするんですけど、この集約って、離隔距離の話ですかね。
5:10:43	日本原燃のサカモリでございますここ支持部の話ですので先ほどのタジリ6本八本の話になります。以上です。
5:10:51	規制庁館です。その場合設置スペースの制約がある場合は集約して配置するって言うんですけど、
5:10:58	スペースの制約がなかった場合は集約しないんですけど。
5:11:05	日本原燃田中でございます。次回の申請設備にはなるんですけども、飛来物防護盤ダクト特化式と守っている合図に関しては、もともと板を取りつけるっていう前提でやっていてそういうスペースというのは、
5:11:20	確保するように作っているんでこの今回の飛来物5ネットのように固めて、ゴールドを取り付けているっていうことではなく4辺に対してのボルトを一定間隔で取り付けているような構造としております。以上です。
5:11:37	成長谷です。すいませんちょっと自分の認識が合ってるかどうかなんですけど、右下104ページのところの、ちょっと竜巻16の記載の9番ところに書いてあるように、

5:11:45	何かスペースが制限されるってだから一番上のところで書いてるからってことですかね。A B ネットに関しては、衛藤CMのHSが制限されるから。衛藤。
5:11:57	支持架構の継ぎ手の取付ボルトの配置を参考としてっていうところなので、要はここんところで設置スペースが制限される場合だからこういうふうにしたんですよってというのが読めるからってことですかね。
5:12:10	うん田仲です。趣旨としてはその通りでございます。
5:12:14	はい、規制庁タジリです。
5:12:19	これ、スペースが制限されてないところってというのは基本的に防護板に関しては防護ネット防護ネットにくっついてる防護板に関してはいなかったってことでいいんですかそれとも
5:12:28	制限する必要がなくて普通に話してるやつもどっかにまじってたんでしたっけ。
5:12:36	宮永すいません。もう一度お願いします。規制庁館ですすみません言葉走りました要は今ほぼ防護ネットにたくさんクボタがくっついていて、基本的には全部6分8分で閉じてってというような形だと思ってるんですけど。
5:12:49	先ほど話に出てきたのは楽とかをやってるやつでも多分でかいやつところでスペースがあるからっていう話だと思うんですけど、今回のネッ

	トにおいて、同じようにスペースが確保できるから6分8分でつけてないですとかってやつも存在してましたっけっていうのが質問です。
5:13:05	日本インター仲です今回の申請している飛来物防護ネットではすべての防護盤はスペースの制約を受けており、集約したボルトを集結させた状態で取り付けております。以上です。
5:13:20	規制庁田尻です。このスペースっていうのがいかほどのもんかちょっとわかりきってないところがあるんですけど。
5:13:27	これ4点閉じることができるよへんツアーをつけることは郡つけることができないであるとか、短辺の長さが短いからとかそういう理由のことですかね。
5:13:39	三菱後藤青井でございます。衛藤。
5:13:42	104ページのところにも書いてございますけれども、基本的な支持架構に対してまず防護ネットをまず取りつけるというのが設計方針としてございますのでそういう防ネットを取りつけるための座であったりとか、
5:13:53	学校の一連接盤のところであったりとかそういうところのもろもろ干渉物がございましてそういう制限のもと、防護盤を取りつけるスペースっていうところが制約されるということでございます。以上です。

5:14:05	規制庁館です。なんでインター自体の草というよりはそこに据えつけようとしたときに、周りの設置場所自体の周りに邪魔なものがたくさんあるのでっていう形になっていて、
5:14:16	ひょっとしたら運よくできる場所があったかもしれないけど、基本的にはもう統一的にそういうふうな形でやってきましたってことでいいですかね。
5:14:23	三菱城高城です。ご認識の通りでございます。
5:14:26	はい規制庁タジリつ状況はわかりました。
5:14:30	すいません 105 ページのところなんですけど、
5:14:34	今 A ポツ B ポツっていう形で書かれていて、ちょっとすみませんこの前段の文章の中略のところはどなたか動いてないんですけど、これ飛来物防護ネットにぶら下がっているようにも見えるんですけど、
5:14:46	ここっていうのは、某プリンターの文章の中にぶら下がってるから、先ほどお話あったダクトの部分みたいな話もここに含まれるという話でしたっけ。
5:15:06	北出水道わかるので少々お待ちください。
5:15:22	規制庁館です検討されながらいいんですけど意図としては、ここが防護ネットの防護みたいな話だとすると、

5:15:28	今ちょっと他のFの冷却と運動顔とかネットが違うとかっていうのあったらまたちょっと面倒くさいんですけど、先ほどおっしゃられたように干渉物が多い等の状況を考慮して集約して設置する集約してVう。
5:15:42	を配置することを基本としていますっていうのが、考え方のような気もするんですけど。
5:15:47	何か、この場合はっていうのが、要は例外的な記載が書かれてるんですけど、例外があるのかがちょっとわからなかったので説明をお願いします。
5:16:00	日本原燃のサカモリでございます。ちょっと先ほど田尻さんがおっしゃいましたが、Fの防護盤の通りつけ方がちょっとB、4B竜巻とはちょっと違ったはずなので、そういう意味でちょっとなお書きの方させていただいているというのが趣旨になります。以上です。
5:16:15	規制庁田尻です。Fが違うんですね。次、これFって何が違うんですか。でかいんですけど。
5:16:23	日本原燃の坂場でございますちょっとFまでまだ詳細な図面見えてないんですけども構成枠次の防護ネットをちょっと思っていたいてネットの代わりにその上に板を溶接止めしたような、
5:16:38	設計をしているというふうに今聞いております。以上です。
5:16:44	規制庁田尻です。

5:16:46	要請。
5:16:48	ちょっといずれにせよ何か違うことをやってることは認識したんですけど、
5:16:53	何かせつかく典型的に整理していきましょうねって議論横にやってるところで何か次から次へと微妙に違うんですってやられると、何か整理が面倒くさくなるんですけどとりあえず今の現実としてそうなってるってことですね。
5:17:05	例会は、この先々にこそやつも存在するので、文言としてこういうふうな形で書かれてるということで一応理解いたしました。
5:17:14	あと、規制庁タジリです。105 ページでついでにちょっと確認しておきたいんですけど、
5:17:20	V サイズとか本数のところで 10102034 というふうな形で書かれていて、
5:17:25	ここは
5:17:29	これ、経産省とかのところで述べてるという話ではなくですから 12 ページ 13 時間と⑫⑬⑭ってというのが、109 ページ以降のところでもポツポツ多分書かれていて、

5:17:41	今経産省のところで、経産省がそのちょっと方針だったか定かじゃないんですけど、Vのつけ方の考え方とか要は評価の代表性人みたいなやつと書かれてるんですけど、
5:17:52	ここところで 102034 号 V サイズ及び本数を設定するってとこだけで全部受けてるっていう整理でいいんですけど。
5:18:04	規制庁館ですけど特に 114 ページとか⑭というふう飛ばしてるやつで、まんまに多様なさっき 00 のところで見たとような気もするんですけど、あそこは基本ケースしかうたってないからということですかね。
5:18:28	日本原燃のサカモリです。今、現状としては 114 ページで、第 2-5 表で示しているようなものは落ちてないのが現状かと。
5:18:40	思っておりますただいまそで今それを載せるべきかどうなのかってのはちょっと同時に考えてたんですけども、ちょっとすいません答えがなくてですね、ちょっと評価に影響する、もちろん
5:18:52	そうか、解析の条件だな。
5:18:54	入力パラメータの一つになりそうな気もするのでちょっとその辺確認して、解析条件の前提になるのは載せるべきだと思いますしちょっと違うなら、
5:19:05	現状のままなのかなと思っております。以上です。
5:19:09	はい。規制庁田尻です。

5:19:12	少なくとも、
5:19:14	耐荷重まで全部書かなきゃいけないかというところでもない気がするんですけど、代表とする板野はなCを多分計算書に書いてたと思うんですけど明後日、
5:19:25	ボルトの径とか本数書いてないでしょ、今。
5:19:28	ちょっとさらにページがすぐ見つけれないんですけど、
5:19:33	日本原燃のサカモリちょっと当該ページ探すので少々お待ちください。
5:19:40	日本原燃のサカモリでございます竜巻 00-278 ページですかね。
5:19:49	ここに、きっと大丈夫だから書いてありますよねここに、何かこれ書いてるから、別のところで受けてるんですけどっていうのを普通に言えばいい気がしたんですけど何かここだけで受けてるっていうふうに言われると、
5:20:00	105 ページで受けきれない気がしたので一応質問だったんですけど。
5:20:07	日本原燃の坂上がすいませんちょっと耐荷重とかが載ってなかったんでそのまま載ってないということでちょっとすみません、紐付けてなかったんですけど随分わかる仕様になってるかと思しますので紐づけするよりにいたします。以上です。
5:20:20	規制庁丹治です。完璧にここが紐づくかっていうと、M33 条の 3 の 8 本の⑥のケースであるとか、基本研修のところの、

5:20:31	<p>ているけれど多分微妙に違うやつを持ってきてると思うんですけどこうい う考え方は別のところで読みますよ。特に 113 ページの方ですかね。</p>
5:20:40	<p>一応、今面倒くさいとコメントしないですけど、このサトウ竜巻 16 と か、テンブの喜多伊井、多分古いやつで比較されたりするので、</p>
5:20:47	<p>多分、今の点ピクトとかちょっとタツノ 26 の本体の方を見ていくと、 多分新しい記者になってるんで今言わないですけど、比較されるときはち ゃんと新しいやつで比較された方がいいですよってのは一応これすいま せんコメントまでです。</p>
5:21:02	<p>はい。日本原燃のサカモリでございます。いろんな作業を同時並行で進 めたのでちょっと申し訳ございませんでしたこの辺ちゃんと綺麗にして またお出ししたいと思います。以上です。はい、塩谷です。それを踏ま えたやつをやれば、どこに鳥羽ってのがもっと明確になってくような気 がするので、</p>
5:21:17	<p>そうすることで補足で示したようなやつっていうのはそれぞれ細かな計 算とか、さっきの面談方向の回転とか動向とかの考え方の、本当補足で いいようなやつは別として、読めるところ読めるようにしてあるんです よっていうふうに持ってける気がしているので、</p>

5:21:32	その点も踏まえた上でちゃんと添付に書いてるんですよって書いてもらったほうが、なおいい話だと思ってるので、その点踏まえた上で資料作っていただければというのが一つと、
5:21:41	あとすいません、小高は 121 ページのところなんですけど、
5:21:47	さっき添付の 9 に少し議論しようとしたやつなんですけど、
5:21:52	許容限界のところなんですけど、
5:21:56	あれ、ここって古いですかね。
5:22:03	里竜巻の、
5:22:05	例えばそっか、背負子だ 121 ページのところ、添付のところだと保守性を考慮してってすごいざっくり書いてあるんですけど、
5:22:15	なんか 121 ページの、ちょっと竜巻 16 の方がまだしっかり書かれてる気がしていて、
5:22:21	なので、江藤、ちょっと今の記載だけだと微妙なところだとあると思うんですけど、許容限界の一つ目のプラント高で波及的影響を与える恐れはないっていうところで、このため、日本でも衝突する。
5:22:32	もうそれはないけど、補正を考慮して、何とか補正を考慮してやりますよとで、なお、取付ボルトが 2 本あれば、面内方向の改善をすることが可能な設計となっているとかっていうふうに謳ってもらえれば、

5:22:43	<p>どういう設計にしてるのがわかると思うんですよ。そこを今 121 ページ保守性っていう言葉だけで書いてるから、</p>
5:22:50	<p>保守性って何の話っていうのが多分わからなくなっていて、</p>
5:22:55	<p>ちょっと端折リスってはしょって言い過ぎた気がするんですけど意図を少し伝わってますか。</p>
5:23:01	<p>日本原燃のサカモリでございます要するに外竜巻重量がかなり綺麗にというか、丁寧に書いてあって、それが申請書等かなりざっくりなっちゃってるので、そ竜巻 16 の内容を綺麗に何て言いますかねトレースしたような記載を、に修正した方、修正すべきというお話かと思っております。以上です。</p>
5:23:21	<p>はい。規制庁館ですまんまそのままやらなくてもいいですけど毎回迷ったって意味だと竜巻 16 の方がしっかり書かれてると思います少なくともその設計の目的が、16 の方がわかる形になっていて</p>
5:23:36	<p>多少言葉補った方がいいところとか補っていただければと思うんですけど、今 121 ページに書いてある添付の記載だけだと、</p>
5:23:43	<p>保守性をとっていう形になってるんですけど。</p>
5:23:46	<p>意図がわかりづらいので考え方変えてくださいってのが趣旨なんでそこだけ考慮してやっていただければと思います。</p>

5:23:54	はい。日本原燃坂部でございます保守性という言葉ですねもう少し綺麗に、丁寧に書き下したいと思います。以上です。
5:24:02	はい。規制庁田尻です。
5:24:05	で、
5:24:06	もう1点なんですけど拘束条件の花C119ページとかのところで先ほど添付のほうの0時の時ですかね、記載直しますよとかっていう話で冷却塔の方もって話あったんですけど、
5:24:18	補足資料として拘束条件の説明って耐震と補ってないんですけど。
5:24:23	本文添付本部じゃない。伝票っていう意味だと何かこれぐらいの記載だったような気はするんですけど、耐震の場合だと、地盤の接触面と此花Cで拘束条件を説明した気がするんですけど。
5:24:36	補足でもうちょっと説明してませんでしたっけ。
5:24:59	城戸谷井です。
5:25:03	すいません日本原燃の蝦名です。藤ちゃん。
5:25:06	これ作る時にですね耐震側の方の資料も耐震関係者から確認を取って作ってまして、このような記載だったというふうに記憶してるんですがちょっと今、すいませんいないんですが、
5:25:21	規制庁館です。僕が言ってるのは添付の記載がちょっと119ページ古いんで00の方で書かれてるやつでまだ足りないとかっていう話というよ

	<p>りも、別途補足資料としてモデルにおける拘束条件の設定に関する補足つけてたような気がしたんですけど。</p>
5:25:37	<p>ちょっと僕も毎回出てるわけじゃないんで、認識違ったら申し訳ないですけど、日本原燃の阪本でございますここを見るときです。耐震の計算書を見てちょっと同じ記載レベルになるようにちょっと修正したんですけども大変すいませんちょっと補足までちょっと日に行っていないっていうのが実態でございましてちょっとそこは確認してまた、</p>
5:25:54	<p>対応の検討させていただきたいと思います以上です。</p>
5:25:59	<p>規制庁深見です。今、話をしているところって画面に映してもらってるところですか。</p>
5:26:14	<p>日本原燃のサカモリでございます。外竜巻 00 の 229 ページのお話かなと思っておりました。</p>
5:26:24	<p>規制庁館です。僕が言ってるのはそれさっき映ってたところは古いやつと比較しているので、そもそも添付の記載がよくないので、そこは無視していただけると</p>
5:26:34	<p>229 が添付に書かれてるのはいいんだけど、別途補足もあったんじゃないでしたっけというのが質問だったんで指摘等あったらお願いしますかねさ。</p>

5:26:45	はい。規制庁神です。多分、添付の書きぶりとしてはこんなもので、何かまたばお金かかっちゃいましたけど、229 ページから、
5:26:56	拘束条件がなんかさ、相馬様はピンでやりますよとかそんな話ぐらいで、補足でも田尻さんが言っている補足の地盤との接触面とかっていうよりは、どちらかという対新規で 27、
5:27:13	を見てもらえればと思いますけど、それもまだこれから精査中なんですけど、こういうプロセスでやりますよと言ったことに対して具体的にどういうふうな、
5:27:24	設計なりをしているのか、やり方を、具体例をもって説明をしてくれというのは耐震規定 27 で今整理をしてもらっているところですからそこ等、話を聞きながら、フェーズを合わせてってということで、
5:27:40	行けば大体テンションがあるのかなと思います。以上です。
5:27:46	規制庁田井ですありがとうございます。建物の方がさっき見ちゃって佐々木前の方が正しいですね今指摘あった通りだと思ってるので、耐震の方で検討してることも、
5:27:56	今回、取り急ぎ、本部で固めていきたいと思いますという断面だとある程度固まってきてると思ってるんですけど、補足という意味でいうと耐震でも議論がまだ続いているように竜巻の方でも足りない部分あると思ってるので、

5:28:09	そういった精査を続けられるものかなと思ってはいたんですけど、原燃の認識はそこは合っていましたかね。
5:28:20	日本原燃のサカモリでございます解析モデルの妥当性説明という点では引き続きご確認いただく必要があるのかなと今考えてございます。以上です。
5:28:31	規制庁谷です。
5:28:33	一応、今日の時点っていう意味でいうと、添付に関わるのところまでしか指摘しないので、補足の文言綺麗にしましょうとかもうちょっと記載、記載とか図とか綺麗にとかっていう話は、
5:28:44	よと思ったなら幾らでもいえるところなので、あくまで添付固めるところまでしか今時点最近議論してないと思っているので、何か今日あったら、今日あったような添付の記載終わったらもう全部終わりましたっていう形で言うかと。
5:28:58	言うと、タツモは出してもらう形になると思うので補足の議論はある程度、のみでしていくことになるということは認識していただきたいんですけど大丈夫ですかね。
5:29:11	日本原燃の阪上でございます田井新規で27というちょっと見本ケースもあるということをちょっと今この場で認識いたしましたので、その内

	容も踏まえながらちょっと補足説明資料をまた作成していきたいと思 います。以上です。
5:29:25	規制庁館です。認識があったすいませんコサクです。
5:29:28	粗相の中でちょっと気になる。
5:29:31	てるんですけど、耐震 27 だったり、今の話だったり、いつぐらい の資料提示で内容確認するつもりなんですか。
5:29:41	規制庁館です。来週には確認したいと思ってました。
5:29:53	規制庁、耐震基準 27。
5:29:57	の、
5:29:58	スケジュール。
5:29:59	今原燃側っていえる人はいます。
5:30:02	言えなければカミデさんの認識をお聞いてって感じですけど。
5:30:06	日本原燃の蝦名です。先ほどの最後のまとめのところで、来週という話 をしてたと思っております。
5:30:17	なので、こちらの竜巻のやつも同じように、多分同じ来週ぐらいでって いうことになろうかというふうに考えてございます。以上です。
5:30:29	規制庁小阪です同時期にやられるということで理解をしましたが、か みさん来週ってというのは、何日のことをいう。
5:30:40	カミデです。

5:30:44	ちょっと曖昧ではありましたがそ月曜日とかではなくてもいいのかなってイメージではありました。基本的にやってることは確認できているので、27としては
5:30:57	プロセスの妥当性を説明するということですからその辺り、整理をしてもらえればということで、
5:31:06	来週中であればいいのかなという考えでした。
5:31:15	あれですかね、来週中で9日、
5:31:19	には出てくるってということ、8日ぐらい。
5:31:29	日本原燃の蝦名です。申し訳ないですが他の作業とかもいろいろあるの でちょっとここのカーぐらいを目指して、
5:31:38	提出させていただきたいなと思ってございます。以上です。
5:31:44	規制庁草刈です。状況はわかりました。
5:31:49	あれですかね
5:31:53	藤カミデさんの話だと、プロセスの確認とかはでき、
5:31:58	基本はできていてそれを補足するんだということ。
5:32:02	でしたけど、
5:32:03	タジリさんの理解も同じでいいのか、

5:32:08	そのワンクッション何かっていうことであれば、56 辺りに何か出しても らった方がっていう気もするんだけど、どんな感じなんですね、規制庁 タジリです。そういった意味で曾田椿の 16 から 16 とかのところで
5:32:22	何ページかちょっと待ってくださいね。
5:32:27	94 ページとかのところで、モデルってこういうふうに組んでるのでおか しなところになりませんよという説明を受けてきていてそこまで外れな いと思っているところなので、他方で先ほど亀井さんがおっしゃられた ようにモデルどういうふうに使ってたのっていうところの考え方で何 か、
5:32:43	他がつけてる中でこいつつかない理屈はないかなというところがあった ので同じような並びでってというのが趣旨でした。
5:32:50	はい、古作ですわかりました。じゃあ元の対応よろしくをお願いします。
5:32:56	はい。表現のエビナです承知いたしました。
5:33:00	あ、規制庁カミデつ区は、一応念のため言っておきます先ほど酒巻さん かな、言われたモデルの妥当性の説明を、
5:33:10	補足でしますって言ってましたけど私が言ったように、設計プロセス を、の妥当性であったり、その設計プロセスに従って、

5:33:25	原燃がこうやってモデルを妥当する妥当性確認をしているっていうさまをですね、ちゃんと見せて欲しいって言っている資料ですからその点を勘違いしないようにお願いします。モデルの妥当性は、
5:33:40	耐震は耐震でも話を当然聞いてますし、竜巻も同じだとは思ってますので、ちょっと認識違いがないようにお願いします。
5:33:54	日本原燃の佐古でございますすみません毅然、27ですかね、ちょっと資料読んだことなかったのでもっとすみません内容理解せずに話して申し訳ございませんでした。今野カミデ千賀。
5:34:04	中身ちょっとご説明していただいていたってちょっと中身を正しく理解してないのを理解いたしましたので、記念大使 27 見てその内容と同等のものを用意したいと思います。以上です。
5:34:16	はい。規制庁加来です。それで言うと、今時点の 27 を見てもあまり根拠にならなくて、昨日付、今日のスタッフのヒアリングでどんなことを話したのかって、特に石川さんとかはこういう対応しますと。
5:34:30	イメージを持ったという話をされてましたからそこで一緒に話を聞いたりすればいいんじゃないか。
5:34:36	よろしくお願いします。
5:34:41	日本原燃のサカモリでございます耐震のその議論の場に入っていってちょっと資料の方向性を確認していきたいと思います以上です。

5:34:51	はい。規制庁加茂ですよろしくお願ひしますあと耐震の人だけでっていうよりは関係する人ってちゃんと認識を合わせて進める方がいいと思ひますので
5:35:02	そういうところに参加してっていうことを
5:35:05	ただし、プロセスかなと思ひます。よろしくお願ひします。
5:35:14	はい。新城タジリです。サトウございます。
5:35:18	ちょっとすいません。あれ。
5:35:20	ちょっと1ヶ所あった気がするんですけど少し参加させてください。
5:35:28	規制庁館です。ちょっとすみません、資料がどこだったらぱっと出なくて恐縮なんですけど。
5:35:35	ちょっと00の資料のはなCになってしまうかもしれないんですけど、国会座屈拘束ブレースとカーの図面とかって何か落とされてましたっけ、あれっていうのは、油圧面積の図面だけでしたっけ落としたのって。
5:35:53	違うな。規制庁館です。ごめんなさい。メモを雑面積のところだったんで大丈夫でした失礼しました。
5:36:00	藤記者長館です。一応、自分の方から、竜巻と火山関係、ちょっと駆け足になりましたけど抑えたいところは以上なんですけど、原燃のし特に

	16 の影響を受けたところの記載に関しては見たいと思ってるんですけど、
5:36:15	スケジュール後で聞くのでちょっとどれぐらい作業できそうか今横で検討していただければと思います。規制庁が竜巻、火山はすみませんちょっと細かな精査はこれから自分もするところなんすけど火山も含めて何かあれば形状からお願いします。
5:36:38	規制庁田尻です。なさそうなので、原燃側から振り返りお願いしますー応 19 時 20 分ぎりぎり終わりそうな感じだと思うんでよろしくお願いします。
5:37:02	続いておタジリですけど原燃聞こえてますか。
5:37:06	少々お待ちください。
5:37:08	日本原燃の坂部すみませんちょっとバタバタしました。
5:37:11	まずサトウ竜巻 00 ですけれども、
5:37:17	ちょっと細かいところでやっぱりちょっとまだ一対一になりきってないところが何点かご指摘をいただいたと思いますのでそういうところの精査を引き続きしていきたいと思っておりますのとあと、
5:37:30	参考資料の記載のところですねちょっと火山の方は大分来丁寧に書いてたりするところがあったりしたので、そういうところをきちんと鳴らしていきたいなと思っております。

5:37:40	あと竜巻 16 はやっぱり大きいところとしまして添付書類への
5:37:47	流れですねそこがちょっと今かなりずっと要約してるといいますか、集約しちゃってる記載になってますのでもうちょっと丁寧に書き下してちゃんと
5:37:59	どういう配慮をしているかが見えるように記載を修正していく必要があるといったようなご指摘があったかと思imasのでそういうところを対応していきたいと。
5:38:07	考えてございますあとは、最後にございました解析モデルに関する補足説明資料ですね、記念耐震 27 を、と一緒に今後作ってドライ集中の提出を目指していくと。
5:38:20	いうことかと思っております。以上です。
5:38:24	規制庁館です。補足は別に来週で構わないんですけど
5:38:30	さっき言った曾田津野議事録を踏まえた、添付等各科の話は早くしたいんですけど、そこはスケジュールの中にでしょうか。
5:38:37	来週って何か原燃のスケジュールからいうと、補足はいいかもしれないけど店舗は駄目だと思ってるんですけど。
5:38:54	日本原燃の海老名です。
5:38:58	明日ですね、1 日のうちに私、内田嶋出したいと思imas。

5:39:06	はい。規制庁田尻です。できるだけ早目に終わればこっちもできるだけ早めに確認しますので、
5:39:13	ちょっと2日自体は予定埋まってる可能性があるんですけど何ヒアリングするかどうかちょっと資料見て確認したいと思うので、なるべく早めに出していただければと思うのでよろしくをお願いします。
5:39:26	はい。日本原燃のエビナです承知しました。
5:39:30	はい。規制庁館です。現在教訓をこれで全部でしたっけ。
5:39:37	はい。日本原燃中浜でございます。はい今日ご確認いただきます。
5:39:41	資料は以上となります。ありがとうございました。
5:39:44	瀬田です。すいません。江藤社長が原燃側で何か他に確認したいのであればお願いします。
5:39:52	日本原燃原田です。ちょっと先ほどすごい中途半端になってしまいましたけれども、耐震
5:39:59	関係でいうとあれですね地震0001バーンのところで、竜巻ネットの隣接影響、
5:40:07	どういうふうになってるんだというところのちょっと紹介を、
5:40:12	もしお時間よろしければ改めてさせていただきたいと思えますけれどもよろしいでしょうか。

5:40:19	規制庁神です。耐震のメンバーは私しかいないですけどとりあえず言ってもらえばいいですよ。はい。
5:40:26	私が紹介したのは11月25日提出のR20番の資料で言いますと、288ページですね、今画面共有して、
5:40:38	しておりますけれども、そこの別紙4-30です。
5:40:42	こちら工事会のことも含めて一旦は竜巻対策設備として、隣接影響評価、これ添付書類で、
5:40:53	目次を起こしています。
5:40:56	ですねこれハッチングしているのは、今回第一グループでは、
5:41:01	冷却水B、A4Bのネット、これについては発足で、隣接影響を評価した結果、すごい。
5:41:11	民設影響を考慮しない方が保守的であるということの確認ができましたので、
5:41:18	今回は計算書としては記載しない。
5:41:21	欠番とすると。
5:41:23	そういったことを、ちょっとここで紹介させていただいたと、いうことを先ほど口頭で説明した次第でございます。
5:41:32	説明は以上になります。
5:41:37	はい。規制庁上出です。

5:41:41	何。
5:41:43	とりあえず行っている場所のことはわかりました。で、手当が必要だと思うのは、隣接建屋に対して、
5:41:54	どういう評価をするのかというのが、今、耐震設計の方針でどう書いてあるかっていうと、
5:42:03	多分
5:42:05	今日の金最新版、昨日の晩ですかね R21 から、
5:42:11	で言うと
5:42:14	多分やりますって書いてあるぐらいなんです別紙 4-16 であったり、 いろんな 17 であったりでも、やりますなんですけどそこもちょっと多分書いて、
5:42:26	何だろう。
5:42:28	今回のネットに関しては明らかに保守性があるということを確認できるから、この、
5:42:41	して資料というか計算書は使わないよと、ということなんでそういう場合も含めて、隣接影響評価なんだと、というようなことがわかるような、
5:42:53	設計の方針だと。
5:42:56	いうところを示さなきゃいけないって、それが示してあり、その結果が、 ネットについてこうこうこうだというものが読めれば

5:43:09	ネット自体の隣接の計算も不要で、
5:43:15	あとは感知器のところも不要だというのがわかるんですけど、そういう手当をイメージしてますが、事業者はイメージ作りましたか。
5:43:25	はい。日本原燃原田です。今上手さんからご紹介いただいた通り方針の方は隣接のところ、検索かけるとですねやはり
5:43:35	影響、何ていいですかね、隣接影響を適切に考慮しますとか、そういった文言しか出てきておりませんので現状、
5:43:46	なのでそこにもちょっとプラスしてですね、
5:43:50	別途そういう、明らかに保守性が確認できているときには、ご報告するといったような文言をちょっと追記してですね。
5:44:01	我々の整理はどうしたかっていうのは明確になるように手当したいと思っています。
5:44:08	以上です。
5:44:11	はい。規制庁神です。こういう場合はやりませんということを書くというよりは
5:44:20	何て言うんすかね目的というか、こういうふうを検討しますと。
5:44:25	ということで大枠を言っておいて、ってというのが
5:44:29	4 の、

5:44:30	16 だったら 40 名の手当で、評価の結果が、ちょっと難しいどこに書くかは難しいような気がしますけど、今、場所としてあるのはやはり
5:44:43	ネットの計算書の方ですね、そこで藤大戸計算書の方がいいのか、その最後とかで最後だったり、
5:44:54	モデルの説明のところなんかで
5:45:00	面接のものも含めてこれで話ができるというところを書いておくっていうところかと思いますのでちょっとその辺りも、明日、浅井菅地区回り明日 C、C として、
5:45:14	用意するっていうことでしたけどちょっと加えてその部分も見たいので、用意いただければと思いますが、よろしいですか。
5:45:24	はい。日本原電ハラダですそうですね。
5:45:28	ええ。はい。
5:45:30	大戸計算は、用意できます。
5:45:34	あと、
5:45:35	モデルの説明のところに行って、
5:45:38	おっしゃってましたけど、これもあれですかね方針のどこかでっていうイメージ。

5:45:44	かなと私ちょっと認識したんですけれども、それで合ってますでしょうか。そこの説明のところに何か記載するという感じかなと思いました。以上です。
5:45:55	規制庁亀井です。後半がちょっとよくわからなくてBC幾つのお話をされてました。
5:46:02	はい。日本原燃原です。別紙の4、4の、ちょっとすいません枝番が、
5:46:09	ちょっと出てこないんですけれども、別紙4の計算書のところですね。
5:46:15	計算書とあと、
5:46:17	モデルの説明も、17でしたかね、その辺、
5:46:21	の、
5:46:24	説明のところ、ここに
5:46:28	何かしら隣接影響、
5:46:31	の、何て言うんすかね。
5:46:35	今回のように、なんか別途確認した場合はこうするといった記載を追記するイメージでございました。
5:46:44	規制庁鍛冶です。ちょっと空中戦だと大分不安があるような気がします。モデルの妥当性だったりこういうモデル作りますっていうところを応答計算書で説明をしている部分もあったと思いますから、

5:46:59	そういうところに、こういう地中構造物とか2節のものとかの影響も考えても、このモデルが
5:47:10	音が大きくなるからこういうふうに設定しますと。
5:47:14	というようなことが書いてあればいいんじゃないかなっていう気はしますね。
5:47:19	はい。日本原燃はですね。はい。
5:47:23	私もそのように認識しておりまして、ちょっとその辺をした。
5:47:30	その資料に織り込んでですね、提出できればと考えております。
5:47:36	はい。規制庁神です。あれですが改めて思うと、隣接影響も含めて考慮できるものになってるんだということであれば、
5:47:46	4-1647 っていうよりはそこの経産省側のモデル説明でいけるかなっていう気もしましたが、
5:47:57	そうですね。あれで、両方できるっていうのであれば、方針はそのまま、その方針に従ってこういうモデルで、図でいきますと、
5:48:07	ということだと思いますんでモデルの考え方のところをちゃんと書くっていう方が郵送な気がしますんでちょっと検討ください。
5:48:16	はい。日本原燃原田です。うん。はい。どうもありがとうございます。検討いたします。
5:48:23	はい。規制庁甲斐です私の方からは、

5:48:28	規制庁館です。現在は規制庁側から何かありますでしょうか。
5:48:33	日本原燃の佐藤ですけれども、補正についてなんですけれども、本日のヒアリングの中でも、補正申請書に直結する内容、
5:48:45	それからそれ以外継続してやっていく内容ということで、仕分けていた だいたんですけれども、当初我々からご説明していただけていた いていた今週末 12 月 2 日の
5:48:57	最終補正は、もう非常にちょっと難しい困難かなというふうに率直に思 っております。今日の部屋でもご回答した通り明日関連するものは当初 提出して、
5:49:10	その中身をご確認いただいて、ヒアリングで再度確認するのか図書の確 認だけでいいのかと、というようなところもあろうかと思えますけれど も、その辺りの状況を踏まえて、補正時期についてはちょっと判断した いと思っております。ただ今、現状では何とか 12 月の 5 日来週月曜日 には、
5:49:28	何とか補正したいということで計画で、作業は社内進めていきたいと、 いうふうに思っております。
5:49:36	以上でございます。

5:49:41	はい。規制庁田尻です。明日以降の状況によりけれど、12月5日間ぐらいを目指してっていうことを言われたんだと思うんですけどまあヨシダと思いますねというそういう発言されたということで、認識しました。
5:49:54	船長足りずほかに規制庁は現場から何かありますでしょうか。
5:50:00	笠田そうであれば長い時間になりましたけどこれでヒアリング終了したいと思います。
5:50:05	録音停止します。